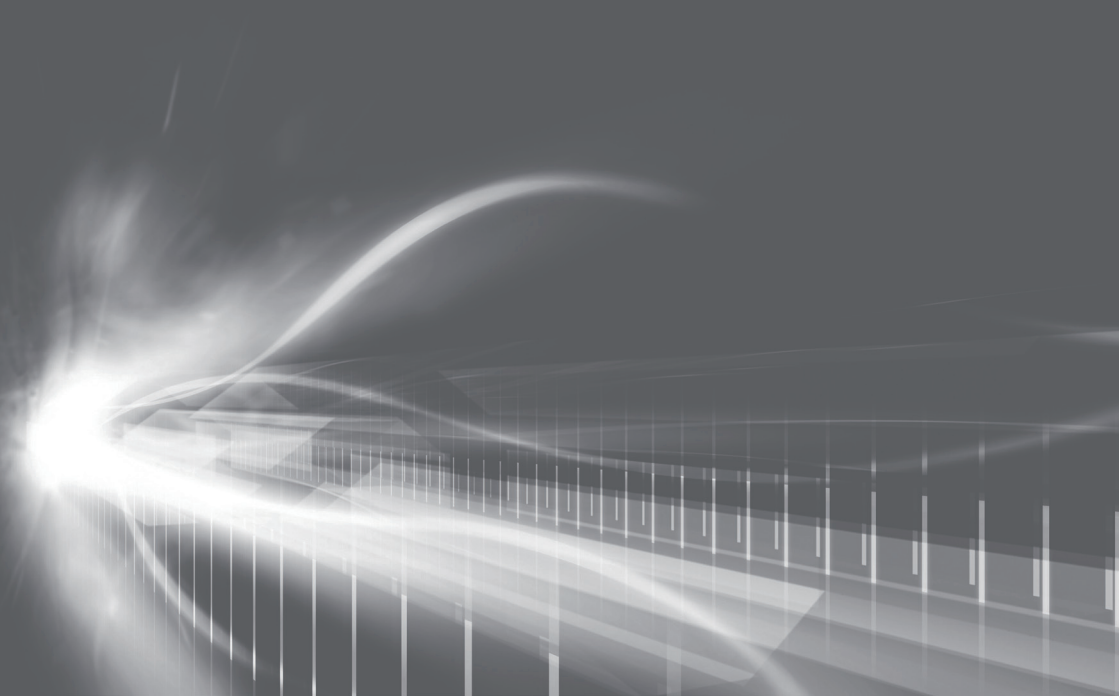


取　扱　書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

HIACE
REGIUS ACE

TOYOTA

	イラスト目次	**イラスト**から検索
1	**安全・安心のために**	お客様に**必ずお読みいただきたいこと**
2	**メーターの見方**	メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など
3	**各部の操作**	ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など
4	**運転**	運転に必要な操作やアドバイス
5	**オーディオ**	オーディオの使い方など
6	**室内装備・機能**	室内装備の使い方など
7	**お手入れのしかた**	車のお手入れ・メンテナンスの方法
8	**万一の場合には**	故障したときや、緊急時などの対処
9	**車両情報**	車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など
	さくいん	**症状**から検索
		音から検索
		アルファベットで検索
		五十音で検索

知っておいていただきたいこと 6
本書の見方 10
検索のしかた 11
イラスト目次 12

1 安全・安心のために

1-1. 安全にお使いいただくために
運転する前に 22
安全なドライブのために 24
シートベルト 26
SRS エアバッグ 30
お子さまの安全のために 36
子供専用シート 37
チャイルドシートの取り付け 45
排気ガスに対する注意 49

1-2. 盗難防止装置
エンジンイモビライザーシステム 50

2 メーターの見方

2. 計器の見方
警告灯／表示灯 54
計器類 57
マルチインフォメーションディスプレイ 60

3 各部の操作

3-1. キー
キー 66

3-2. ドアの開閉、ロックのしかた
フロントドア 70
スライドドア 76
バックドア 88
スマートエントリー&スタートシステム 94

3-3. シートの調整
フロントシート 101
リヤシート 102
ヘッドレスト 105

3-4. ハンドル位置・ミラー
ハンドル 107
インナーミラー 109
アウターミラー 111
補助ミラー 114

3-5. ドアガラス・スライド式リヤサイドガラスの開閉
パワーウインドウ 115
スライド式リヤサイドガラス 118

4 運転

4-1. 運転にあたって

運転にあたって 120
荷物を積むときの注意 131

4-2. 運転のしかた

エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム非装着車） 132
エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム装着車） 135
オートマチックトランスミッション 141
方向指示レバー 146
パーキングブレーキ 147

4-3. ランプのつけ方・ワイパーの使い方

ランプスイッチ 148
リヤフォグランプスイッチ 151
ワイパー & ウォッシャー（フロント） 152
ワイパー&ウォッシャー（リヤ） 155

4-4. 給油のしかた

給油口の開け方 157

4-5. 運転支援装置について

バックモニター 161
運転を補助する装置 172
排出ガス浄化装置（ディーゼル車） 174

4-6. 運転のアドバイス

寒冷時の運転 179

5 オーディオ

5-1. オーディオの基本操作

オーディオの種類 184
ステアリングスイッチの使い方 186
AUX 端子／USB 端子について 188

5-2. オーディオの使い方

快適に聞くために 190

5-3. ラジオの使い方

ラジオの使い方 193
アンテナ 196

5-4. CD、MP3 ／ WMA の聞き方

CD プレーヤーの使い方 197

5-5. 外部入力接続機器の使い方

iPod の聞き方 205
USB メモリーの聞き方 211
AUX 端子（外部入力接続）の使い方 217

6 室内装備・機能

6-1. エアコン・デフォッガーの使い方

マニュアルエアコン 220
オートエアコン 225
リヤクーラー 231
リヤヒーター 233
パワーヒーター 234

6-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧 236
・フロントルームランプ 237
・フロントルームランプ／パーソナルランプ 237
・リヤルームランプ 238

6-3. 収納装備の使い方

収納装備一覧 240
・グローブボックス 242
・センターコンソールボックス 242
・カップホルダー／ボトルホルダー 244
・カードホルダー 246
・オープントレイ 247

6-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備 248
・サンバイザー 248
・灰皿 248
・シガレットライター 249
・アクセサリーコンセント 250

7 お手入れのしかた

7-1. お手入れのしかた

外装の手入れ 254
内装の手入れ 257

7-2. 簡単な点検・部品交換

エンジン点検口 259
ボンネット 261
ガレージジャッキ 264
ウォッシャー液の補充 265
タイヤについて 266
タイヤ空気圧について 269
エアコンフィルターの清掃 271
キーの電池交換 274
ヒューズの点検・交換 277
電球（バルブ）の交換 281

8 万一の場合には

8-1. まず初めに

故障したときは.....296
非常点滅灯（ハザードランプ）.....297
発炎筒.....298
消火器.....300
車両を緊急停止するには.....301

8-2. 緊急時の対処法

けん引について.....303
フューエルポンプシャットオフシステム（ガソリン車）.....311
警告灯がついたときは.....312
パンクしたときは.....318
エンジンがかからないときは.....333
シフトレバーがシフトできないときは.....335
電子キーが正常に働かないときは（スマートエントリー&スタートシステム装着車）...336
バッテリーがあがったときは.....338
オーバーヒートしたときは....343
スタックしたときは.....346

9 車両情報

9-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）..... 348

9-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ機能一覧..... 356

9-3. 初期設定

初期設定が必要な項目..... 358

さくいん

こんなときは（症状別さくいん）..... 360
車から音が鳴ったときは（音さくいん）..... 364
アルファベット順さくいん..... 366
五十音順さくいん..... 368

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。
そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。
トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取り扱い説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
  - ・タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換
    異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
  - ・電装品・無線機の取り付け・取りはずし
    電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
    RF 送信機の取り付けについては、P. 9 も参照してください。
- フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

・エンジン回転数
・アクセルの操作状況
・ブレーキの操作状況
・車速
・シフトポジション

グレード･オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

・お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
・統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDRは、一定の衝突や衝突に近い状態（SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。

EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDR は次のようなデータを記録します。

・車両の各システムの作動状況
・アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
・車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDR は衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータと EDR データを組み合わせて使用することがあります。EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。

トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDR データの情報開示

次の場合を除き、トヨタは EDR で記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

・お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
・トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

・データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
・使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- EFI コンピュータ
- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- SRS エアバッグ
- シートベルトプリテンショナー

悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

本書の見方

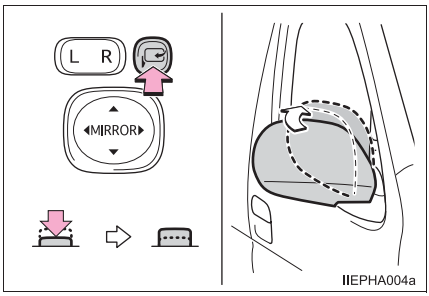
警告 お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。

注意 お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。

1 2 3… 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

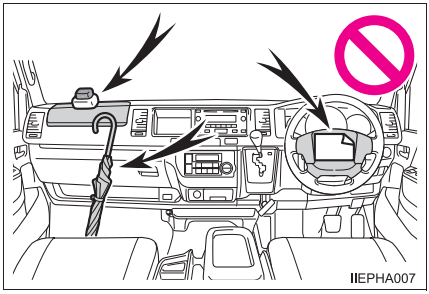
押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



説明の対象となるもの・場所を示しています。

“してはいけません”“このようにしないでください”“このようなことを起こさないでください”という意味です。

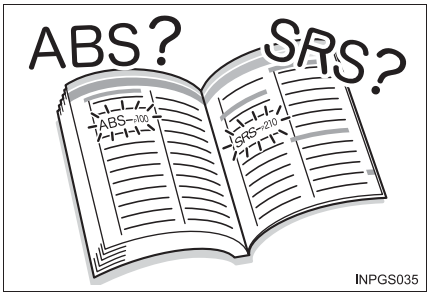


知識 機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

検索のしかた

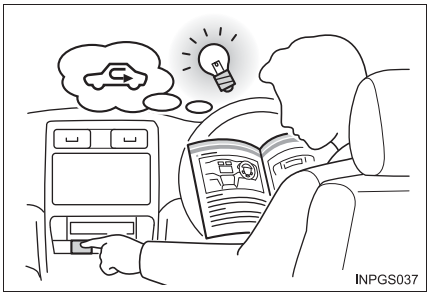
■ 名称から探す

・五十音順さくいん.....368
・アルファベット順
さくいん.....366



■ 取り付け位置から探す

・イラスト目次.....12

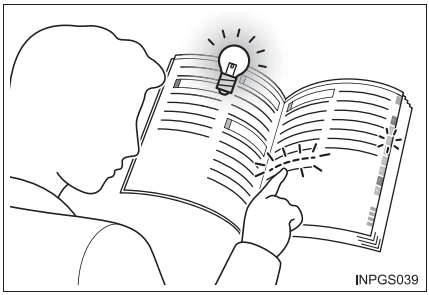


■ 症状や音から探す

・こんなときは
（症状別さくいん）.....360
・車から音が鳴ったときは
（音さくいん）.....364

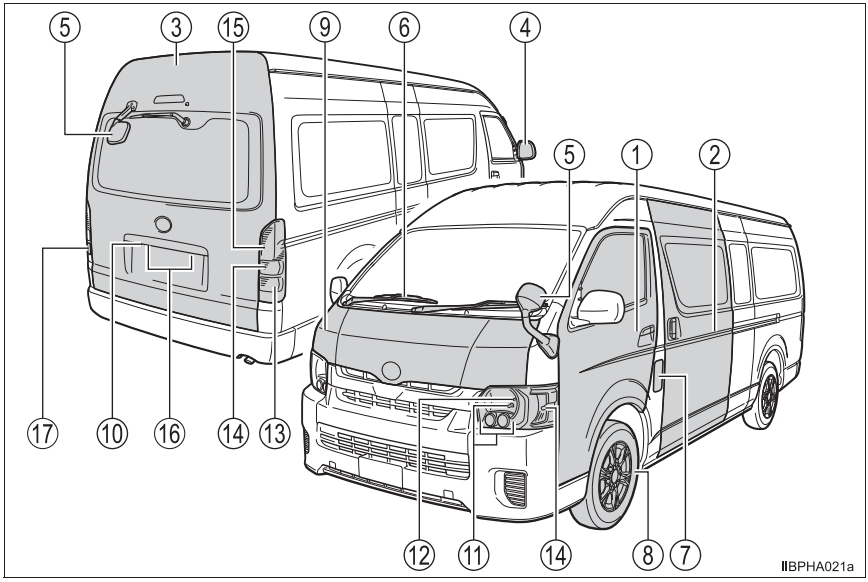
■ タイトルから探す

・目次.....2



イラスト目次

■外観



① **フロントドア** . . . . . **P. 70**
施錠／解錠 . . . . . P. 70
ドアガラスの開閉 . . . . . P. 115
メカニカルキー★での施錠／解錠 . . . . . P. 336
警告灯 . . . . . P. 313
② **スライドドア** . . . . . **P. 76**
施錠／解錠 . . . . . P. 76
車外から開ける . . . . . P. 77
スライド式リヤサイドガラス★の開閉 . . . . . P. 118
警告灯 . . . . . P. 313
③ **バックドア** . . . . . **P. 88**
車外から開ける . . . . . P. 90
警告灯 . . . . . P. 313

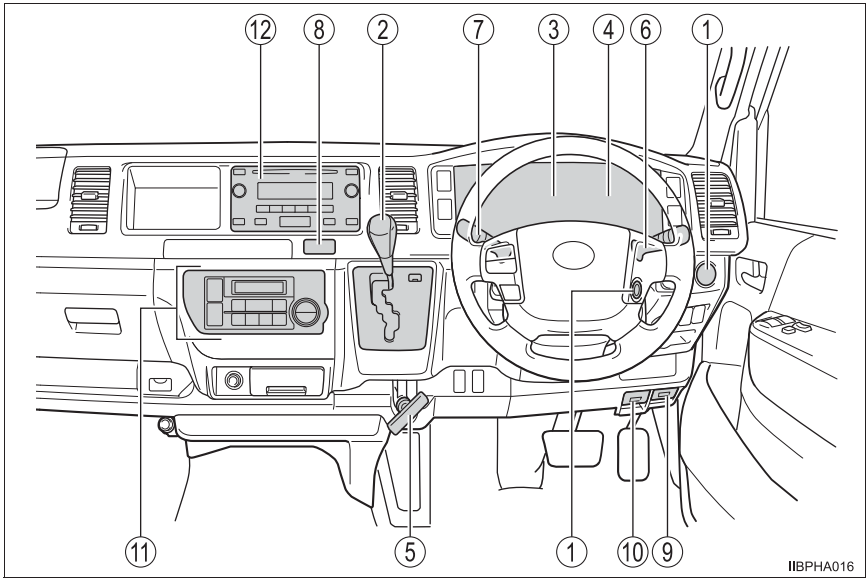
④ **アウターミラー**.....**P. 111**
鏡面の角度調整.....P. 111
ミラーの格納.....P. 112
曇りを取る（ミラーヒーター）★.....P. 221, 227
⑤ **補助ミラー★**.....**P. 114**
⑥ **ワイパー**.....**P. 152**
冬季の注意.....P. 179
⑦ **給油口**.....**P. 157**
給油方法.....P. 157
燃料の種類・燃料タンク容量.....P. 348
⑧ **タイヤ**.....**P. 266**
サイズ・空気圧.....P. 354
冬用タイヤ・タイヤチェーン.....P. 179
点検・ローテーション.....P. 266
パンク時の対処.....P. 318
⑨ **ボンネット**.....**P. 261**
開け方.....P. 261
オーバーヒート時の対処.....P. 343
⑩ **カメラ★**.....P. 161

走行に関わる外装のランプバルブ
（交換要領：P. 281, ワット数：P. 355）

⑪ **ヘッドランプ**.....**P. 148**
⑫ **車幅灯**.....**P. 148**
⑬ **リヤフォグランプ★**.....**P. 151**
⑭ **方向指示灯**.....**P. 146**
⑮ **制動灯／尾灯**.....**P. 148**
⑯ **番号灯**.....**P. 148**
⑰ **後退灯**
シフトポジションをＲにする.....P. 141

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■インストルメントパネル

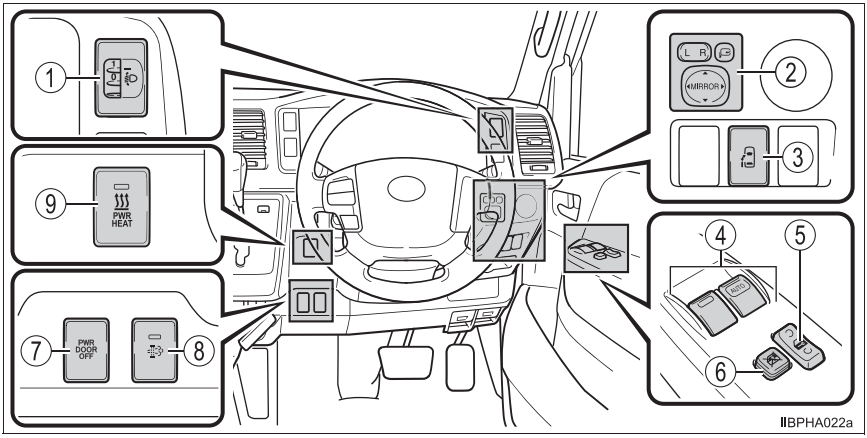


① **エンジンスイッチ . . . . . P. 132, 135**
エンジンの始動・
位置またはモードの切りかえ . . . . . P. 132, 135, 136
エンジンの緊急停止 . . . . . P. 301
エンジンが始動できないときの対処 . . . . . P. 333
② **シフトレバー . . . . . P. 141**
シフトポジションの切りかえ . . . . . P. 141
けん引時の注意 . . . . . P. 303
シフトレバーが動かないときの対処 . . . . . P. 335
③ **メーター . . . . . P. 57**
見方・明るさの調整 . . . . . P. 57, 61
警告灯／表示灯 . . . . . P. 54
警告灯点灯時の対処 . . . . . P. 312

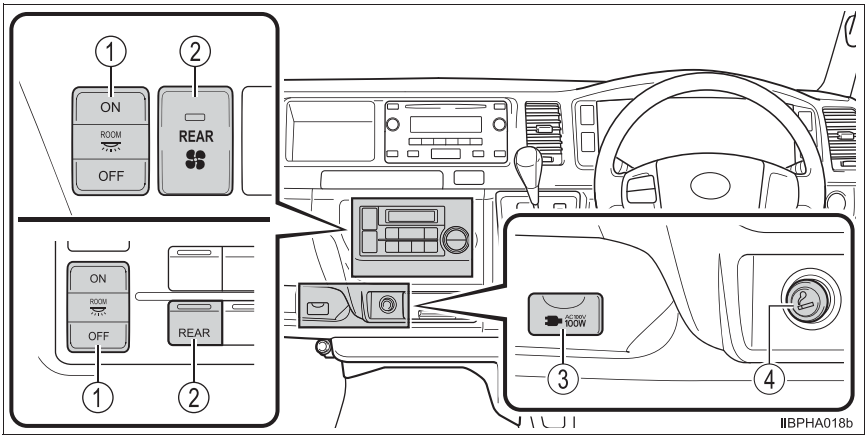
④ **マルチインフォメーションディスプレイ** . . . . . **P. 60**
⑤ **パーキングブレーキ** . . . . . **P. 147**
かける・解除する . . . . . P. 147
冬季の注意 . . . . . P. 180
警告ブザー . . . . . P. 312
⑥ **方向指示レバー** . . . . . **P. 146**
ランプスイッチ . . . . . **P. 148**
ヘッドランプ・車幅灯・尾灯 . . . . . P. 148
リヤフォグランプ★ . . . . . P. 151
⑦ **ワイパー&ウォッシャースイッチ** . . . . . **P. 152**
使い方 . . . . . P. 152
ウォッシャー液の補充 . . . . . P. 265
⑧ **非常点滅灯スイッチ** . . . . . **P. 297**
⑨ **給油扉オープナー** . . . . . **P. 157**
⑩ **ボンネット解除レバー** . . . . . **P. 261**
⑪ **マニュアルエアコン★** . . . . . **P. 220**
操作方法 . . . . . P. 220
リヤウィンドウの曇り取り（リヤウインドウデフォッガー） . . . P. 221
オートエアコン★ . . . . . **P. 225**
操作方法 . . . . . P. 225
リヤウィンドウの曇り取り（リヤウインドウデフォッガー） . . . P. 227
⑫ **オーディオ★** . . . . . **P. 184**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

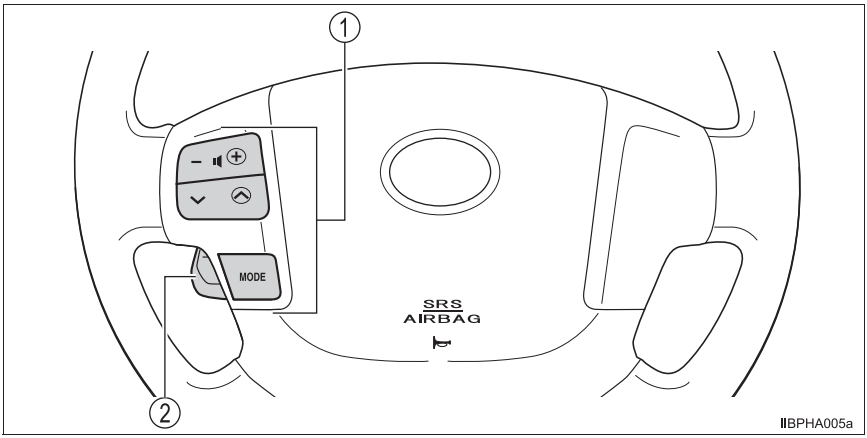
■スイッチ類



① 手動光軸調整ダイヤル★ . . . . . P. 149
② アウターミラースイッチ★. . . . . P. 111
③ パワースライドドアスイッチ★ . . . . . P. 79
④ パワーウインドウスイッチ . . . . . P. 115
⑤ ドアロックスイッチ . . . . . P. 72
⑥ ウインドウロックスイッチ . . . . . P. 115
⑦ パワースライドドアメインスイッチ★ . . . . . P. 80
⑧ 排出ガス浄化スイッチ★ . . . . . P. 174
⑨ パワーヒータースイッチ★. . . . . P. 234



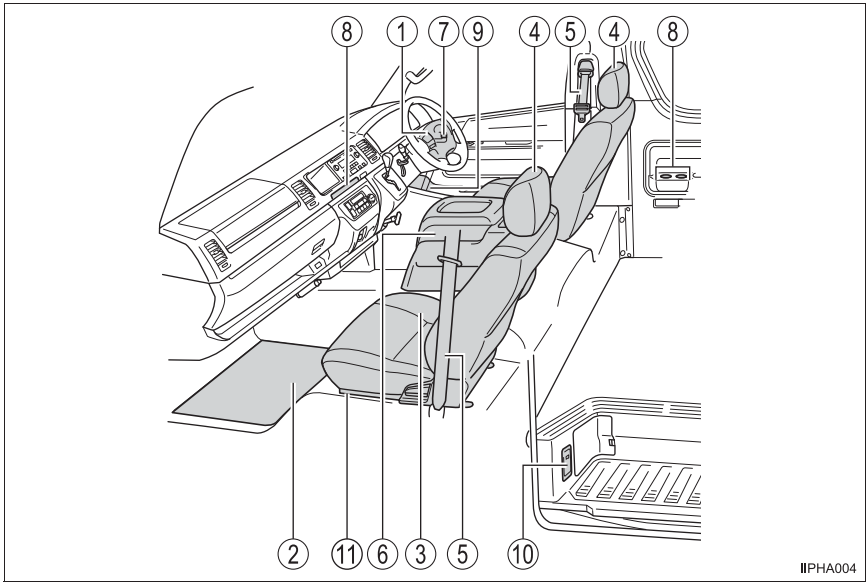
① リヤルームランプメインスイッチ . . . . . .P. 238
② リヤクーラーメインスイッチ. . . . . .P. 231
リヤヒーターメインスイッチ. . . . . .P. 233
③ アクセサリーコンセント★. . . . . .P. 250
④ シガレットライター . . . . . .P. 249



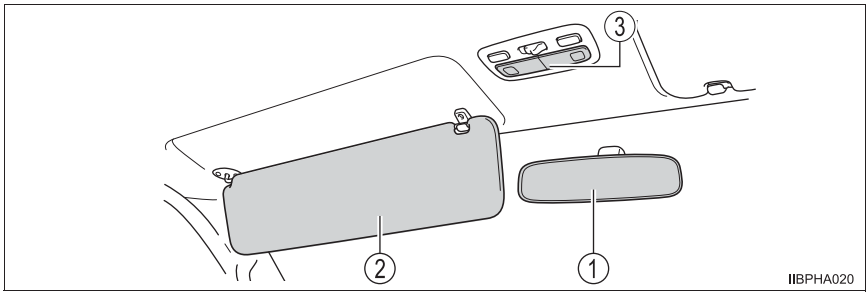
① オーディオ操作スイッチ★. . . . . .P. 186
② ハンドル位置調整レバー . . . . . .P. 107

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■室内



① SRS エアバッグ . . . . . P. 30
② フロアマット . . . . . P. 22
③ フロントシート . . . . . P. 101
リヤシート★ . . . . . P. 102
④ ヘッドレスト★ . . . . . P. 105
⑤ シートベルト★ . . . . . P. 26
⑥ センターコンソールボックス . . . . . P. 242
⑦ ロックレバー . . . . . P. 72
⑧ カップホルダー . . . . . P. 244
⑨ ボトルホルダー . . . . . P. 245
⑩ スライドドアステップランプ . . . . . P. 78
⑪ エンジン点検口 . . . . . P. 259
エンジンオイル . . . . . P. 349



① インナーミラー.....P. 109
② サンバイザー .....P. 248
③ フロントルームランプ★／リヤルームランプ★※ .....P. 236
パーソナルランプ★.....P. 236

※：図はフロントですが、リヤにも装着されています。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全にお使いいただくために
運転する前に.....22
安全なドライブのために 24
シートベルト.....26
SRS エアバッグ.....30
お子さまの安全のために 36
子供専用シート.....37
チャイルドシートの
取り付け.....45
排気ガスに対する注意 49
1-2. 盗難防止装置
エンジンイモビライザー
システム.....50

運転する前に

点検整備

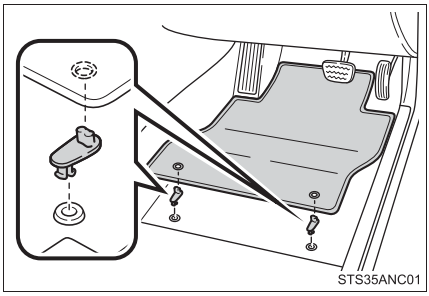
日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。
異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

フロアマット

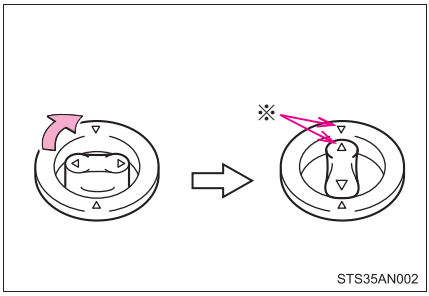
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する

※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

⚠ 警告

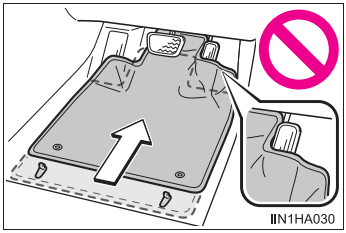
次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くとき

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■運転する前に

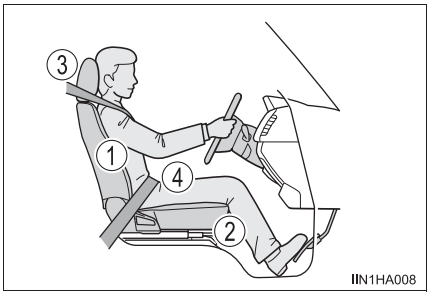
- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- エンジン停止およびシフトレバーが P の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する



安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

正しい運転姿勢について



① まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する（→P. 101）

② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする（→P. 101）

③ 調整式ヘッドレスト装着車：ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする（→P. 105）

④ シートベルトを正しく着用する（→P. 26）

シートベルト★を正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。（→P. 26）

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。（→P. 37）

ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・アウターミラーを正しく調整してください。（→P. 109, 111）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中は運転席の調整をしないでください。
  運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシートの下にものを置かないでください。※
  ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。

  ※ 前後位置が固定式のシートを除く
- 公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。
  また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

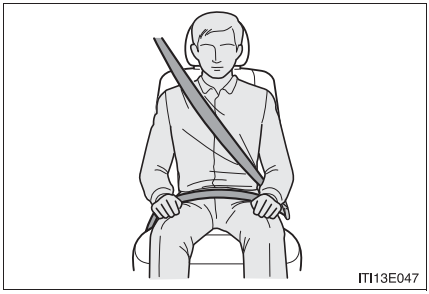
シートベルト★

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

正しく着用する

- 肩部ベルトを肩に十分かける

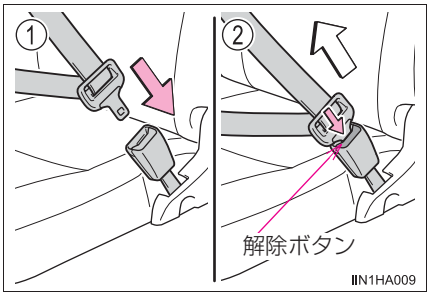
  首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



着け方・はずし方

① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む

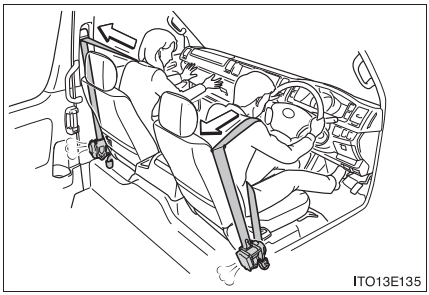
② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す



シートベルトプリテンショナー (SRS エアバッグ装着席のシートベルト)

前方から強い衝撃を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

前方からの衝撃が弱いときや、横やうしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを巻きもどし、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合った子供専用シートを使用してください。(→ P. 37)
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。(→ P. 26)

■シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは、一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

⚠警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シートベルトの着用について

- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する
  お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤシート★に座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

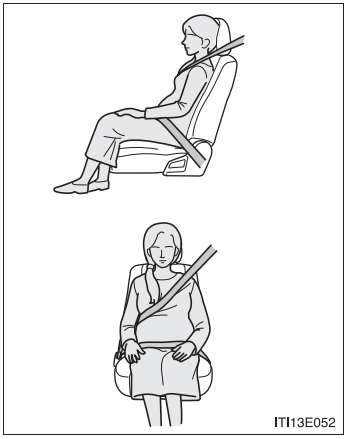
⚠ 警告

■ 妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→ P. 26)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



■ 疾患のある方の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

■ お子さまを乗せるとき

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってそのようになってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

■ プリテンショナー付シートベルトについて

シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

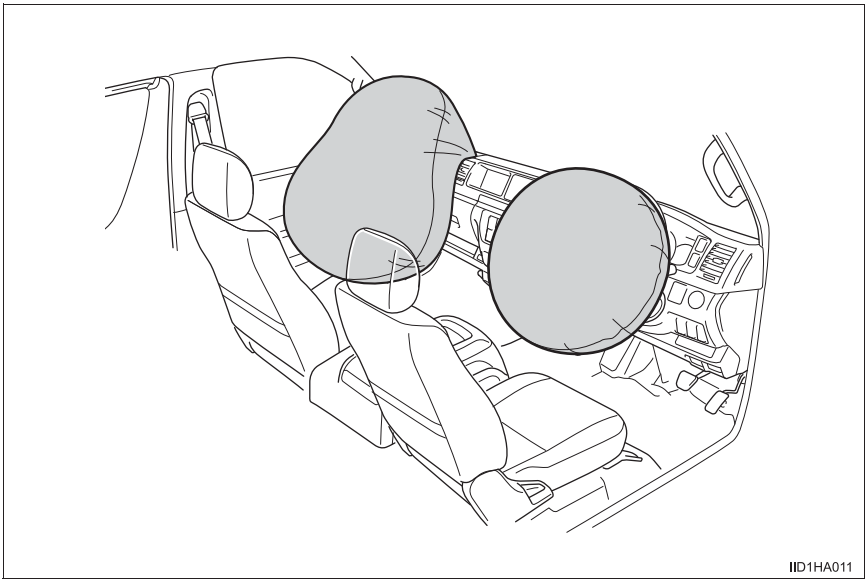
⚠ 警告

■ シートベルトの損傷・故障について

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときは、シートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート・シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付シートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。
  不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



◆ フロント SRS エアバッグ

運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ★
（運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和）

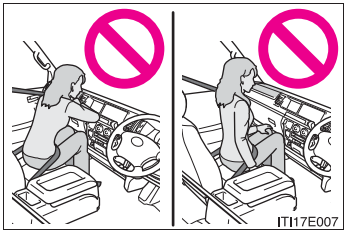
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■SRS エアバッグについて

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 運転者と乗員すべてがシートベルト★を正しく着用してください。
  SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、特に乗員がエアバッグに近付きすぎると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。乗員が SRS エアバッグのふくらむ場所に近い場合は特に危険です。シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまがシートにしっかり座っていないと、SRS エアバッグのふくらむ衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  お子さまが小さくてシートベルト★を使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。
- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



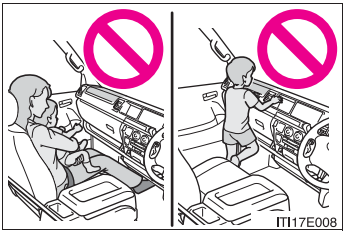
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

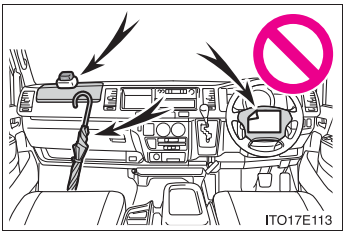
■SRS エアバッグについて

●お子さまを助手席SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない

●運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



●ダッシュボード・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



●SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

●SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。

●SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。
皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。

●SRS エアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

⚠ 警告

■改造・廃棄について

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパーなどの修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

知識

■SRS エアバッグが作動すると

- SRS エアバッグは高温のガスにより非常に速い速度でふくらむため、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- エアバッグモジュールの各部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）が数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

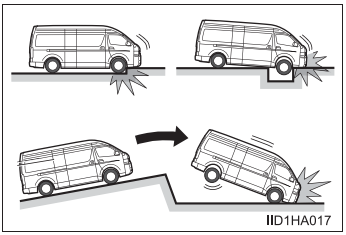
■SRS エアバッグが作動するとき

- SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ～ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
  ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。
  - ・駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
  - ・もぐり込むような衝撃の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

■衝突以外で作動するとき

次のような状況で、車両下部に強い衝撃を受けたときも、SRS エアバッグが作動する場合があります。

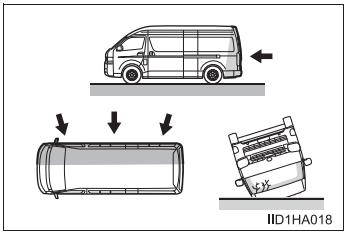
- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗りこえたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき



■SRS エアバッグが作動しないとき

SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転、または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、SRS エアバッグが作動することがあります。

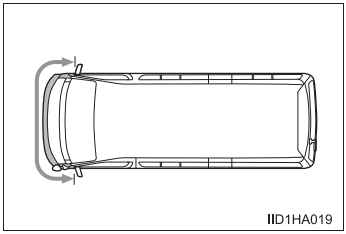
- ●側面からの衝突
- ●後方からの衝突
- ●横転



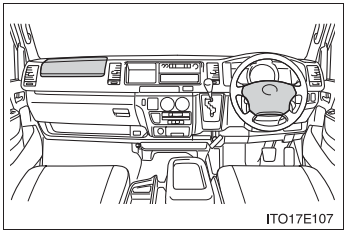
■トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

- ●いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- ●SRSエアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



- ●ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席SRSエアバッグ付近が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルト★を着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。（→ P. 37）
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にパワーウインドウを誤操作しないように、ウインドウロックスイッチ（→ P. 115）をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウインドウ・ボンネット・バックドアやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

⚠ 警告

- お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。（→ P. 45）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

子供専用シート

子供専用シートを固定する場合は、次の内容を確認してください。

知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取り扱い説明書をお読みください。

子供専用シートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44 ※の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の 5 種類に分類されます。

グループ 0　：10kg まで
グループ 0+：13kg まで
グループⅠ　：9 ～ 18kg
グループⅡ　：15 ～ 25kg
グループⅢ　：22 ～ 36kg

この本では代表的な次の 3 種類の子供専用シートをシートベルト★で固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

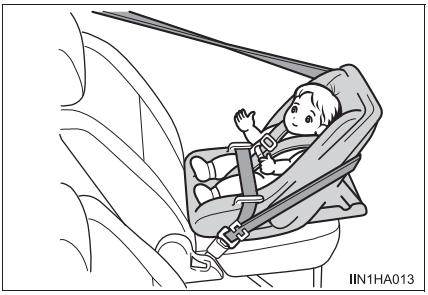
■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それにともなう取り付け器具の記号になります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

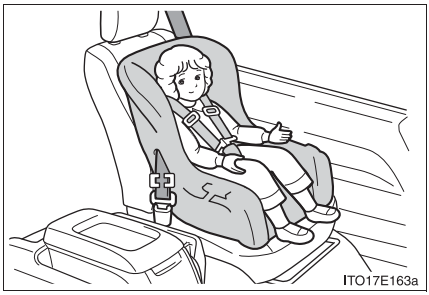
子供専用シートの種類

▶ ベビーシート



ECE R44 基準のグループ 0、0+に相当

▶ チャイルドシート



ECE R44 基準のグループ 0+、Ⅰに相当

▶ ジュニアシート

ECE R44 基準のグループⅡ、Ⅲに相当

シート位置別子供専用シート適合性一覧表（シートベルト★での取り付け）

▶ フロントシート

質量グループ	助手席	推奨 チャイルドシート
0 （10kg まで）	×	−
0+ （13kg まで）	×	−
Ⅰ （9 ～ 18kg）	うしろ向き ×	−
	前向き UF ※1	“トヨタ純正 NEO G-Child baby”
Ⅱ，Ⅲ （15 ～ 36kg）	UF ※1	“トヨタ純正 ジュニアシート”

▶ セカンドシート（リヤシート装着車）

質量グループ	外席	中央席	推奨 チャイルドシート
0 （10kg まで）	L※2	L※2	“トヨタ純正 NEO G-Child baby”
0+ （13kg まで）	L※2	L※2	“トヨタ純正 NEO G-Child baby”
Ⅰ （9 ～ 18kg）	L※2, 3	L※2, 3	“トヨタ純正 NEO G-Child baby”
Ⅱ，Ⅲ （15 ～ 36kg）	L※2, 3	L※2, 3	“トヨタ純正 ジュニアシート”

▶ サードシート（リヤシート装着車）

質量グループ	外席		中央席	推奨チャイルドシート
	右席	左席		
0（10kg まで）	×	L※2	×	“トヨタ純正 NEO G-Child baby”
0+（13kg まで）	×	L※2	×	“トヨタ純正 NEO G-Child baby”
Ⅰ（9 ～ 18kg）	L※2, 3	L※2, 3	L※2, 3	“トヨタ純正 NEO G-Child baby”
Ⅱ, Ⅲ（15 ～ 36kg）	L※2, 3	L※2, 3	L※2, 3	“トヨタ純正 ジュニアシート”

▶ フォースシート（リヤシート装着車）

質量グループ	外席		中央席	推奨チャイルドシート
	右席	左席		
0（10kg まで）	×	×	×	－
0+（13kg まで）	×	×	×	－
Ⅰ（9 ～ 18kg）	L※2, 3	L※2, 3	L※2, 3	“トヨタ純正 NEO G-Child baby”
Ⅱ, Ⅲ（15 ～ 36kg）	L※2, 3	L※2, 3	L※2, 3	“トヨタ純正 ジュニアシート”

▶ フィフスシート（リヤシート装着車）

質量グループ	外席		中央席		推奨チャイルドシート
	右席	左席	右席	左席	
0（10kg まで）	×	×	×	×	−
0+（13kg まで）	×	×	×	×	−
Ⅰ（9 ～ 18kg）	L※2, 3	L※2, 3	L※2, 3	L※2, 3	“トヨタ純正 NEO G-Child baby”
Ⅱ，Ⅲ（15 ～ 36kg）	L※2, 3	L※2, 3	L※2, 3	L※2, 3	“トヨタ純正 ジュニアシート”

表に記入する記号の説明

U： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートに適しています。

UF： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向きのチャイルドシートに適しています。

L： チャイルドシートのリストに示す準汎用（セミユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートに適しています。

×： チャイルドシートを取り付けることはできません。

※1 背もたれを直立状態にしてください。フロントシートをいちばんうしろまで下げてください。
シートの高さ調整ができる場合は、いちばん高い位置に調整してください。
ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストの取りはずしが可能なときは、ヘッドレストを取りはずしてください。

※2 背もたれを直立状態にしてください。

※3 ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストの取りはずしが可能なときは、ヘッドレストを取りはずしてください。

● チャイルドシートの隣の席を使用するときは、肩部ベルトが確実に肩を通り、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置に密着することを確認してください。チャイルドシートの隣の席に座ったときに、チャイルドシートの種類によっては、乗員の体またはシートベルトがチャイルドシートと干渉するためシートベルトが正しく着用できず、十分な効果を発揮できない場合があります。
その場合は、ほかの席を使用してください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 表に記載されていないチャイルドシートを使用する場合は、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

知識

■子供専用シートの選択、使用について

- お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルト★が着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。
- 体が十分に大きく、子供専用シートが不要なお子さまは、リヤシート★に乗せて車のシートベルトを使用してください。

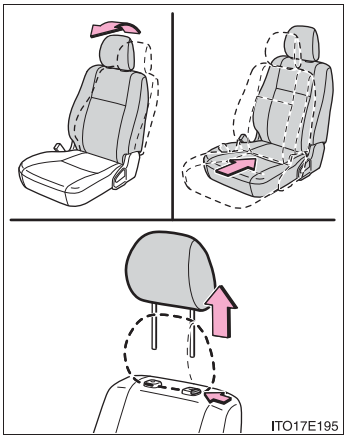
■シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」（→ P. 39）を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類（記号）をご確認の上、適したものを選択してください。

■助手席に子供専用シートを取り付けるとき

助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、調整が可能なシートは助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- 背もたれを直立状態にする
- シートをいちばんうしろに下げる
- ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストの取りはずしが可能なときは、ヘッドレストを取りはずす



■キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。
詳しくは子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■子供専用シートを使用しない場合

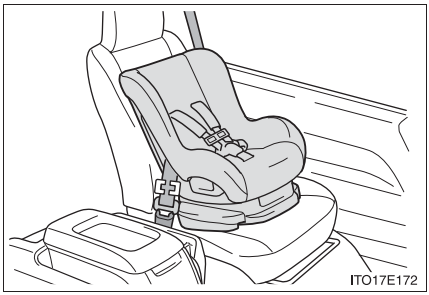
- 子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- 子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、シートをスペースアップした場所※に容易に動かないように収納してください。

※ スペースアップシート装着車のみ

チャイルドシートの取り付け

シートベルト★を正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシート★に取り付けてください。
取り付け方法は、必ず商品に付属の取り扱い説明書に従ってください。

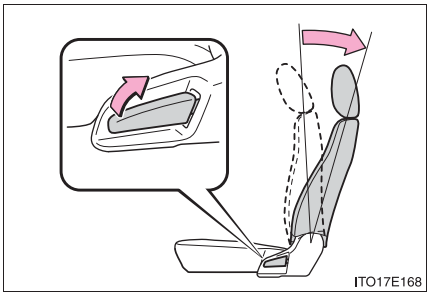
シートベルトによる取り付け


ITO17E172

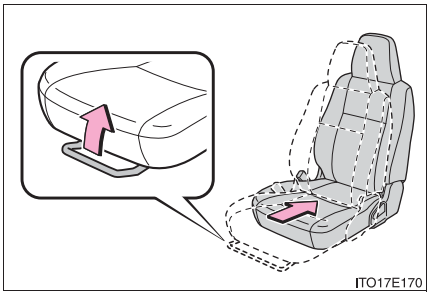
シートベルトで固定する

1 リクライニング角度の調整が可能なシートは、背もたれの角度を調整する

レバーを引きながら、いったん背もたれを前に倒し、一段目の固定位置まで起こします。(→ P. 101, 102)

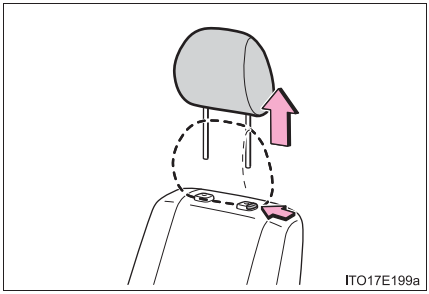

ITO17E168

2 前後位置の調整が可能なシートは、位置をいちばんうしろにする


ITO17E170

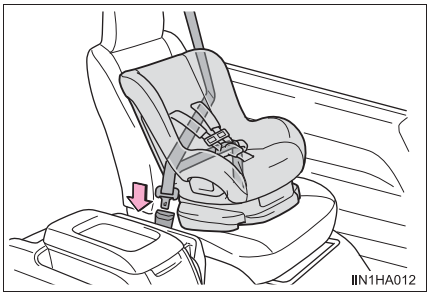
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

3 ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストの取りはずしが可能なときは、ヘッドレストを取りはずす



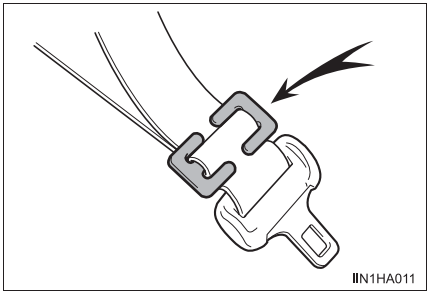
4 チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートをバックルに“カチッ”と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取り扱い説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。



5 チャイルドシートにシートベルトの固定機構が備わっていない場合は、ロッキングクリップ（別売）を使用して固定する

ロッキングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。（ロッキングクリップ品番：73119-22010）



取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。

⚠ 警告

■チャイルドシートについて

- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用してください。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取り扱い説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■チャイルドシートを取り付けるとき

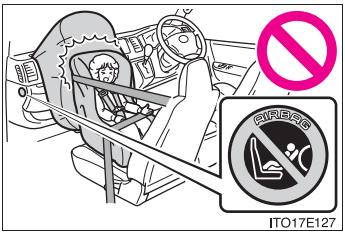
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一、ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルが固定されていて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかり固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。

⚠ 警告

■チャイルドシートを取り付けるとき

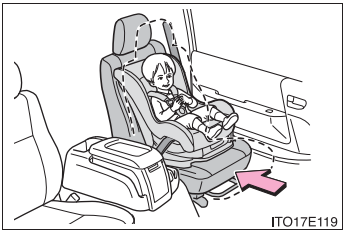
●チャイルドシートを取り付ける際、運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、それ以外の取り付け可能シートに取り付けてください。

●やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席SRSエアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
（助手席 SRS エアバッグ装着車）



ITO17E127

●助手席の前後位置調整が可能な車両の場合、チャイルドシートを取り付けるときは、助手席シートをいちばんうしろに下げて取り付けてください。
助手席SRSエアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
（助手席 SRS エアバッグ装着車）


ITO17E119

●ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●チャイルドシートの隣の席を使用するときは、肩部ベルトが確実に肩を通り、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置に密着することを確認してください。
チャイルドシートの隣の席に座ったときに、チャイルドシートの種類によっては、乗員の体またはシートベルトがチャイルドシートと干渉するためシートベルトが正しく着用できず、十分な効果を発揮できない場合があります。
その場合は、ほかの席を使用してください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

⚠ 警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行中の留意事項

バックドアを閉じてください。
バックドアが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラス・スライド式リヤサイドガラス★を開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

■駐車するとき

- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、エンジンを停止してください。
- 長時間エンジンをかけたままにしないでください。
  やむを得ないときは、開かれた場所に車を停め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。
  まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。
（ディーゼル車は、P. 178 の注意も併せて参照してください）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

エンジンイモビライザーシステム

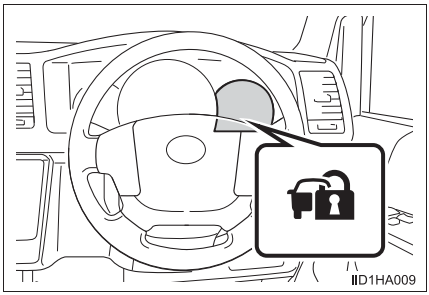
キーに信号発信機が内蔵してあり、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できません。
車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

キーをエンジンスイッチから抜くと、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたマスターキー、またはサブキーをエンジンスイッチに挿し込むとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。



▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチを OFF にすると、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたキーを携帯し、エンジンスイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにするとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。

知識

■メンテナンスについて

エンジンイモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

■システムが正常に作動しないとき

- ●キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- ●キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

注意

■エンジンイモビライザーシステムを正常に作動させるために

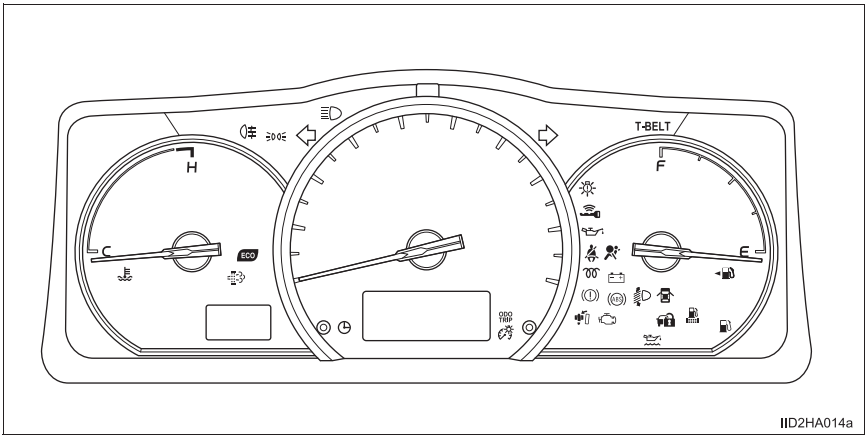
システムの改造や取りはずしをしないでください。
システムが正常に作動しないおそれがあります。

メーターの見方 2

2. 計器の見方
警告灯／表示灯 54
計器類 57
マルチインフォメーション
ディスプレイ 60

警告灯／表示灯

メーターの警告灯・表示灯でお車の状況をお知らせします。



IID2HA014a

警告灯

万一のシステム異常などを警告します。(→ P. 312)

ブレーキ警告灯
(→ P. 312)

(黄色)
スマートエントリー &
スタートシステム警告灯★
(→ P. 315)

※

充電警告灯 (→ P. 312)

※

油圧警告灯 (→ P. 314)

※

エンジン警告灯
(→ P. 312)

※

SRS エアバッグ／
プリテンショナー警告灯
(→ P. 312)

※

ABS 警告灯 (→ P. 312)

※

タイミングベルト
交換警告灯★ (→ P. 313)

※

ヘッドランプオートレベリ
ング警告灯★ (→ P. 313)

※

LED ヘッドランプ警告灯★
(→ P. 313)

※

フューエルフィルター／
燃料・水分離器水位警告灯★
(→ P. 314)

※

排出ガス浄化装置警告灯★
(→ P. 314)

※

油量警告灯 (→ P. 313)

半ドア警告灯 (→ P. 313)

燃料残量警告灯
(→ P. 313)

運転席／助手席★シートベ
ルト非着用
警告灯 (→ P. 313)

※

ブレーキオーバーライドシ
ステム警告灯 (→ P. 313)

※ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ ON ”(スマートエントリー&スタートシステム非装着車)、またはイグニッション ON モード(スマートエントリー&スタートシステム装着車) にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

表示灯

システムの作動状況を表示します。

方向指示表示灯（→P. 146）

リヤフォグランプ表示灯★（→P. 151）

尾灯表示灯（→P. 148）

※
エコドライブインジケーターランプ（→P. 122）

ハイビーム表示灯（→P. 148）

予熱表示灯★（→P. 132）

（緑色）
スマートエントリー＆スタートシステム表示灯★（→P. 135）

イモビライザーシステム表示灯（→P. 50）

※ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ ON ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にすると点灯し、数秒後に消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

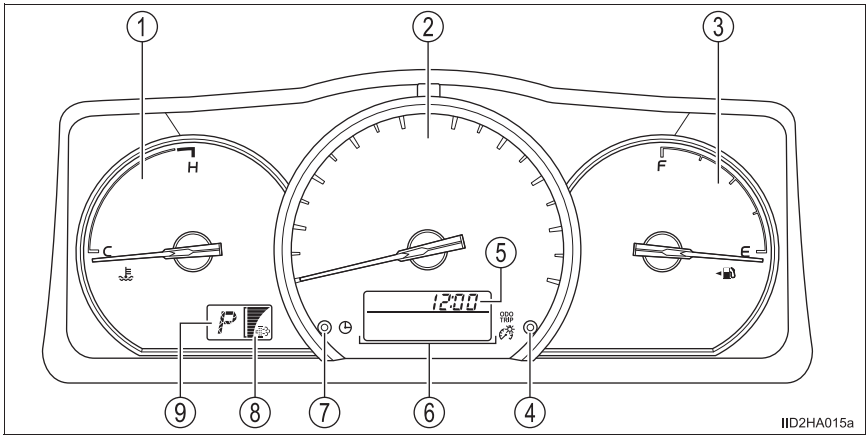
⚠ 警告

■ 安全装置の警告灯が点灯しないときは

ABSやSRSエアバッグなどの安全装置の警告灯が、エンジンスイッチを“ ON ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはイグニッションONモード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

計器類



① 水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

② スピードメーター

車両の走行速度を示します。

③ 燃料計

燃料残量を示します。

④ オドメーター／トリップメーターボタン

→ P. 60

⑤ 時計

時刻を表示します。

⑥ マルチインフォメーションディスプレイ

走行に関する様々な情報を表示します。（→ P. 60）

⑦ 時計調整ボタン

時刻を調整します。（→ P. 58）

⑧ 排出ガス浄化装置堆積モニター（ディーゼル車）

→ P. 175

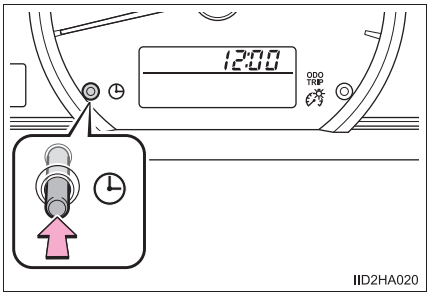
⑨ シフトポジション表示

選択されているシフトポジションを表示します。

時計の設定

1 時計調整ボタンを短く押して、時刻表示を点滅させる

表示が点滅しているあいだ、時間を設定できます。



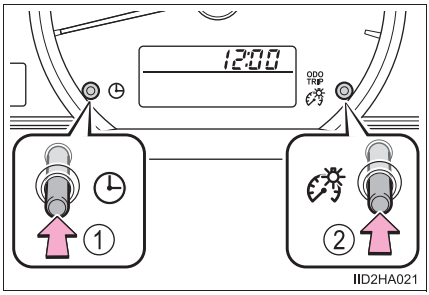
IID2HA020

2 時計調整ボタン、またはオドメーター／トリップメーターボタンを押して時間を設定する

① 時間を進める

② 時間をもどす

ボタンを押し続けると、早送り／早もどしされます。



IID2HA021

3 時間の設定後、約 5 秒以上そのままにして設定を確定する

点滅状態が解除され、現在時刻の表示になります。

知識

■メーター・ディスプレイの作動条件

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ ON ”のとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■時計の作動条件

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

●エンジンスイッチが“ ON ”のとき

●エンジンスイッチを“ ACC ”または“ LOCK ”にしても、約 30 秒は表示が消えません。

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

●エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

●エンジンスイッチをアクセサリーモードまたはOFFにしても、約30秒は表示が消えません。

■時計の正時合わせについて

時間調整ボタンを押し続けると、正時に合わせることができます。

●0 ～ 29 分は切り下げられます。

●30 ～ 59 分は切り上げられます。

(例)1:00～1:29の場合は1:00に、1:30～1:59の場合は2:00になります。

■バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うと、時計のデータはリセットされます。

注意

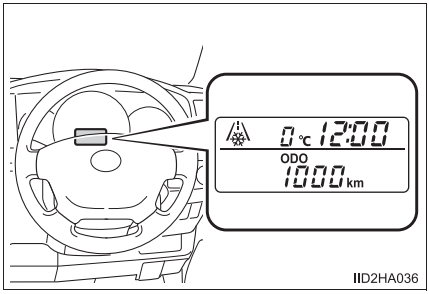
■エンジンや構成部品への損傷を防ぐために

水温計の針が H のレッドゾーンに入ったときは、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。(→ P. 343)

マルチインフォメーションディスプレイ

表示内容

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。



- トリップインフォメーション（→ P. 61）

  航続可能距離や燃費など、走行に関する情報を表示します。

- 外気温

  外気温を表示します。

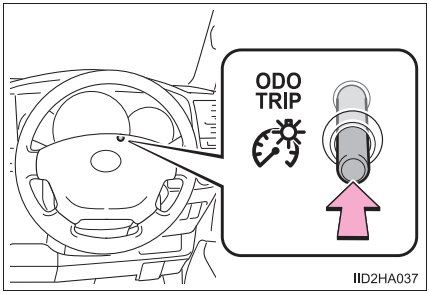
  − 40 ℃～ 50 ℃のあいだで表示します。

  外気温度が 3 ℃以下となった場合に凍結している恐れがあることを知らせる為、 が 10 回点滅したあと、点灯します。

- 時計（→ P. 58）
- エコドライブインジケーターランプのカスタマイズ（→ P. 62）

表示切りかえ

表示を切りかえるには、オドメーター／トリップメーターをボタン押します。



トリップインフォメーションの機能

■ オドメーター

走行した総距離を表示します。

■ トリップメーター

リセットしてからの走行距離を表示します。

・ 区間距離は、トリップA・トリップB の2 種類で使い分けることができます。
・ オドメーター／トリップメーターボタンを押し続けると 0 にもどります。

■ 瞬間燃費

現在の瞬間燃費を表示します。

■ 平均燃費

リセットしてからの平均燃費を表示します。

・ リセットするには、平均燃費の表示中に
オドメーター／トリップメーターボタンを押し続けます。
・ 表示される平均燃費は、参考として利用してください。

■ 航続可能距離

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を表示します。

・ 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
・ 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。

■ メーター照度調整表示

車幅灯が点灯しているとき、メーター照度調整を表示します。

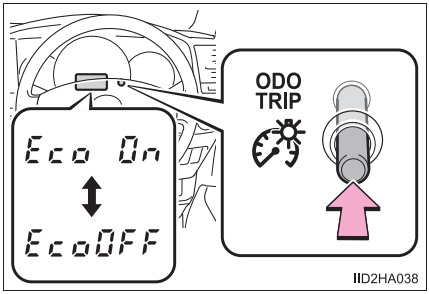
オドメーター／トリップメーターボタンを押し続けると照度を 4 段階に調整できます。

エコドライブインジケーターランプのカスタマイズ

エコドライブインジケーターランプは、作動／非作動を設定する事ができます。

1 オドメーター表示中にオドメーター／トリップメーターボタンを５秒以上押すとカスタマイズ画面が表示されます。

2 オドメーター／トリップメーターボタンを押して ON ／ OFF を選択する。



3 オドメーター／トリップメーターボタンを 2 秒以上押す、または 10 秒間そのままにすると設定が完了します。

知識

■マルチインフォメーションディスプレイの作動条件

▶スマートエントリー＆スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ ON ”のとき

▶スマートエントリー＆スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■バッテリー端子の脱着をしたときは

バッテリー端子の脱着を行うと、次のデータはリセットされます。

- トリップメーター
- 平均燃費
- 航続可能距離

■外気温度表示について

次の場合は、正しい外気温度が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下）のとき
- 外気温度が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）

■外気温度表示で“--- ℃”が表示されたときは

システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

注意

■低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車内を暖めてください。

各部の操作 3

3-1. キー
キー……66
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた
フロントドア……70
スライドドア……76
バックドア……88
スマートエントリー&
スタートシステム……94
3-3. シートの調整
フロントシート……101
リヤシート……102
ヘッドレスト……105
3-4. ハンドル位置・ミラー
ハンドル……107
インナーミラー……109
アウターミラー……111
補助ミラー……114
3-5. ドアガラス・スライド式
リヤサイドガラスの開閉
パワーウインドウ……115
スライド式リヤサイド
ガラス……118

キー

キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

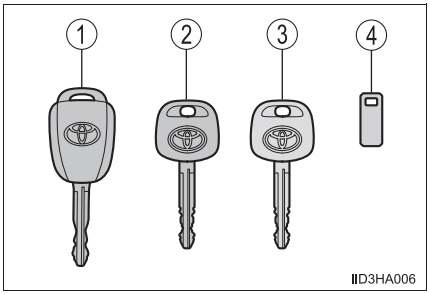
① ワイヤレスリモコン付き
マスターキー

ワイヤレス機能の作動（→P. 67）

② マスターキー（黒色）

③ サブキー（灰色）

④ キーナンバープレート

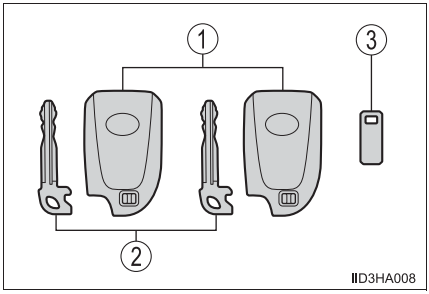


▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

① 電子キー
・ スマートエントリー&スタートシステムの作動（→P. 94）
・ ワイヤレス機能の作動（→P. 67）

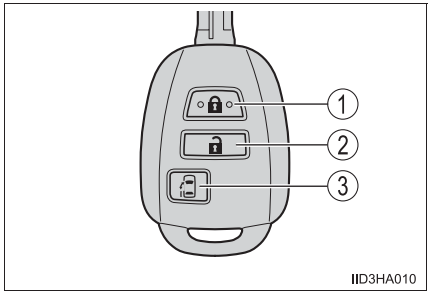
② メカニカルキー

③ キーナンバープレート

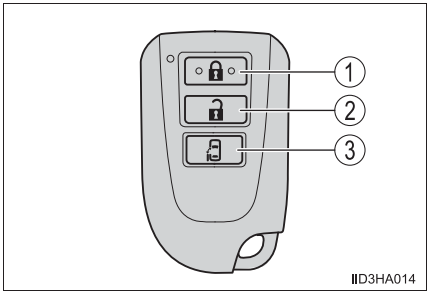


ワイヤレスリモコン

▶ スマートエントリー＆スタートシステム非装着車



▶ スマートエントリー＆スタートシステム装着車



① ドアの施錠（→ P. 70）

必ず施錠されたことを確認してください。

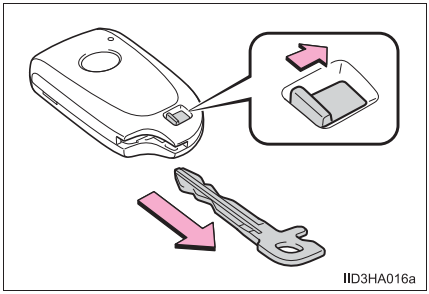
② ドアの解錠（→ P. 70）

③ パワースライドドアの開閉★（→ P. 79）

メカニカルキーを使うには（スマートエントリー＆スタートシステム装着車）

メカニカルキーを取り出すには、解除レバーをスライドしてキーを取り出してください

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー＆スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。（→ P. 336）



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■キーの構成について

車の仕様により、ここで説明している内容とキーの枚数・組み合わせが異なる場合があります。

■キー（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはメカニカルキー（スマートエントリー&スタートシステム装着車）を紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキー※から、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーを作ることができます。
キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

※ マスターキー（黒色）を紛失すると、キーの作製にコンピューターの交換が必要となるため、紛失しないように注意してください。

■航空機に乗るときは

航空機にワイヤレス機能装着キーを持ち込む場合は、航空機内でキーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

■電池の消耗について

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

ワイヤレス機能が作動しない場合は、電池が消耗している可能性があります。電池が弱ったら新しい電池に交換してください。（→ P. 274）

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

→ P. 99

■電池の交換方法

→ P. 274

■キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはトヨタ販売店へご相談ください。

⚠ 注意

■キーの故障を防ぐために

- ●落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- ●温度の高いところに長時間放置しない
- ●ぬらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- ●キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- ●分解しない
- ●電子キー表面にシールなどを貼らない
- ●テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

■キー取り扱いの注意

ワイヤレスドアロックリモコンは電波法の認証に適合しています。必ず以下のことをお守り下さい。

- ●電池交換時以外は、不用意に分解しないで下さい。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- ●必ず日本国内でご使用下さい。

■電子キーを携帯するとき

電源を入れた状態の電化製品とは 10cm 以上離して携帯してください。10cm 以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

■スマートエントリー＆スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

■電子キーを紛失したとき

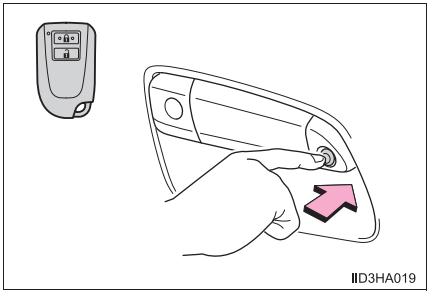
電子キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りの電子キーをすべてお持ちの上、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

フロントドア

車外からの施錠・解錠

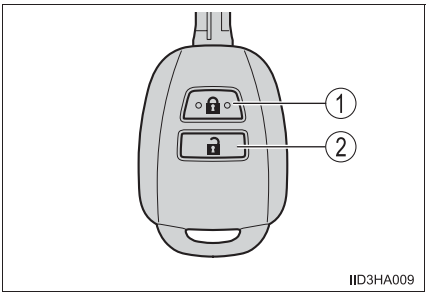
◆ スマートエントリー&スタートシステム★

電子キーを携帯し、ロック／アンロックスイッチを押して施錠・解錠する

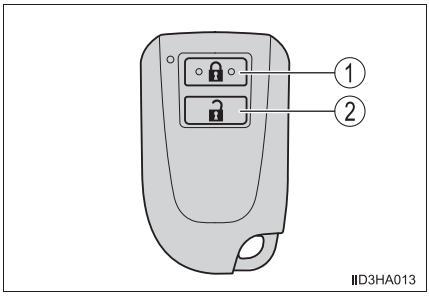


◆ ワイヤレスリモコン

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車



▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車



① 全ドアを施錠する

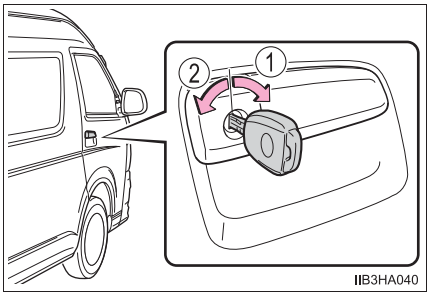
必ず施錠されたことを確認してください。

② 全ドアを解錠する

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ キー

① 全ドアを施錠する
② 全ドアを解錠する



知識

■作動の合図

スマートエントリー & スタートシステムまたはワイヤレスリモコンでのドアの施錠・解錠を、ブザー※と非常点滅灯の点滅で知らせます。（施錠は 1 回、解錠は 2 回）

※スマートエントリー&スタートシステム装着車

■ワイヤレスリモコンの作動条件（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）

- 周囲の状況により作動可能距離がかわることがあります。確実に作動させるためには、車から約 1m まで近付いて操作してください。
- エンジンスイッチにキーが挿し込まれている場合は、ワイヤレスリモコンが作動しません。

■解錠操作のセキュリティ機能

スマートエントリー & スタートシステムまたはワイヤレスリモコンでの解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

■半ドア警告ブザー（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとすると、ブザーが鳴ります。
ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

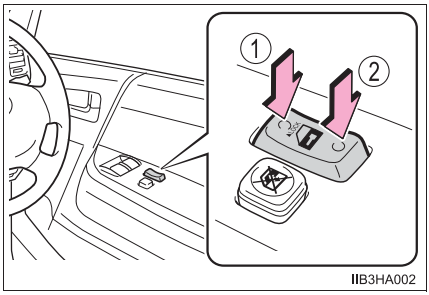
■スマートエントリー& スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

- メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。（→ P. 336）
- 電池が消耗しているときは、電池を交換してください。（→ P. 274）

車内からの施錠・解錠

◆ ドアロックスイッチ

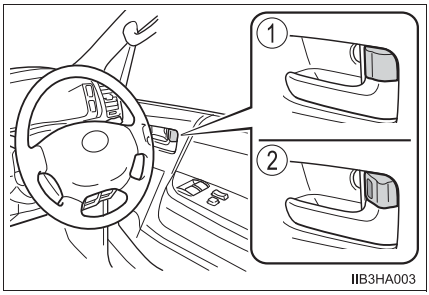
① 全ドアを施錠する
② 全ドアを解錠する



◆ ロックレバー

① ドアを施錠する
② ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアハンドルを引くと開けられます。



キーを使わずに外側からフロント席を施錠するときは

1 ロックレバーを施錠側にする
2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

キーがエンジンスイッチに挿し込まれているときは施錠されません。

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードのときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。ただし、キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

オートドアロック・アンロック機能

次の機能を設定・解除することができます。

機能	作動内容
シフト連動オートロック	エンジン回転中にシフトレバーをPから動かすと全ドアが施錠されます。
シフト連動オートアンロック	シフトレバーをPに入れると全ドアが解錠されます。
車速感応オートロック	速度が 20km/h 以上になると全ドアが施錠されます。
運転席ドア連動オートアンロック	エンジンスイッチを“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはOFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にしてから 43 秒以内に運転席ドアを開けると全ドアが解錠されます。

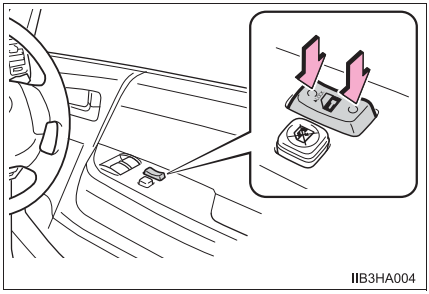
設定・解除のしかた

次の手順で、各機能の設定と解除が交互に切り替わります。

1 すべてのドアを閉め、エンジンスイッチを“ ON ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にする（その後 10 秒以内に 2 を行う）

2 シフトレバーを P または N に入れ、ドアロックスイッチの LOCK 側または UNLOCK 側を約 5 秒間押して離す

設定を行う機能によってシフトレバーとスイッチの位置を次の表から選択します。
機能を解除するには、同じ手順を行います。



機能	シフトレバーの位置	ドアロックスイッチの位置
シフト連動オートロック	P	LOCK
シフト連動オートアンロック		UNLOCK
車速感応オートロック	N	LOCK
運転席ドア連動オートアンロック		UNLOCK

設定または解除の切りかえ操作が完了すると、すべてのドアが施錠されたあと、解錠されます。

知識

■衝撃感知ドアロック解除システム

車が前後左右から強い衝撃を受けると、すべてのドアが解錠されます。衝撃の度合いや事故の形態によっては作動しないことがあります。

■スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれのある状況

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

●次のような場合、ワイヤレス機能が正常に働かないおそれがあります。

・近くにテレビ塔や発電所・放送局・空港など強い電波を発生する設備、電波式のオーディオ機器など電波を発生する電子機器・大型ディスプレイがあるとき
・無線機や携帯電話・コードレス電話などの無線通信機器を携帯しているとき
・複数のワイヤレスキーが近くにあるとき
・ワイヤレスキーが金属製のものに接したり、覆われているとき
・近くで電波式ワイヤレスキーを使用しているとき
・ワイヤレスキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いているとき

●金属を含むフィルムや、金属物（トヨタ純正品以外のアンテナなど）をバックドアガラスに貼り付けると、車両後方からの操作時に、作動可能距離が短くなる場合があります。

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

→P. 97

⚠警告

■事故を防ぐために

運転中は次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、不意にドアが開き、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●すべてのドアを確実に閉め、施錠する

●走行中はドア内側のドアハンドルを引かない
特に、フロントドアはロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。

■ドアを開閉するときは

傾斜した場所・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

スライドドア

スライドドアは次の方法で施錠・解錠および開閉することができます。
また、パワースライドドア装着車は、ドアハンドルやワイヤレス機能などを使ってスライドドアを自動開閉することもできます。

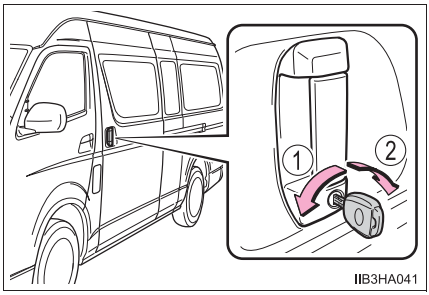
車外からの施錠・解錠

◆ ワイヤレス機能

→ P. 70

◆ キー

① ドアを施錠する
② ドアを解錠する



車内からの施錠・解錠

◆ ドアロックスイッチ

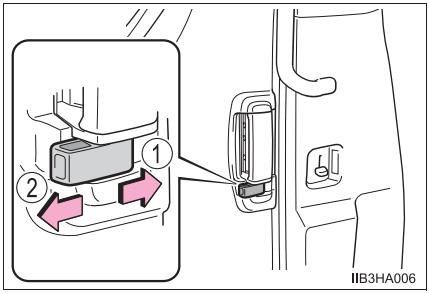
→ P. 72

◆ ロックレバー

① ドアを施錠する

② ドアを解錠する

車外から施錠するときは、ロックレバーを施錠側にしてスライドドアを閉じます。



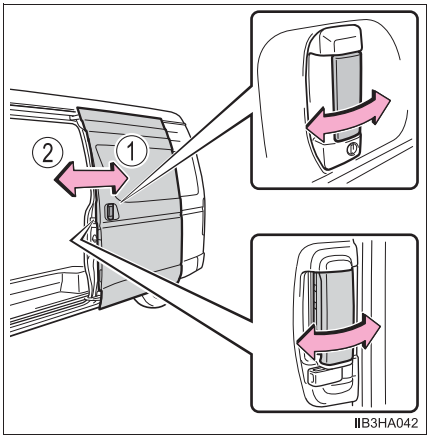
スライドドアの開閉

車外または車内のスライドドアハンドルを操作します。

① 開く

② 閉じる

ロックが解除されるまで、確実にドアハンドルを引きます。



知識

■スライドドアイージークローザー★

スライドドアが半ドア状態になったとき、イージークローザーが作動し、スライドドアが自動で完全に閉まります。

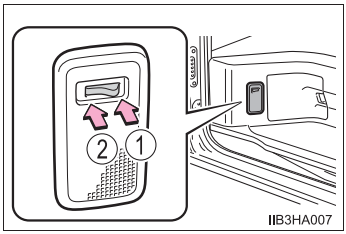
- ●エンジンスイッチの位置、またはモードに関係なく作動します。
- ●パワースライドドア装着車では、パワースライドドアメインスイッチが OFF のときでも作動します。
- ●車内や車外のドアハンドルを引いたままドアを閉めたときは、イージークローザーが作動しないことがあります。
- ●イージークローザーの作動中でも、車内または車外のドアハンドルを引いてドアを開けることができます。（ロックレバーが施錠側のときを除く）

■スライドドアステップランプ

スイッチを ON にしておくと、スライドドアまたはバックドアを開けたときに点灯します。

① ON

② OFF



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

スライドドアの自動開閉（パワースライドドア装着車）

パワースライドドアメインスイッチ（→ P. 80）が ON のとき、次の方法でスライドドアを自動開閉できます。

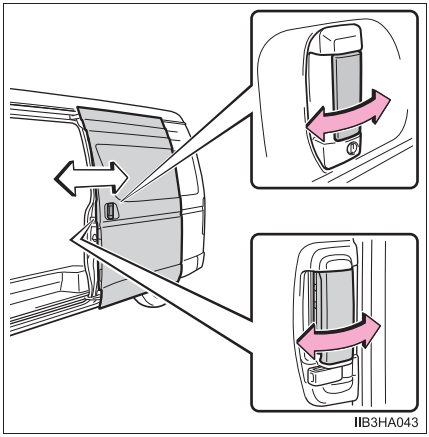
◆ スライドドアハンドル

車外または車内のスライドドアハンドルを操作します。

① ドアを開くには、ブザーが鳴るまでドアハンドルを開方向に引く

② ドアを閉じるには、ブザーが鳴るまでドアハンドルを閉方向に引く

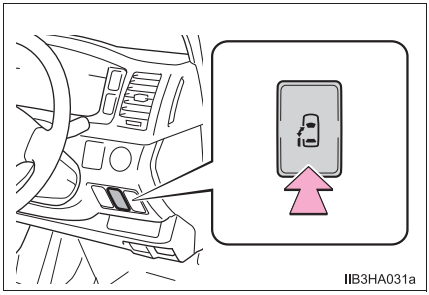
開閉作動中、ドアハンドルを逆方向に操作すると、反転作動します。ただし、作動開始から約 1 秒間は反転作動に切りかわりません。



◆ パワースライドドアスイッチ

スイッチを約 1 秒押し続ける

開閉作動中に再度スイッチを押すと、反転作動します。
ただし、作動開始から約 1 秒間は反転作動に切りかわりません。

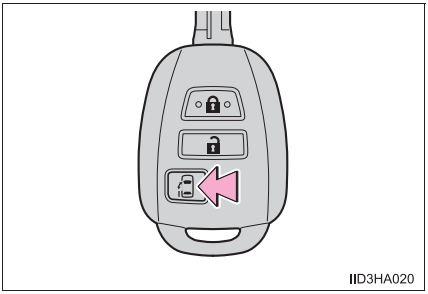


◆ ワイヤレスリモコン

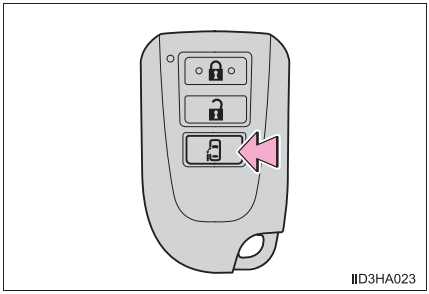
スイッチを約 1 秒押し続ける

開閉作動中に再度スイッチを押すと、反転作動します。
ただし、作動開始から約 1 秒間は反転作動に切りかわりません。

▶ スマートエントリー＆スタートシステム非装着車



▶ スマートエントリー＆スタートシステム装着車



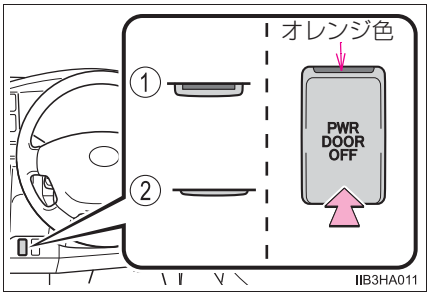
パワースライドドアメインスイッチ（パワースライドドア装着車）

パワースライドドアメインスイッチが ON のとき、スライドドアの自動開閉が可能になります。

① ON

スイッチ上部にオレンジ色のマークが見えています。

② OFF



知識

■パワースライドドア★の作動条件

パワースライドドアメインスイッチが ON で、次の作動条件をすべて満たしているときに、自動で開閉できます。（エンジンスイッチの位置、またはモードに関係なく使用できます）

- スライドドアが解錠されているとき（閉作動を除く）
- エンジンスイッチが“ ON ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）のときは上記に加え、車速が 3km/h 未満かつ次のいずれかの条件を満たしていることが必要です。
  - ・シフトレバーが P のとき
  - ・パーキングブレーキがかかっているとき
  - ・ブレーキペダルを踏んでいるとき
- 作動条件を満たしていても、エンジンスイッチが“ ON ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）のときは、ワイヤレスリモコンで開閉することはできません。

■パワースライドドア★の作動について

- 作動開始時にブザーが鳴ります。また、閉作動中はブザーが断続的に鳴ります。
- 作動条件を満たしていないときは、自動開閉できません。（その場合、手動で開閉できます）
- パワースライドドアの自動開閉中に、人や異物などにより異常を感知すると、ブザーが鳴り、その位置から反転作動します（連続して 2 回異常を感知すると、ブザーが鳴り、自動開閉できなくなります）。ただし、自動で開けているときに全開位置から約 20cm 手前の範囲で異常を感知した場合は、その位置で作動を停止します。その場合は、パワースライドドアメインスイッチを OFF にし、スライドドアをいったん手動で全閉、または全開にしてから、操作し直してください。
- パワースライドドアの自動開閉中に反転操作をすると、連続 2 回まで反転作動し、3 回目は反転作動を停止します。その場合は、パワースライドドアメインスイッチを OFF にし、スライドドアをいったん手動で全閉、または全開にしてから、操作し直してください。

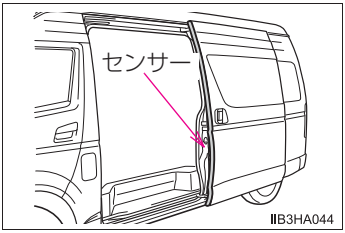
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■パワースライドドア★を開けたままバッテリー端子を取りはずしたときは

バッテリー端子を再接続しても、パワースライドドアを自動開閉できなくなります。その場合は、スライドドアを手動でいったん全閉にすると、自動開閉が可能になります。

■挟み込み防止機能（パワースライドドア装着車）

スライドドアを自動で閉めているときに、センサーが異物の挟み込みなどを感知すると、スライドドアが反転作動し、全開位置で自動停止します。



⚠警告

■走行中の警告

走行中は次のことをお守りください。
お守りいただかないと、思いもよらずドアが開き、外に投げ出されるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中は車内のドアハンドルを操作しない

■お子さまを乗せているときは

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- お子さまを車内に残さないでください。
  誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはスライドドアの開閉操作をさせないでください。
  不意にスライドドアが作動したり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

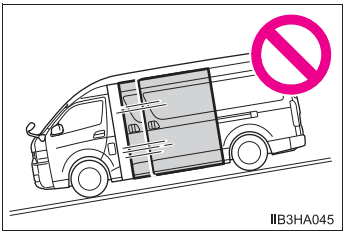
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

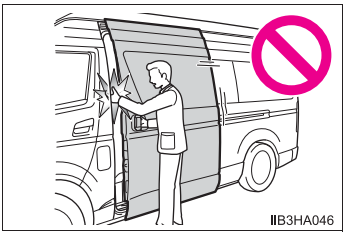
■スライドドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- スライドドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- スライド式リヤサイドガラス★を開けた状態でスライドドアを開閉するときは、窓から手・足・顔などを出さないでください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 半開状態ではスライドドアが静止しないため、必ず全開にしてください。傾斜した場所での停車時にドアが開いていると、突然動き出すおそれがあります。
- 坂道ではスライドドアの開閉スピードが速くなります。ドアが体にあたったり挟んだりしないよう、注意してください。
- 下り坂での停車時に乗り降りするときは、スライドドアを全開にしておいてください。また、途中でドアハンドルを操作しないでください。ドアが突然動き出すおそれがあります。


IIB3HA045

- スライドドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。

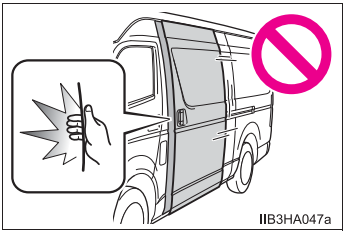

IIB3HA046

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■スライドドアイージークローザー★について

●スライドドアが半ドア状態になったとき、イージークローザーが作動し自動で完全に閉まります。また、作動しはじめるまでに数秒かかります。指などを挟まないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



●パワースライドドア装着車では、パワースライドドアメインスイッチが OFF であってもイージークローザーが作動するため、指などの挟み込みには十分注意してください。

●ロックレバーが施錠側のときは、イージークローザー作動中に車内のドアハンドルを操作しても作動は停止しません。指などを挟まれないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■パワースライドドア★について

パワースライドドアの操作時は、次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- ドアハンドルを使ってパワースライドドアを開閉するときは、操作後すぐにドアハンドルから手を離してください。ドアハンドルを握ったままスライドドアが作動すると、手・指・腕などに無理な力がかかるおそれがあるので十分注意してください。
- 周辺の安全を確かめ、障害物がないか、身のまわりの品が挟み込まれる危険がないか確認してください。
- 人がいるときは、作動させる前に安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- スライドドアが自動で開閉している途中でパワースライドドアメインスイッチを OFF にしたり、作動条件（→ P. 81）が満たされなくなったりすると、ブザーが鳴って作動が停止します。坂道などの傾斜した場所では、停止させたとき急に開いたり閉じたりするおそれがあるため、十分注意してください。
- 傾斜した場所では、開いたあとにドアが閉まる場合があります。ドアは必ず全開で静止していることを確認してください。
- 次のような場合、システムが異常と判断し自動作動が停止することがあります。手動操作に切りかわり、急にスライドドアが閉まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあるため、十分に注意してください。
  - 自動作動中、障害物に干渉したとき
  - エンジン停止時でパワースライドドアが自動作動しているときに、エンジンスイッチを“ ON ”（スマートエントリー＆スタートシステム非装着車）、またはイグニッション ON モード（スマートエントリー＆スタートシステム装着車）にしたりエンジンを始動したりして、バッテリー電圧が急に低下したとき

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■挟み込み防止機能（パワースライドドア装着車）

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

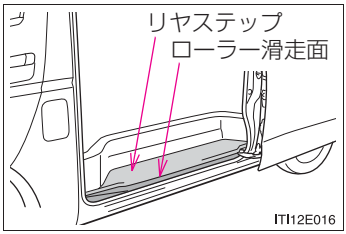
- 挟み込み防止機能を故意に作動させようとして、体の一部を挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、スライドドアが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。
- 挟み込み防止機能は、挟まれるものの形状や挟まれ方によっては作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

⚠ 注意

■スライドドアについて

●スライドドアを開閉する前に、運転者はスライドドアが安全に開閉できるように車外および車内のスライドドア付近の状態を必ず確認してください。

●スライドドアのリヤステップ下のローラー滑走面に、石などの異物が入り込まないように注意してください。異物が入り込んだままスライドドアを開閉すると、スライドドアの故障の原因になります。



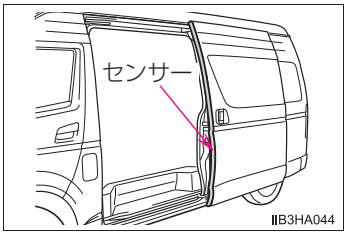
■スライドドアイージークローザー★について

●イージークローザーの作動中は無理な力をかけないでください。

●ドアの開け閉めを短時間にくり返すとイージークローザーが作動しないことがあります。この場合、一度ドアを開け、少し時間をおいてから閉め直すと作動します。

■パワースライドドア★のセンサーについて

センサーを刃物などの鋭利なもので傷付けないよう注意してください。センサーが切断されると自動で閉めることができなくなります。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

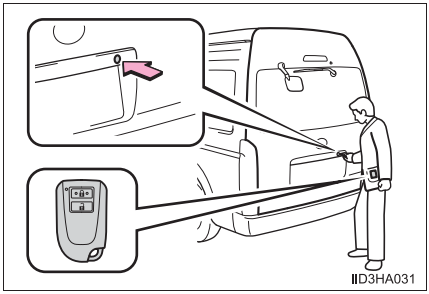
バックドア

バックドアは次の方法で施錠・解錠、および開けることができます。

車外からの施錠・解錠

◆ スマートエントリー&スタートシステム★

電子キーを携帯し、ロック／アンロックスイッチを押して施錠・解錠する



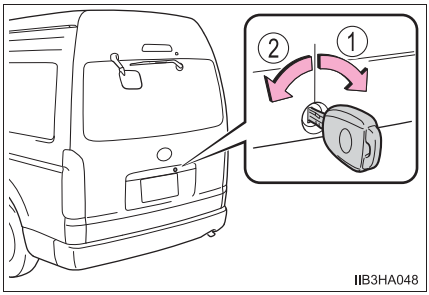
◆ ワイヤレス機能

→ P. 70

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ キー

① ドアを施錠する
② ドアを解錠する



車内からの施錠・解錠

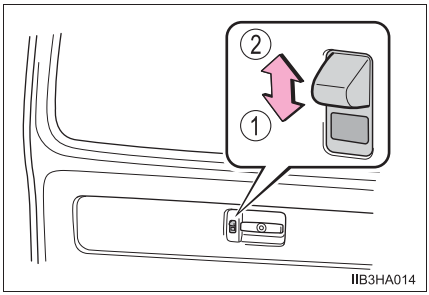
◆ ドアロックスイッチ

→ P. 72

◆ ロックレバー

① ドアを施錠する
② ドアを解錠する

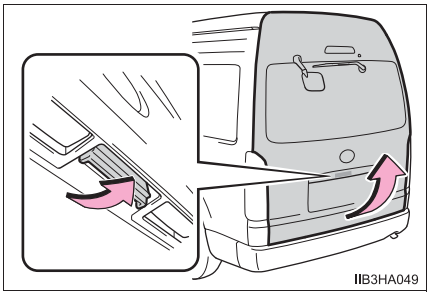
車外から施錠するときは、ロックレバーを施錠側にしてバックドアを閉じます。



バックドアを開けるには

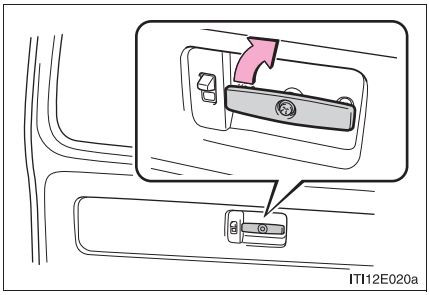
◆ バックドアハンドル（車外）

バックドアハンドルを引いたまま、バックドアを持ち上げる



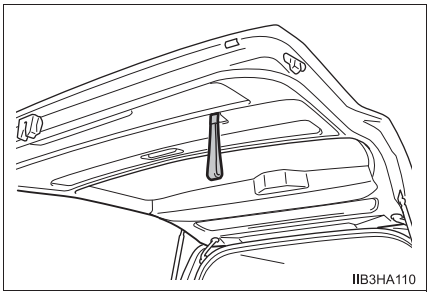
◆ バックドアハンドル（車内）★

バックドアハンドルを右にまわして、バックドアを押し上げる



バックドアを閉めるときは

バックドアストラップ★を持ってバックドアを引き下げ、必ず外から押して閉めてください。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■走行中の警告

●走行中はバックドアを閉じてください。
開けたまま走行すると、バックドアが車外のものにあたったり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害や死亡につながるおそれがあり危険です。走行前にバックドアが閉まっていることを必ず確認してください。

●走行前にバックドアが完全に閉まっていることを確認してください。
バックドアが完全に閉まっていないと、走行中にバックドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

●ラゲージスペース、またはシートをスペースアップした場所※には絶対に人を乗せないでください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●走行中は車内のドアハンドルを操作しないでください。
バックドアが開き車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

※ スペースアップシート装着車のみ

■お子さまを乗せているときは

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●ラゲージスペース、またはシートをスペースアップした場所※でお子さまを遊ばせないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。

●お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。
不意にバックドアが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

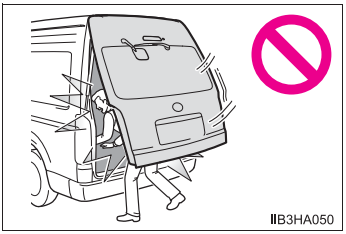
※ スペースアップシート装着車のみ

⚠ 警告

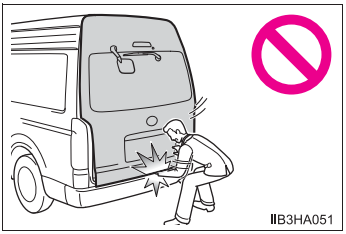
■バックドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- バックドアを開ける前に、バックドアに貼り付いた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが突然閉じるおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。
  バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- 半開状態で使用すると、バックドアが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜した場所では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



- バックドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。
- バックドアは必ず外から軽く押して閉めてください。バックドアストラップで直接バックドアを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。



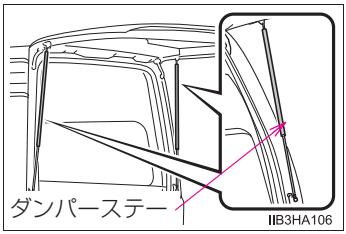
- バックドアダンパーステーを持ってバックドアを閉めたり、ぶらさがったりしないでください。
  手を挟んだり、バックドアダンパーステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアにキャリアなどの重いものを取り付けると、開けたあとにドアが突然閉じて、手・頭・首などを挟むおそれがあります。バックドアへのアクセサリー用品の取り付けは、トヨタ純正品を使用することをおすすめします。

⚠ 注意

■ダンパーステーについて

バックドアにはバックドアを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ダンパーステーの損傷や作動不良を防ぐため次のことをお守りください。

- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステーのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を付けない
- ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない



■バックドアを操作するときは

車内のドアハンドル★や、バックドアの下端に付いているロック部品などをつかんで、バックドアを操作しないでください。ドアハンドルやロック部品などが破損するおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

スマートエントリー&スタートシステム★

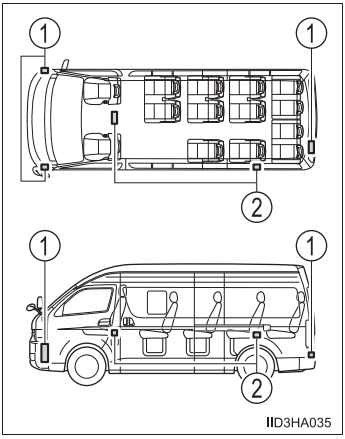
電子キーをポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。必ず運転者がキーを携帯してください。

- ドアを施錠・解錠する（→P. 70, 88）
- エンジンを始動する（→P. 135）

知識

■アンテナの位置

①車外アンテナ
②車内アンテナ



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

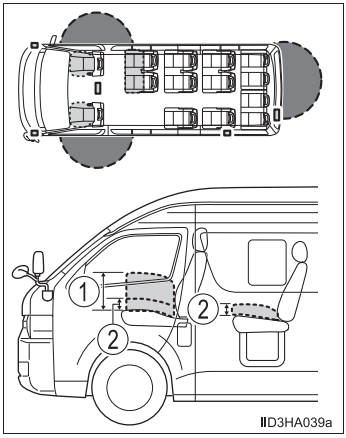
■作動範囲（電子キーの検知エリア）

●：ドアの施錠・解錠時

各ドアのロック／アンロックスイッチから周囲約 70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。（電子キーを検知しているドアのロック／アンロックスイッチのみ作動します）

●：エンジン始動時またはエンジンスイッチ切りかえ時

車内で電子キーを携帯している場合に作動します。（フロア上、ダッシュボード上、サードシートよりうしろの座席などは作動範囲の対象外です）



①シートからの高さ 50cm（運転席）

②シートからの高さ 15cm（助手席およびセカンドシート）

■警告音と警告表示について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、警告音が鳴ったり、警告灯が点灯したりすることがあります。警告灯が点灯した場合は、状況に応じて適切に対処してください。（→P. 315）

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次のとおりです。

警告音	状況	対処方法
車外から“ピー”と5秒間鳴る	いずれかのドアが開いているときにスマートエントリー&スタートシステムで施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠する
	車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する
・車外から“ピー”と5秒間鳴る ・車内から“ピー”と1回鳴る	車内に電子キーを置いたまま、フロントドアを開き、ロックレバーを施錠側にしてドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する
車内から“ピー、ピー”と鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態でエンジンスイッチをアクセサリーモードにした（アクセサリーモードのとき運転席ドアを開いた）	エンジンスイッチをOFFにしたあと、運転席ドアを閉める
	シフトレバーをP以外の位置にしたまま、ドアを開けて外に出ようとした	シフトレバーをPにする

■機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン、エンジンイモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。(対処方法：→ P. 336)

●電子キーの電池が消耗しているとき

●近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき

●無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器を携帯しているとき

●電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき

・アルミ箔などの金属の貼られたカード
・アルミ箔を使用したタバコの箱
・金属製の財布やかばん
・小銭
・カイロ
・CD や DVD などのメディア

●近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき

●電子キーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯しているとき

・他の車の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
・パソコンや携帯情報端末（PDA など）
・デジタルオーディオプレーヤー
・ポータブルゲーム機器

●バックドアガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき

●充電器など電子機器の近くに電子キーを置いた場合

■ご留意いただきたいこと

●施錠・解錠時に電子キーが作動範囲内（検知エリア内）にあっても、ドアガラスやドアハンドルに近付きすぎている、または地面の近くや高い場所にあるときは正しく作動しないことがあります。

●インストルメントパネル上面、フロントドア部やリヤサイド部のオープントレイ、バックドア付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知され車外から施錠でき、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあります。

●電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外は解錠しません。

●車外でも電子キーがドアガラスに近づいていると、エンジンを始動できることがあります。

●ワイヤレスリモコンなどでの施錠時にキーが車両の近くにあると、スマートエントリー&スタートシステムでの解錠ができないことがあります。（ワイヤレスリモコンを使用すると解錠できます）

●ドアハンドル上のロック／アンロックスイッチを押しながらドアハンドルを引いたときは、解錠されない場合があります。その場合は、ドアハンドルを一度もとの位置にもどしてから再度ロック／アンロックスイッチを押し、解錠されたことを確認してからドアハンドルを引いてください。

●作動範囲内に他の電子キーがあると、解錠に時間がかかることがあります。

■長期間運転しないとき

●盗難防止のため、電子キーを車両から 2m 以上離しておいてください。

●あらかじめスマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることができます。（→ P. 356）

■システムを正しく作動させるために

電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。
作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。（誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります。：→ P. 96）

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき

●ドア・バックドアの施錠・解錠：→ P. 336

●エンジンの始動：→ P. 336

■電池の消耗について

●電池の標準的な寿命は 1 ～ 2 年です。

●電池残量が少なくなると、エンジンを停止した際に車内から警告音が鳴ります。（→ P. 315）

●電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。

・スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
・作動範囲が狭くなった
・電子キーの LED が点灯しない

●電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の1m以内に電子キーを保管しないでください。

・TV
・パソコン
・携帯電話やコードレス電話機、および充電器
・電気スタンド
・電磁調理器

■カスタマイズ機能

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。（カスタマイズ一覧：→ P. 356）

■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたとき

●ドアの施錠・解錠：ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。（→ P. 70, 336）

●エンジンの始動・エンジンスイッチのモード切りかえ：→ P. 336

●エンジンの停止：→ P. 136

⚠ 警告

■電波がおよぼす影響について

- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器を装着されている方は、室内アンテナ・車外アンテナ（→ P. 94）から約 22cm 以内に近付かないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波が医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー＆スタートシステムを非作動にすることもできます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

■電子キーの取り扱いの注意

電波キーは電波法の認証に適合しています。必ず以下のことをお守りください。

- 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- 必ず日本国内でご使用ください。
- 認証ラベルをはがさないでください。認証ラベルのないものの使用は禁止されています。

フロントシート

調整のしかた

① 前後位置調整※

② リクライニング調整

※ 助手席は車種により固定式になります。また、シートの意匠は車種により異なります。

⚠ 警告

■シートを調整するとき

●同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。

●シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■リクライニング調整について

●背もたれは必要以上に倒さないでください。
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

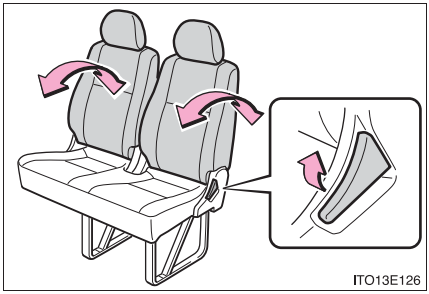
●シート調整後は、シートがきちんと固定されていることを確認してください。

リヤシート★

調整のしかた

リクライニング角度の調整★

レバーを引いたまま、背もたれを前後に動かします。



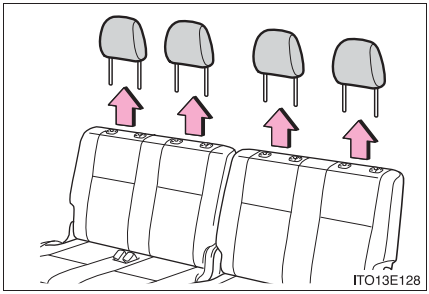
スペースアップシート

■ スペースアップするときは

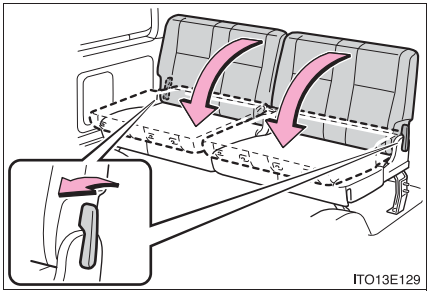
1 車を安全な場所に駐車し、パーキングブレーキを確実にかける

2 ヘッドレストを取りはずす

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。（→ P. 105）



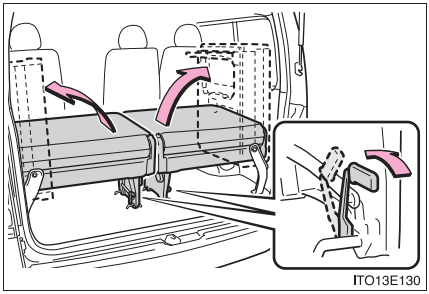
3 レバーを引いて背もたれを前に倒す



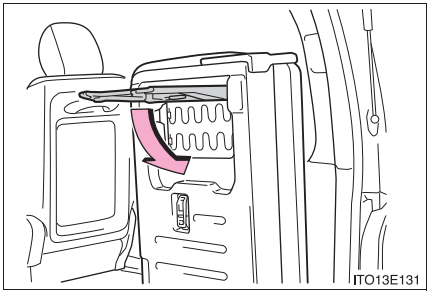
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

4 ロック解除レバーを動かしてシート脚部のロックを解除し、シート全体を窓側に起こす

シートを起こしたあとは、手でしっかりと支えてください。

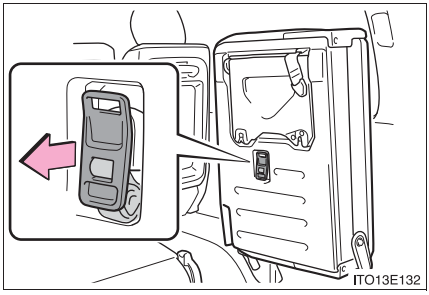


5 シート脚部を折りたたむ



6 シート固定バンドを取り出す

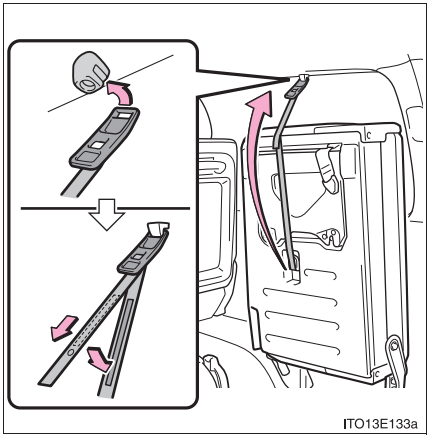
プレートを手前に引いて、固定バンドを取り出します。



7 プレートをフックに掛けてから、バンドの端を引いてたるみをなくし、シートを確実に固定する

バンドの端をマジックテープで確実に固定します。

シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。



■ もとにもどすときは

スペースアップしたときと逆の手順で操作を行います。

知識

■スペースアップシートについて

前倒しから起こした状態で、レバーを前側に引きながら後方に倒すと、背もたれを 3 段階うしろに倒すことができます。

⚠ 警告

■シート調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。
  必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後は、シートがきちんと固定されていることを確認してください。

■スペースアップシートについて

スペースアップシートを操作するときは、次のことをお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中に操作をしない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーを P にする
- 操作中は、可動部や結合部に手足を挟まないように注意する
- お子さまに操作させない
- スペースアップして広げた場所に人を乗せて走行しない
- スペースアップして広げた場所にお子さまが入らないよう注意する
- スペースアップ操作をしたあとは、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認する

■スペースアップシートをもとにもどしたあとは

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートを前後・上下に軽くゆさぶり、確実に固定する
- シートベルトを挟み込まないようにする
- ヘッドレストをもとどおりに取り付ける

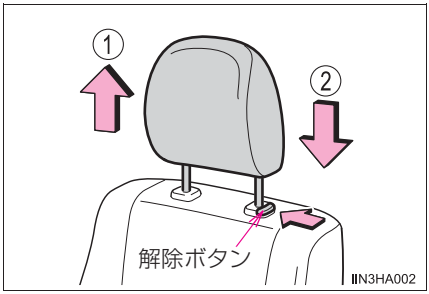
ヘッドレスト★

▶ 分割式ヘッドレスト

① 上げる

② 下げる

下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



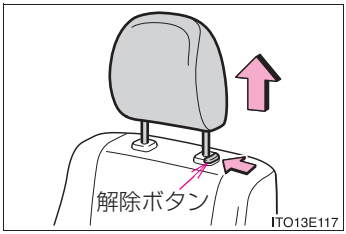
▶ 一体式ヘッドレスト

ヘッドレストの調整・取りはずしはできません。

知識

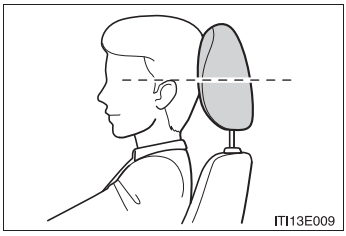
■ヘッドレストを取りはずすとき

解除ボタンを押しながら取りはずします。



■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■ヘッドレストについて

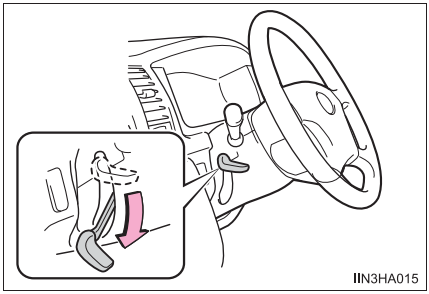
次のことをお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ●ヘッドレストを正しい位置に調整する
- ●ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ●ヘッドレストをはずしたまま走行しない

ハンドル

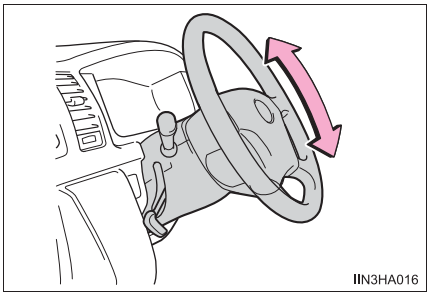
調整のしかた

1 ハンドルを持ち、レバーを下げる



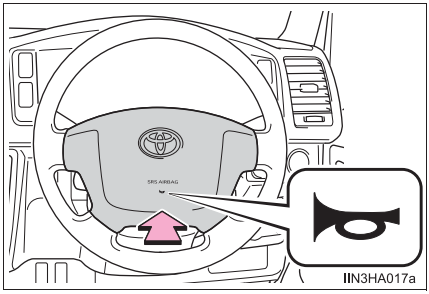
2 ハンドルを上下に動かし、適切な位置にする

位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定してください。



ホーン（警音器）

ハンドルの 周辺部を押すとホーンが鳴ります。



知識

■ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だと、ホーンが鳴らない場合があります。

⚠ 警告

■走行中の警告

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。
運転を誤り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドルの位置が突然かわり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

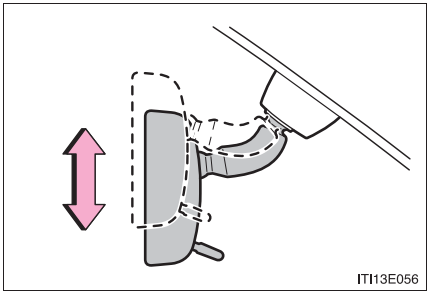
インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する



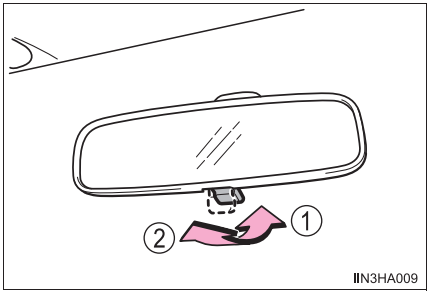
防眩機能

▶ 手動防眩ミラー

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

① 通常使用時

② 防眩時



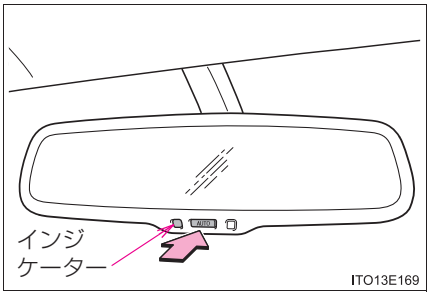
▶ 自動防眩ミラー

後続車のヘッドランプのまぶしさに応じて反射光を自動的に減少させます。

自動防眩機能の切りかえ

ON ／ OFF

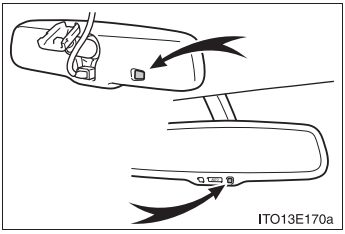
ON のときはインジケーターが点灯します。
エンジンスイッチを“ ON ”（スマートエントリー＆スタートシステム非装着車）またはイグニッション ON モード（スマートエントリー＆スタートシステム装着車）にしたときは、ミラーは常に自動防眩機能が ON になっています。
ボタンを押すとOFFになりインジケーターが消灯します。



知識

■センサーの誤作動防止（自動防眩ミラー装着車）

センサーの誤作動を防ぐため、センサーにふれたり、センサーを覆ったりしないでください。



⚠警告

走行中はミラーの調整をしないでください。
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

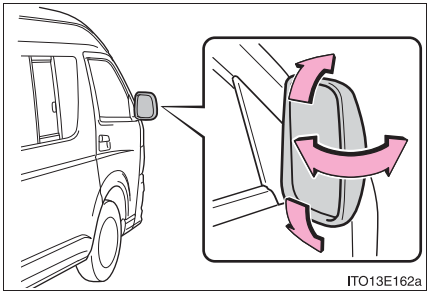
アウターミラー

調整のしかた

▶ 手動タイプ

ミラー全体を手で動かして調整する

調整後は運転席に座って、後方確認が十分できることを確認してください。



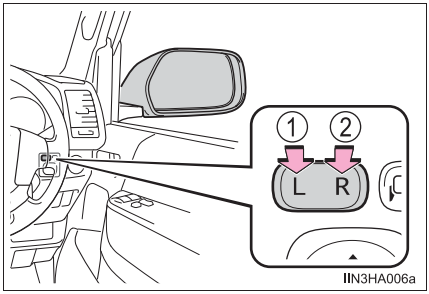
▶ 電動タイプ

スイッチで鏡面の角度調整をします。

1 調整するミラーを選ぶには、スイッチを押す

① 左

② 右



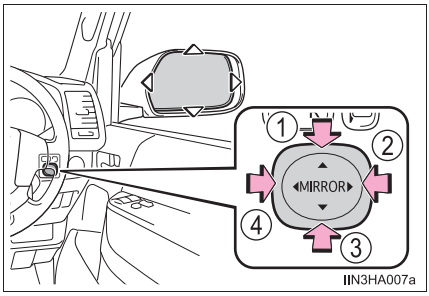
2 ミラーの鏡面を調整するには、スイッチを押す

① 上

② 右

③ 下

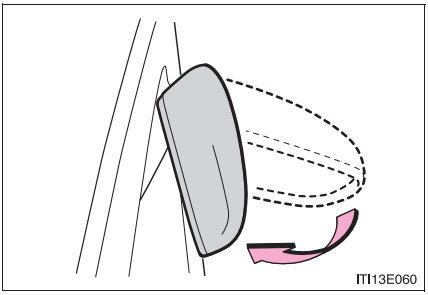
④ 左



アウターミラーを格納する

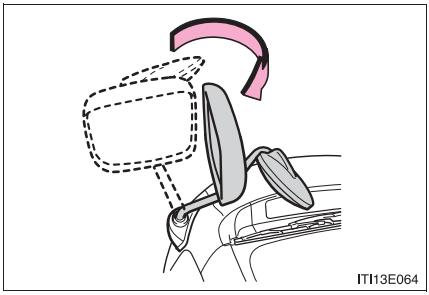
▶ 手動タイプ

運転席側：



手で後方に押して格納する

助手席側：



手で前方に押して格納する

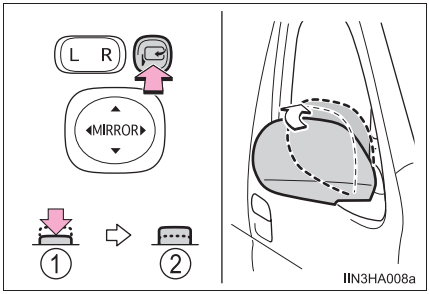
▶ 電動タイプ

ボタンを押してアウターミラーを格納する

① 格納状態

② 復帰状態

もう一度押すと、もとの位置にもどります。



知識

■作動条件（電動タイプ）

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ ACC ”または“ ON ”のとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモードのとき

■ミラーが曇ったとき（ミラーヒーター装着車）

リヤウインドウデフォッガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取ることができます。（→ P. 221, 227）

⚠ 警告

■走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●ミラーの調整をしない
- ●ミラーを格納したまま走行しない
- ●走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

■ミラーが動いているとき（電動タイプ）

手をふれないでください。
手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ミラーヒーターが作動しているとき（ミラーヒーター装着車）

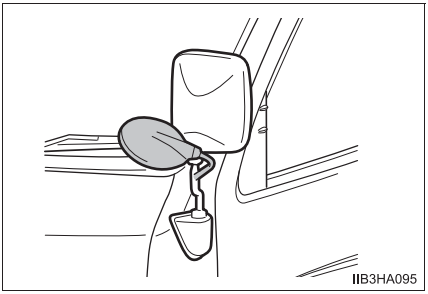
鏡面が熱くなるのでふれないでください。

補助ミラー

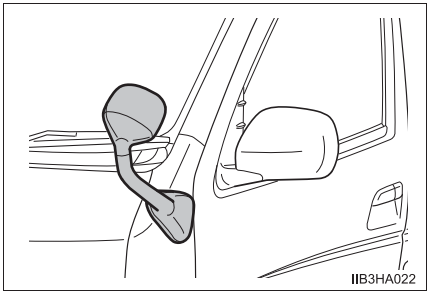
フロントアンダーミラー

発進時またはごく低速時に、車両前面を確認するときに役立ちます。

▶ 電動アウターミラー非装着車



▶ 電動アウターミラー装着車

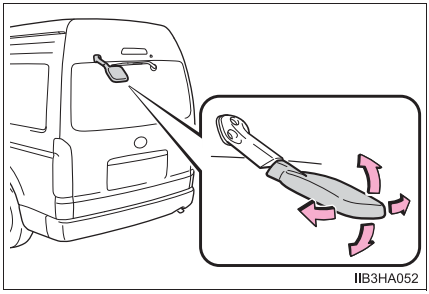


リヤアンダーミラー★

後退時の視界確保に貢献します。

ミラー全体を手で動かして調整する

調整後は運転席に座って、後方確認が十分できることを確認してください。



⚠ 注意

■補助ミラーについて

- 補助ミラーの鏡面部に汚れが付着しているときは、やわらかい布などを使用して汚れをふき取ってください。
- 車両直前・直左部や後方の確認は直接確認するか、インナーミラー・アウターミラーなども併用し十分注意して行ってください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パワーウインドウ

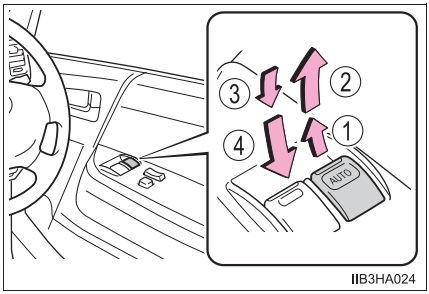
調整のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを下記のように動かします。

① 閉める
② 自動全閉（運転席のみ）※
③ 開ける
④ 自動全開（運転席のみ）※

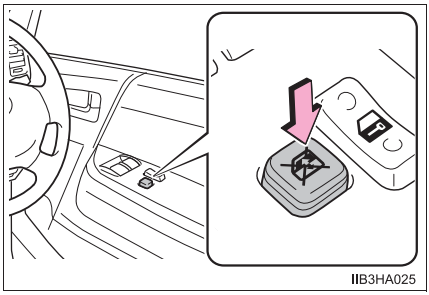
※ 途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。



ウインドウロックスイッチ

スイッチを押すと、助手席のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



知識

■作動条件

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ ON ”のとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■エンジン OFF 後の作動（運転席ドアガラスのみ）

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチを“ ACC ”または“ LOCK ”にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチをアクセサリーモードまたは OFF にしたあとでも、約 45 秒間ドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

■挟み込み防止機能（運転席ドアガラスのみ）

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■バッテリーを再接続したときは

運転席ドアガラスの自動開閉や挟み込み防止機能などが作動しなくなります。
パワーウインドウを適切に作動させるために、下記の初期設定を行ってください。

1 半分まで運転席のドアガラスを開ける

2 スイッチを引き上げて運転席のドアガラスを全閉し、そのままスイッチを 1 秒間保持する

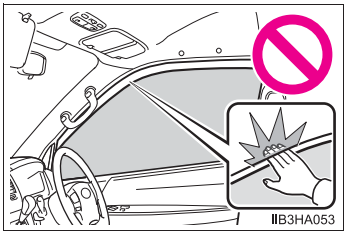
⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ドアガラスを開閉するときは

●運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。
また、お子さまが同乗するときはウインドウロックスイッチを使用することをおすすめします。（→ P. 115）

●ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。



●車から離れるときはエンジンスイッチを“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にし、キーを携帯してお子さまも一緒に車から離れてください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 挟み込み防止機能（運転席ドアガラスのみ）

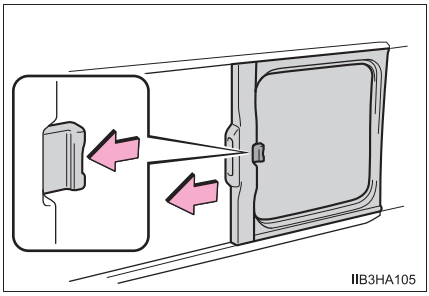
●挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。

●挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

スライド式リヤサイドガラス★

開けるときは、ノブを押してロックをはずし、ガラスをスライドさせる

ガラスの開度は、3 段階から選択できます。
操作後は、ガラスが確実に固定されたことを確認してください。



⚠ 警告

■スライド式リヤサイドガラスを開閉するときは

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- リヤサイドガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。
- お子さまには、リヤサイドガラスの操作をさせないでください。
リヤサイドガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

運転 4

4-1. 運転にあたって

運転にあたって 120
荷物を積むときの注意..... 131

4-2. 運転のしかた

エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）..... 132
エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム装着車）..... 135
オートマチックトランスミッション 141
方向指示レバー..... 146
パーキングブレーキ..... 147

4-3. ランプのつけ方・ワイパーの使い方

ランプスイッチ..... 148
リヤフォグランプスイッチ ... 151
ワイパー & ウォッシャー（フロント）..... 152
ワイパー&ウォッシャー（リヤ）..... 155

4-4. 給油のしかた

給油口の開け方..... 157

4-5. 運転支援装置について

バックモニター..... 161
運転を補助する装置..... 172
排出ガス浄化装置（ディーゼル車）..... 174

4-6. 運転のアドバイス

寒冷時の運転..... 179

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

エンジンをかける

→ P. 132,135

発進する

1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする（→ P. 141）

2 パーキングブレーキを解除する（→ P. 147）

3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

停車する

1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む

2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける

長時間停車する場合は、シフトレバーを P または N にします。（→ P. 141）

駐車する

1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む

2 シフトレバーを P にする（→ P. 141）

3 パーキングブレーキをかける（→ P. 147）

4 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチを“ LOCK ”にしてエンジンを停止する

スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチを押してエンジンを停止する

5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する

坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止めを使用してください。（→ P. 319）

上り坂の発進のしかた

1 パーキングブレーキをしっかりかけ、シフトレバーを D にする

2 アクセルペダルをゆっくり踏む

3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し、発進する

知識

■雨の日の運転について

●雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。

●雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。

●雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

■走行中のエンジン回転数について

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなることがあります。これは走行状況に合わせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うためで、急加速を示すものではありません。

●車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき

●アクセルペダルを離したとき

■運転者標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミボデー部に取り付けることはできません。

■オーバーヒートについて

次のようなきびしい走行状況ではオーバーヒートになるおそれがあります。

●暑い日に長い上り坂を走行する

●高速走行直後に急減速や急停止をする

■エンジン停止前のアイドリング運転について（ディーゼル車）

ターボ装置の損傷を防ぐため、高速走行・登坂走行直後は、アイドリング運転を行ってからエンジンを停止してください。

走行状況		アイドリング運転時間
市街地などの一般走行		不要
高速走行	約 80km/h 定速	約 20 秒
	約 100km/h 定速	約 1 分
山岳ドライブウェイなど急な登坂、または 100km/h 以上の連続走行		約 2 分

■環境に配慮した運転

環境に配慮した運転をしているとき、エコドライブインジケーターランプが点灯します。必要以上にアクセルペダルを踏んだときや停車中は消灯します。

●エコドライブインジケーターランプは、次の条件のときに作動します。

・シフトポジションが D で走行中
・車速が約 100km/h 以下のとき

●エコドライブインジケーターランプの作動／非作動を設定できます。（→ P. 62）

■エンジン出力の抑制について（ブレーキオーバーライドシステム）

●アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれたとき、エンジン出力を抑制する場合があります。

●ブレーキオーバーライドシステム作動中は、メーター内のブレーキオーバーライドシステム警告灯（→ P. 313）が点灯します。

⚠ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■発進するとき

エンジンがかかったまま停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■運転するとき

●踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。

・アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
・後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
・車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
・ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

●燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を停めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

●通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 301を参照してください。

●急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。（→ P. 143）

⚠ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転するとき

- 走行中はハンドル・シート・アウターミラー・インナーミラーの調整をしないでください。運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。
- オフロード走行をしないでください。
  やむを得ずオフロードを走行するときは、慎重に運転してください。
  また 4WD 車でも、この車は本格的なオフロード走行を目的とした車両ではありません。
- 渡河などの水中走行はしないでください。
  電装品のショートやエンジンの破損など、重大な車両故障の原因になるおそれがあります。
- シートの上や付近に荷物を置いて走行しないでください。
  急ブレーキをかけたときや、旋回しているときなどに荷物が飛び出したりして乗員にあたったり、荷物を破損したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 水たまり走行後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

■シフトレバーを操作するとき

- シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。
  エンジンが停止し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。
  トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れないでください。
  トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れないでください。
  トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトレバーをNにすると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
  シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。
パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限界をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあり危険です。

■停車するとき

- 空ぶかしをしないでください。
  シフトレバーがＰまたはＮ以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながるのを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。
  排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

⚠ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■駐車するとき

●炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶・炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる

●ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。

●ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。

●シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。

●車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにしてエンジンを停止し、施錠してください。
エンジンがかかっているあいだは、車から離れないでください。

●エンジン回転中または停止直後は排気管にふれないでください。
やけどをするおそれがあります。特にディーゼル車は高温になる場合がありますので、注意してください。(→P. 174)

⚠ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■仮眠するとき

必ずエンジンを停止してください。
エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ブレーキをかけるとき

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。
  ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。
  この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また、制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- 万一エンジンが停止したときは、ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使い切ってしまいます。
- ブレーキシステムは２つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

■万一脱輪したとき（4WD 車）

いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。駆動系部品の損傷や、車両の飛び出しによる思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■運転しているとき

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、エンジン出力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

■駐車するとき

必ずシフトレバーをPにしてください。Pにしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

■部品の損傷を防ぐために

- パワーステアリングポンプの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

■ターボ装置の故障を防ぐために（ディーゼル車）

- 高速走行・登坂走行直後は、エンジンを停止しないでください。必ずアイドリング運転を行い、ターボ装置を冷却してからエンジンを停止してください。（→P. 122）
- 排気管などには指定以外の部品を使わないでください。
- 排気管の改造は絶対にしないでください。
- エンジンが冷えているときは、空ぶかしや急加速は絶対に行わないでください。
- 定期的なオイル交換を必ず行ってください。（→P. 351）

■走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかり持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法はP. 318を参照してください。

⚠ 注意

■冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を受けるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- 電動ファンシステム
- エンジン・トランスミッション・トランスファー（4WD 車）・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト・各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

⚠ 警告

■積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

●燃料が入った容器

●スプレー缶

■荷物を積むときは

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

●できるだけ荷物はラゲージスペース、またはシートを起こしてスペースアップした場所※に積んでください。

※ スペースアップシート装着車のみ

●次の場所には荷物を積まないでください。

・運転席足元
・助手席・リヤ席（荷物を積み重ねる場合）
・インストルメントパネル
・ダッシュボード

●室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。

●シート以外の場所には、絶対に人を乗せて走行しないでください。
乗員は、適切にシートベルト★を着用させ、座席に座らせてください。
お守りいただかないと、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■荷物の重量・荷重のかけ方について

●荷物を積み過ぎないでください。

●荷重を不均等にかけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）

エンジンのかけ方

1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する

2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する

3 ブレーキペダルをしっかり踏む

4 エンジンスイッチをまわす

ガソリン車：“ START ”の位置にまわします。

ディーゼル車：“ ON ”の位置までまわし、（予熱表示灯）が点灯後消灯したら“ START ”の位置にまわします。

エンジンスイッチの位置の切りかえ

① “ LOCK ”（OFF）
- ステアリングロックがかかります。
- シフトレバーの位置が P のとき、キーを抜き挿しすることができます。

② “ ACC ”

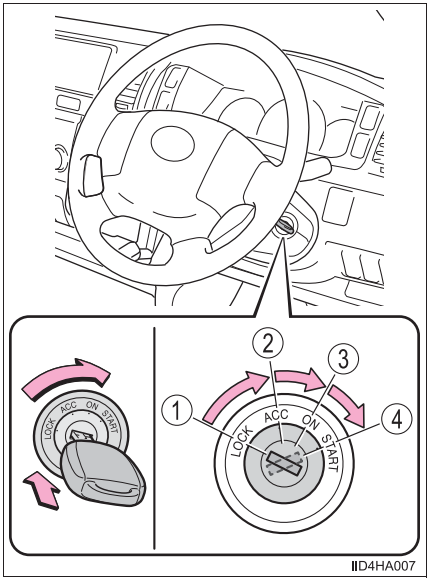
シガレットライターなどの電装品が使用できます。

③ “ ON ”

すべての電装品が使用できます。

④ “ START ”

エンジンが始動できます。

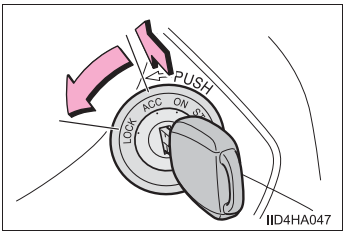


知識

■キーを“ ACC ”から“ LOCK ”にまわすには

1 シフトレバーがPの位置にあることを確認する

2 キーを押し込みながら“ LOCK ”までまわす

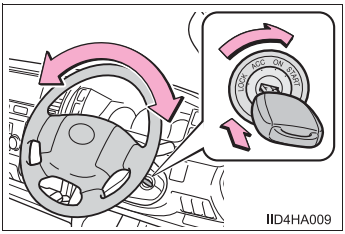


■エンジンが始動しないときは

エンジンイモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。
(→ P. 50)
トヨタ販売店へご連絡ください。

■ステアリングロックを解除するには

ハンドルを左右に動かしながら、エンジンスイッチをまわしてください。



■キー抜き忘れ警告ブザー

キーが挿してあり、エンジンスイッチが“ ACC ”または“ LOCK ”のとき、運転席ドアを開けると警告音が鳴ります。

■極寒時のエンジン始動について（ディーゼル車）

極寒時は約 30 秒を限度に、エンジンが始動するまでエンジンスイッチをまわし続けてください。約 30 秒スターターをまわしても始動しないときは、エンジンスイッチを“ ACC ”にもどし、約 20 秒以上待ってから再始動してください。

⚠ 警告

■エンジンを始動するときは

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行中の警告

走行中はエンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。
緊急時、走行中にエンジンを停止したい場合には“ACC”にしてください。
ただし、緊急時以外は走行中にエンジンスイッチにふれないでください。走行中にエンジンが停止すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
（→P. 301）

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしたまま長時間放置しないでください。

■エンジンを始動するとき

- 一度に 30 秒以上スターターをまわさないでください。
- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■予熱表示灯について（ディーゼル車）

- 予熱表示灯が消灯してからエンジンを始動してください。消灯する前に始動操作を行うと、バッテリーの寿命に悪影響をおよぼします。
- 予熱表示灯の点灯時間は、エンジンが冷えていると長くなります。

エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、エンジンの始動またはエンジンスイッチのモードを切りかえることができます。

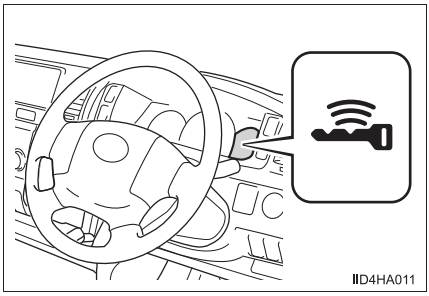
エンジンのかけ方

1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する

2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する

3 ブレーキペダルをしっかり踏む

スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色に点灯します。
緑色に点灯していないと、エンジンは始動しません。



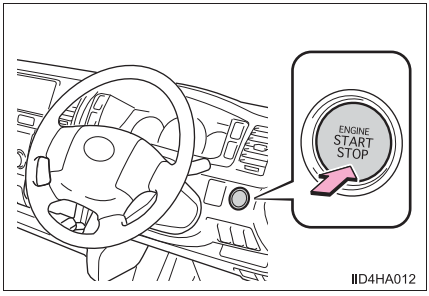
4 エンジンスイッチを押す

エンジンが始動するまで最大 30 秒間スターターが回転します。

完全にエンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

ディーゼル車： （予熱表示灯）が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

エンジンスイッチのどのモードからでもエンジンを始動できます。



エンジン停止のしかた

1 車両を完全に停止させる

2 シフトレバーを P の位置にする

3 パーキングブレーキをかける（→ P. 147）

4 エンジンスイッチを押す

5 ブレーキペダルから足を離した状態にしてスマートエントリー＆スタートシステム表示灯が消灯していることを確認する

エンジンスイッチのモード切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと、モードを切りかえることができます。（スイッチを押すごとにモードが切りかわります）

① OFF ※

非常点滅灯が使用できます。

② アクセサリーモード

オーディオなどの電装品が使用できます。

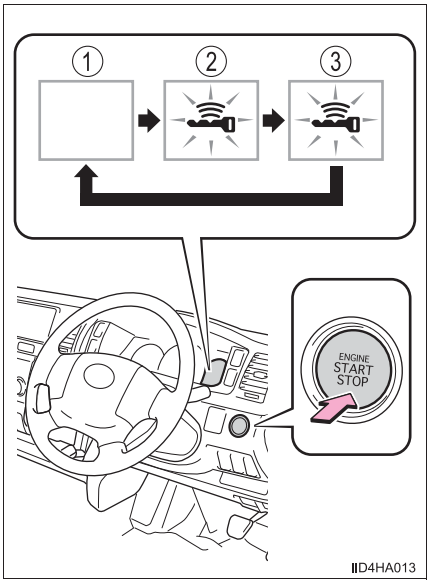
スマートエントリー＆スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

③ イグニッション ON モード

すべての電装品が使用できます。

スマートエントリー＆スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

※ シフトレバーが P 以外のときはアクセサリーモードになり、OFF になりません。



シフトレバーが P 以外でエンジンを停止したとき

シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、エンジンは停止しますが、エンジンスイッチのモードは OFF になりません。次の手順で OFF にしてください。

1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する

2 シフトレバーを P の位置にする

3 スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅していることを確認し、エンジンスイッチを 1 回押す

4 スマートエントリー&スタートシステム表示灯が消灯していることを確認する

知識

■電子キーの検知に関する留意事項

電子キーはポケットなどに携帯してください。

電子キーがフロア上、ダッシュボード上、オープントレイ内、カップホルダー内、サードシートよりうしろの座席などにあるときは、スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しません。（作動範囲：→ P. 95）

■自動電源 OFF 機能

シフトレバーが P にあるとき、20 分以上アクセサリーモードか 1 時間以上イグニッション ON モード（エンジンがかかっていない状態）にしたままにしておくと、エンジンスイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

■エンジンスイッチの操作について

エンジンスイッチを操作する際は、短く確実に押してください。確実に押せていない場合は、モードの切りかえやエンジン始動ができない場合があります。また、確実に操作すれば押し続ける必要はありません。

■電子キーの電池の消耗について

→ P. 99

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 97

■ご留意いただきたいこと

→ P. 98

■エンジンが始動しないとき

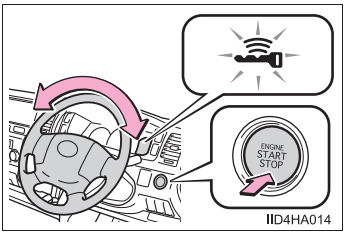
エンジンイモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。
(→P. 50)
トヨタ販売店へご連絡ください。

■ステアリングロックについて

エンジンスイッチを OFF にしたあとにドアを開閉すると、ステアリングロック機能によりハンドルが固定されます。エンジンスイッチを操作すると、ステアリングロックは自動で解除されます。

■ステアリングロックが解除できないとき

スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色に早く点滅します。シフトレバーが P の位置にあることを確認して、ハンドルを左右にまわしながら再操作してください。



■ステアリングロックモーターのオーバーヒート防止について

短時間にエンジン始動・停止をくり返すと、モーターのオーバーヒート防止のために作動制限することがあります。その場合は操作を控えてください。10 秒程度でもとの状態にもどります。

■スマートエントリー&スタートシステム表示灯が黄色に点滅したときは

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■電子キーの電池が切れたときは

→P. 274

■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたときは

→P. 336

⚠ 警告

■エンジンを始動するとき

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行中の警告

エンジンの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状態で停止するまでドアを開けたり、ロック操作をしたりしないでください。ステアリングロック機能が作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■緊急時のエンジン停止方法

走行中にエンジンを緊急停止したい場合には、エンジンスイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してください。（→P. 301）
ただし、緊急時以外は走行中にエンジンスイッチにふれないでください。走行中にエンジンスイッチの操作を行った場合、警告音が吹鳴します。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

⚠ 注意

■ バッテリーあがりを防止するために

- エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- エンジンがかかっていないときに、スマートエントリー＆スタートシステム表示灯が消灯していない場合、エンジンスイッチが OFF になっていません。エンジンスイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- シフトレバーがP以外でエンジンを停止させないでください。シフトレバーがP以外でエンジンを停止させた場合、エンジンスイッチがアクセサリーモードとなるため、そのまま放置するとバッテリーあがりの原因になります。

■ エンジンを始動するとき

- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

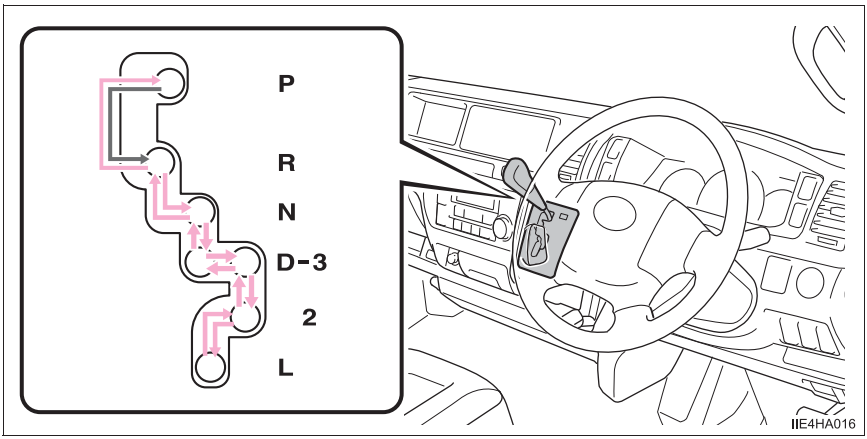
■ エンジンスイッチの操作について

エンジンスイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

オートマチックトランスミッション

シフトレバーの動かし方

▶ 4 速オートマチック車



スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

⬅ エンジンスイッチが“ ON ”の状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

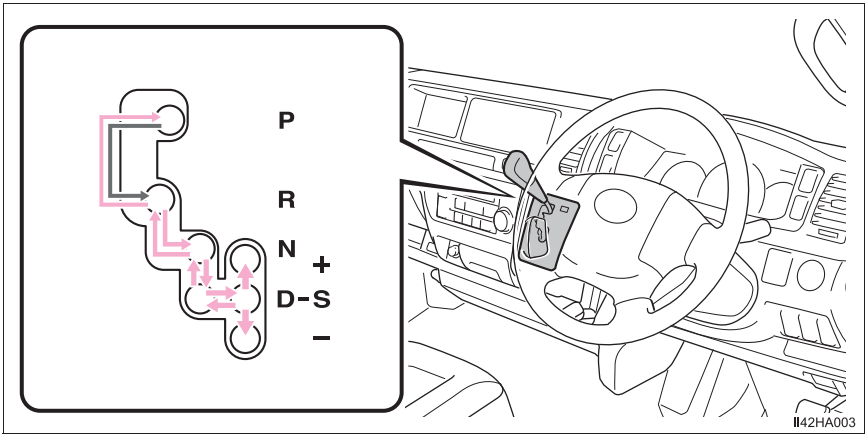
P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

⬅ エンジンスイッチがイグニッション ON モードの状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

▶ 6 速オートマチック車



スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

⬅ エンジンスイッチが“ ON ”の状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

⬅ エンジンスイッチがイグニッション ON モードの状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的	
	4 速オートマチック車	6 速オートマチック車
P	駐車またはエンジン始動・停止	
R	後退	
N	動力が伝わらない状態	
D	通常走行※ 1	
S	−	S モード走行※ 2 （→ P. 144）
3	坂道走行	−
2	下り坂走行	−
L	急な下り坂走行	−

※ 1 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

※ 2 S モードではエンジンブレーキ力の選択が可能です。また、D ポジションにくらべエンジン回転数を高く制御するため、加速応答性が向上します。

S モードでのシフトレンジ切りかえ（6 速オートマチック車）

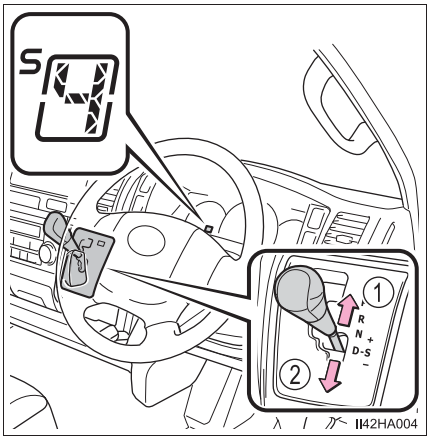
シフトレバーが S の位置にあるとき、シフトレバーを次のように操作できます。

① シフトアップ

② シフトダウン

1 ～ 6 レンジのあいだで選択されているレンジがメーターに表示されます。

S ポジションへ操作したときの初期シフトレンジは、車速に応じて 5 または 4 レンジに設定されます。
ただし、D ポジションにて AI-SHIFT 制御中はそれに従い、初期のシフトレンジが 3 レンジになる場合があります。（→ P. 145）



■ シフトレンジ機能

- エンジンブレーキ力は、6 段階から選択が可能です。
- シフトレンジの数字の小さい方がエンジンブレーキ力は大きくなり、エンジン回転数も高くなります。

知識

■リバース警告ブザー

シフトレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

■シフトレバーを P からシフトできないときは

→ P. 335

■S モードについて（6 速オートマチック車）

4 レンジ以下のとき、シフトレバーを“＋”側へ保持すると 6 レンジに設定されます。

■シフトレバーを S にしても“ S ”が点灯しないときは（6 速オートマチック車）

システム異常のおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■シフトダウン制限警告ブザー（S モード走行時）

6 速オートマチック車は、安全や走行性能を確保するため、シフトダウン操作には制限があり、シフトレバーを操作してもシフトダウンできない場合があります。（このときブザーが 2 回鳴ります）

■AI-SHIFT について

AI-SHIFT は、運転者の運転操作と走行状況により、自動的に適切なギヤに切りかえます。
AI-SHIFT は、シフトレバーを D にしているときに、自動的に作動します。（シフトレバーを S ポジションにすると、機能が解除されます。）

■オートマチックトランスミッション保護機能（6 速オートマチック車）

ぬかるみや砂地・雪道などでスタックしてタイヤが空転する状態が続くときや、走行時にアクセルペダルをくり返し踏んだり離したりする状況が続くと、トランスミッションが高温になり損傷するおそれがあります。
このとき、トランスミッションが損傷しないように、ギヤが一時的に固定される場合があります。
トランスミッションの温度が下がるとギヤの固定は解除され、通常作動に戻ります。

⚠警告

■すべりやすい路面では

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジンブレーキ力の急激な変化が、横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

方向指示レバー

操作のしかた

レバー操作により、次のように運転者の意思を表示することができます。

① 左折

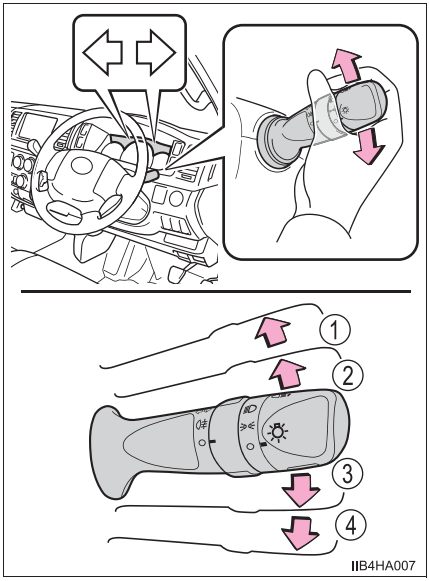
② 左側へ車線変更
（レバーを途中で保持）

レバーを離すまで、左側方向指示灯が点滅します。

③ 右側へ車線変更
（レバーを途中で保持）

レバーを離すまで、右側方向指示灯が点滅します。

④ 右折



知識

■作動条件

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ ON ”のとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■表示灯の点滅が異常に速くなったときは

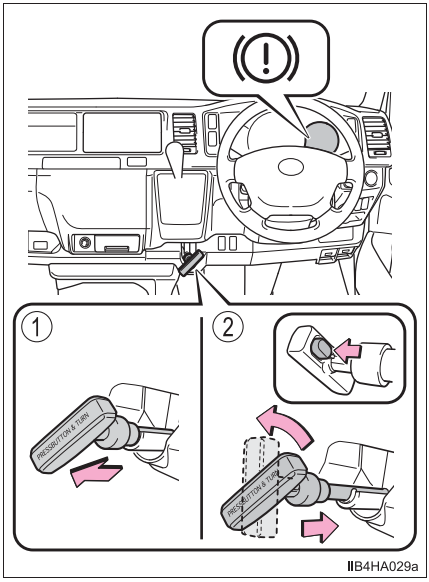
方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

パーキングブレーキ

操作のしかた

① パーキングブレーキをかけるには、ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキレバーをいっぱいまで引く

② パーキングブレーキを解除するには、レバー裏側にあるボタンを押しながら左にまわし完全に奥までもどす



知識

■冬季のパーキングブレーキの使用について

→P. 179

注意

■走行前の注意

パーキングブレーキを完全に解除してください。
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

ランプスイッチ

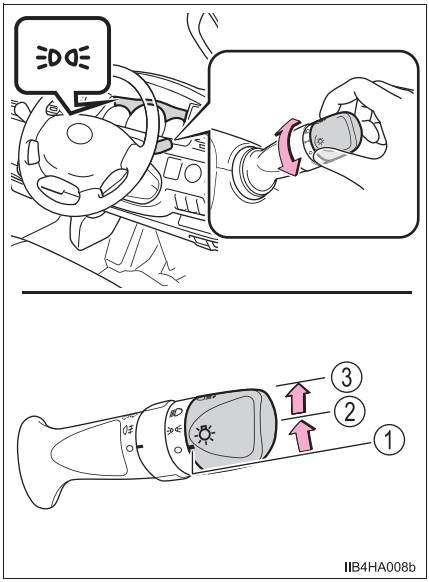
ヘッドランプなどを点灯できます。

操作のしかた

① o 消灯

② 車幅灯・尾灯・番号灯を点灯

③ 上記ランプとヘッドランプを点灯



IIB4HA008b

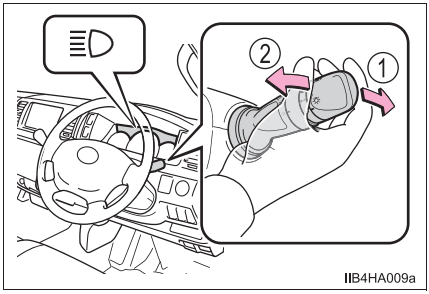
ハイビームにする

① ランプ点灯時ハイビームに切りかえ

レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。

② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯

ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。



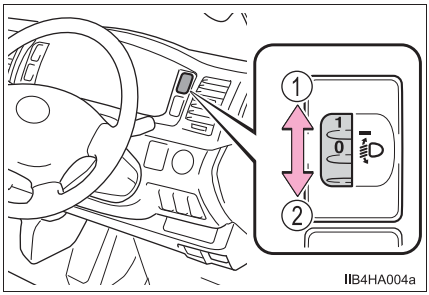
IIB4HA009a

手動光軸調整ダイヤル（ハロゲンヘッドランプ装着車）

乗車人数や荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を調整することができます。

① 上向きに調整

② 下向きに調整



■ 目盛り設定の目安

乗員の条件	ダイヤル位置
運転者	0
14 名乗車時	1.5

知識

■ランプ消し忘れ防止機能

ランプ点灯時、エンジンスイッチを“ ACC ”または“ LOCK ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、または エンジンスイッチをアクセサリーモードまたは OFF（スマートエントリー & スタートシステム装着車）にして運転席ドアを開けると、ヘッドランプと尾灯などが消灯します。再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチを“ ON ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはエンジンスイッチをイグニッション ON モード（スマートエントリー& スタートシステム装着車）にするか、一度ランプスイッチを ⟲ にもどし、再度 ≡D◐ または ≡D の位置にします。

ただし、ランプスイッチを ⟲ にもどし、再度ランプを点灯させ、エンジンスイッチからキーを抜く（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはエンジンスイッチを OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にして運転席ドアを開けた場合は、ランプ類の消し忘れを防止するブザーが鳴ります。

■オートレベリングシステム（LED ヘッドランプ装着車）

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

⚠注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

リヤフォグランプスイッチ★

雨や霧などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。

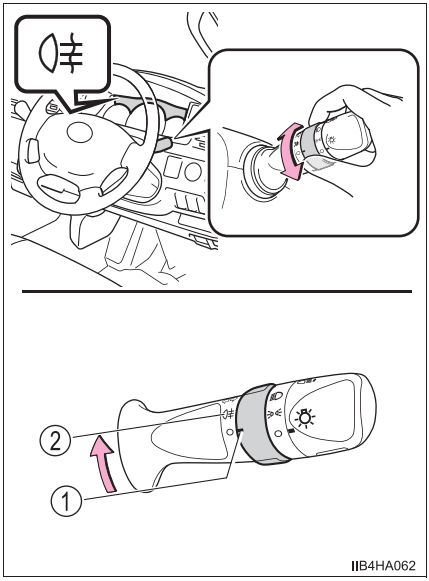
操作のしかた

① o　消灯する

② 点灯する

手を離すと o の位置までもどります。

再度操作すると消灯します。



知識

■点灯条件

ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。

■リヤフォグランプについて

- リヤフォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が橙色に点灯します。
- 視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。必要なとき以外は使用しないでください。

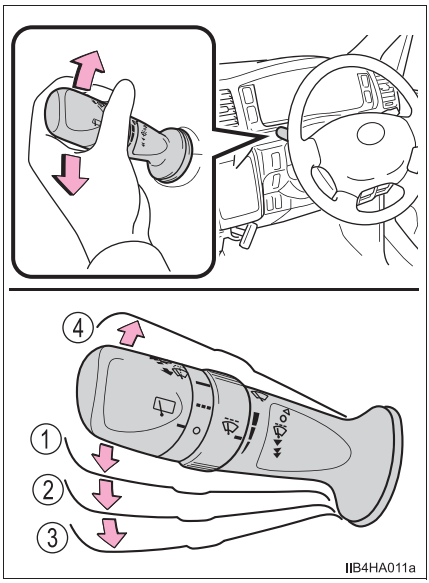
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ワイパー & ウォッシャー（フロント）

操作のしかた

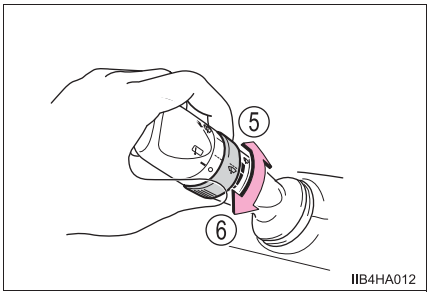
次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

① 間欠作動（INT）
② 低速作動（LO）
③ 高速作動（HI）
④ 一時作動（MIST）



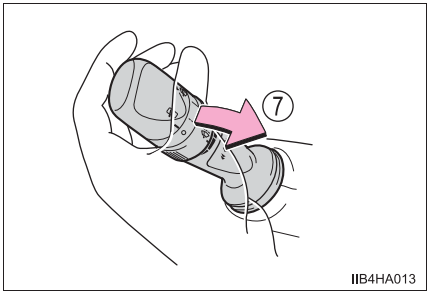
間欠作動を選択しているとき、間欠時間を調整することができます。（間欠時間調整式ワイパー装着車）

⑤ 間欠ワイパーの作動頻度（増）
⑥ 間欠ワイパーの作動頻度（減）



⑦ ウォッシャー液を出す

ワイパーが連動して作動します。



知識

■作動条件

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ ON ”のとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

警告

■ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■ フロントガラスが乾いているときは

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったときは

ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

ワイパー&ウォッシャー（リヤ）

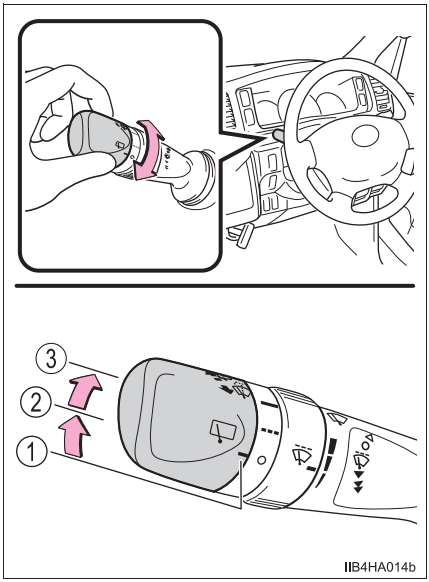
操作のしかた

次のようにレバーの端をまわして、ワイパーの作動を選択します。レバーを前方へ押すと、ウォッシャー液を出すことができます。

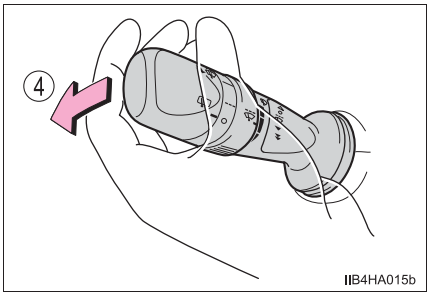
① o　停止

② --- 間欠作動

③ ── 通常作動



④ ウォッシャー液を出す



知識

■作動条件

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ ON ”のとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

注意

■窓ガラスが乾いているときは

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ノズルがつまったときは

ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

給油口の開け方

給油する前に

- すべてのドアとドアガラスを閉め、エンジンスイッチを“ LOCK ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

知識

■燃料の種類

▶ガソリン車

●無鉛レギュラーガソリン

●バイオ混合ガソリン（レギュラー）

▶ディーゼル車

超低硫黄軽油（S10ppm 以下）

■バイオ混合ガソリンについて

ガソリン車は、エタノールの混合率 10% 以下、または ETBE の混合率 22% 以下のガソリン（酸素含有率 3.7% 以下）を使用することができます。

⚠ 警告

■給油するときは

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。
  静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。
- キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、“シュー”という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。
  すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。
- 気化した燃料を吸わないようにしてください。
  燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- 喫煙しないでください。
- 給油口にノズルを確実に挿入してください。
- 継ぎ足し給油をしないでください。
- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

⚠ 注意

■給油するとき

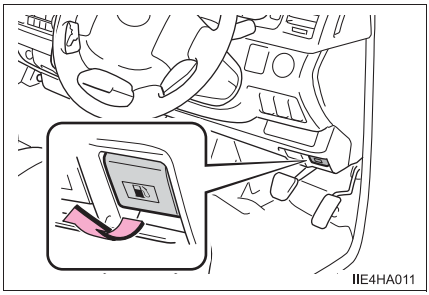
指定のガソリン・軽油を使用してください。
指定以外のガソリンまたは軽油や、他の燃料（粗悪ガソリン・灯油・高濃度バイオ混合ガソリン※）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。
次のような状態になるおそれがあります。

- エンジンの始動性が悪くなる
- エンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- エンジン出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する
- 排出ガス浄化装置が正常に機能しない（ディーゼル車）
  指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続ける場合があります。また、排出ガス浄化装置の故障につながるおそれがあります。

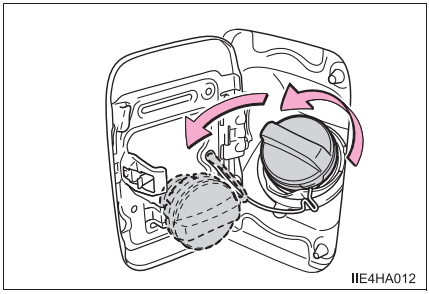
※ エタノール混合率 10% をこえるもの、または ETBE 混合率 22% をこえるもの

給油口の開け方

1 オープナーを引いて、給油扉を開ける


IIE4HA011

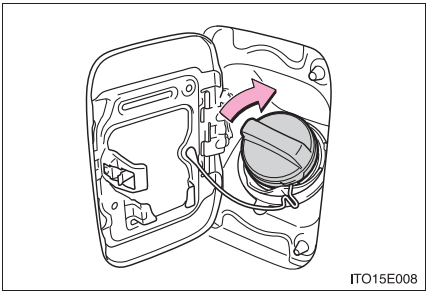
2 キャップをゆっくりまわして開け、ハンガーにかける


IIE4HA012

給油口の閉め方

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。



⚠ 警告

■キャップが正常に閉まらないとき

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。
正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

バックモニター★

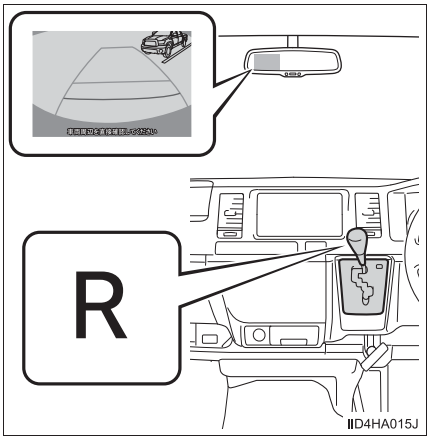
車両後方の映像とガイド線をモニター画面に映し出し、駐車時などの後退操作を補助する装置です。

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

エンジンスイッチが“ ON ”（スマートエントリー＆スタートシステム非装着車）、またはイグニッション ON モード（スマートエントリー＆スタートシステム装着車）のとき、シフトレバーを R にすると、バックモニターの画面が表示されます。

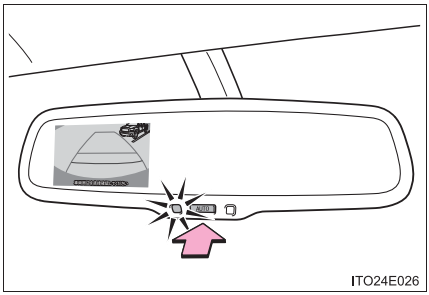
次のとき、バックモニターの画面が解除されます。

・ シフトレバーを R 以外にしたとき
・ バックモニターの画面を表示して、5 分が経過したとき



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

画面の表示／非表示


ITO24E026

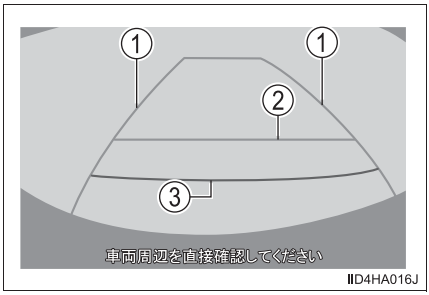
バックモニターの画面が表示されているとき、インナーミラーのAUTO ボタンを押して、画面の ON モードと OFF モードを切りかえることができます。

ON モード：画面が表示され、緑色のインジケーターが点灯します。

OFF モード：画面が非表示になり、橙色のインジケーターが点灯します。

エンジンスイッチを“ LOCK ”から“ ON ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または OFF から ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にすると、バックモニターの画面は ON モードになります。

画面の見方について



IID4HA016J

ガイド線は画面に表示されます。
ガイド線は車両や路面の状況により、誤差を生じることがあります。

① 車幅延長線（青色）
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
実際の車幅より広く表示します。

② 距離目安線（青色）
バンパー後端から約1m先を示します。

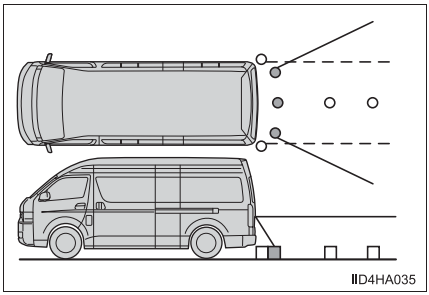
③ 距離目安線（赤色）
バンパー後端から約 0.5m 先を示します。

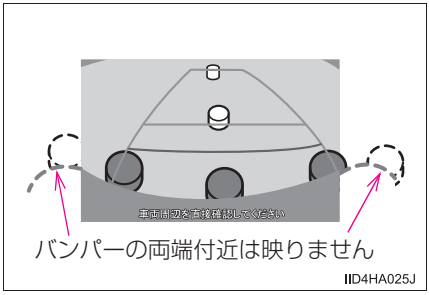
バックモニターの注意点について

■ 画面に映る範囲について

バックモニターは、バンパー後端から車の後方が映ります。

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。

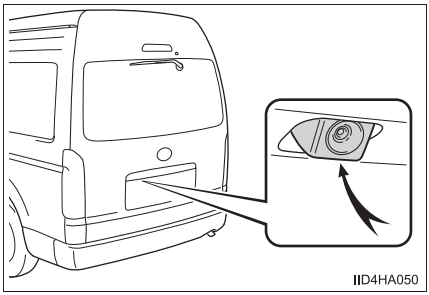

IID4HA035



バンパーの両端付近は映りません
IID4HA025J

■ カメラについて

バックモニターのカメラは、ナンバープレートの左上側にあります。


IID4HA050

● カメラのお手入れについて

カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像を見ることができません。水滴・雪・泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い流してください。

■ 画面と実際の路面との誤差について

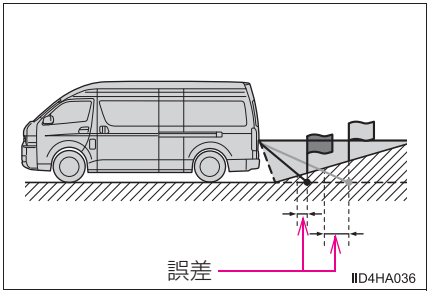
距離目安線や車幅延長線と駐車スペースの区画線が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。

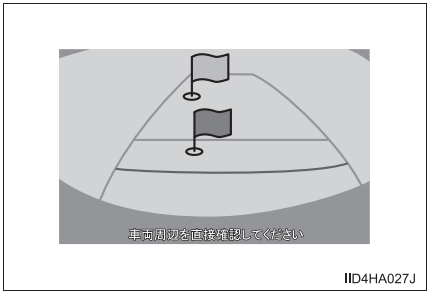
車幅延長線と駐車スペース左右の区画線の間隔が画面では左右均等に見えても、実際は左右均等ではないことがあります。必ず直接確かめてください。

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

● 急な上り坂が後方にあるとき

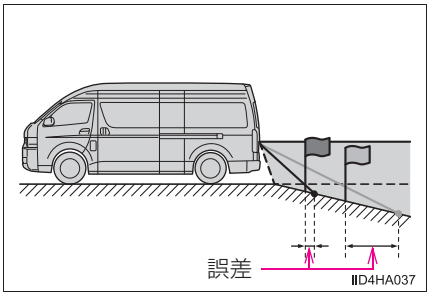
実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

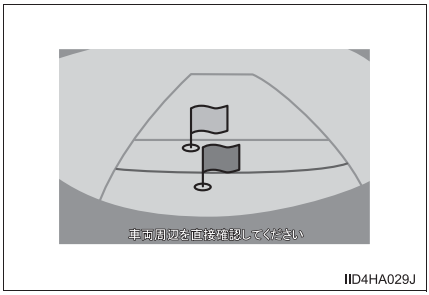




● 急な下り坂が後方にあるとき

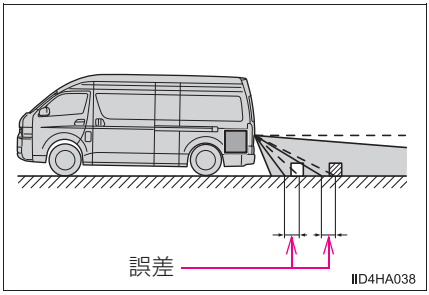
実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。





● 車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

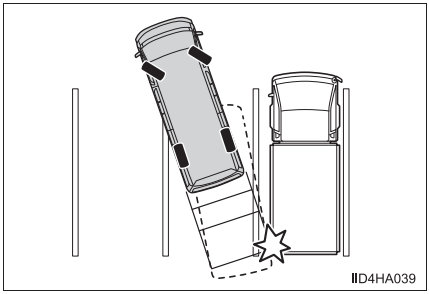


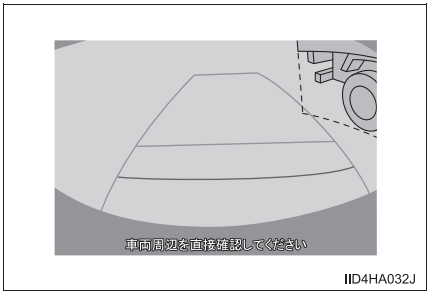
■ 立体物が近くにあるとき

車幅延長線・距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の距離を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことにご注意ください。

● 車幅延長線について

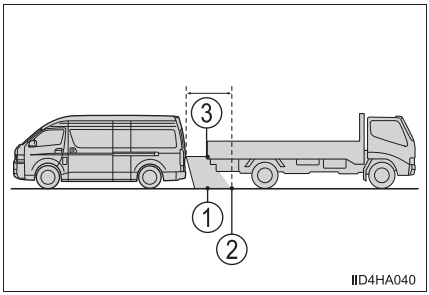
後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が車幅延長線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



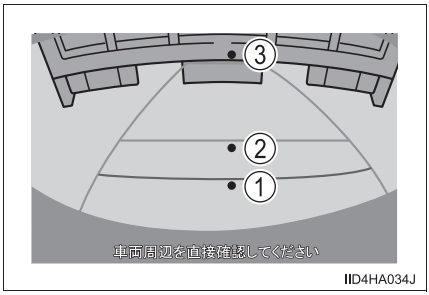


● 距離目安線について

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線により②の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には①の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では①、②、③の順に近く見えますが、実際の距離は①と③は同じ距離で、②は①と③より遠い距離にあります。



IID4HA040



IID4HA034J

知っておいていただきたいこと

■ 故障とお考えになる前に

下記のような症状になったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。
処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

考えられる原因	処置
❑ 画面が見にくい	
・夜間など暗いところで使用するとき ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき ・外気温が低いとき ・カメラに水滴が付いたとき ・雨天時など湿度が高いとき ・カメラ付近に異物（泥など）が付いたとき ・カメラにすり傷が付いたとき ・白壁や明るいものが画面に映り込んだとき ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズにあたったとき ・蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下で使用したとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。（カメラおよびその周辺環境が改善されてから、バックモニターをご使用ください）
❑ 画面が不鮮明	
カメラのレンズに水滴・雪・泥など異物や汚れが付着しているとき	カメラのレンズを水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い流してください。
❑ 画面がずれている	
カメラ部に強い衝撃が加わったとき	トヨタ販売店で点検を受けてください。
❑ ガイド線が大きくずれる	
カメラの位置がずれているとき	トヨタ販売店で点検を受けてください。
・車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど） ・傾斜地で使用するとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。

知識

■バックモニターを使用するときは

インナーミラーの防眩機能が解除されます。

■バックモニターの設定について

エンジンスイッチが“ ON ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはイグニッションON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）かつシフトレバーがRのとき、下記の設定ができます。

●画面を継続的に非表示にするには

AUTO ボタンを 12 秒以上押し続けると、次のように画面が切替り、画面が継続的に非表示になります。

・ ボタンを押し続けると、画面が非表示になり、約 6 秒後にいったん画面が表示されます。それから約 6 秒後に画面が非表示になり、インジケーターが橙色に点灯します。
・ エンジンスイッチを“ LOCK ”から“ ON ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または OFF からイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にしても画面が表示されなくなります。

●画面を表示するには

AUTO ボタンを押します。（インジケーターが緑色に点灯します）

⚠ 警告

■バックモニターを使用するときは

後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- バックモニターは、後退操作を補助する装置です。バックモニターを過信しないでください。
  とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。
- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。
- 駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。十分理解したうえで、バックモニターをご使用ください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。
- 次のような状況では、使用しないでください。
  - ・雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
  - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。とくに動いている物の映像が歪む、または画面から見えなくなることがあります。
- タイヤサイズを変更した場合、画面に表示されるガイド線の位置に誤差が生じることがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→ P. 163）

⚠ 警告

■駐車するとき

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

⚠ 注意

■カメラの取り扱いについて

- バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、次のことにご注意ください。
  - ・カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけたりして、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
  - ・カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - ・カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - ・カメラのカバーは樹脂でできていますので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - ・洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水をあてないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

知識

■ABS・ブレーキアシストの作動音と振動

- ●エンジン始動時や発進直後、ブレーキをくり返し踏んだときに、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- ●上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
  - ・車体やハンドルに振動を感じる
  - ・車両停止後もモーター音が聞こえる
  - ・ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
  - ・ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

⚠ 警告

■ABS の効果を発揮できないとき

●タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき（雪で覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど）

●雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

●泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき

●タイヤチェーンを装着しているとき

●道路のつなぎ目など、段差をこえたとき

●凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

■タイヤを交換するときは

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。（→ P. 354）
異なったタイヤを装着すると、ABS が正常に作動しません。
タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

■タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

排出ガス浄化装置（ディーゼル車）

排出ガス浄化装置内のフィルターに捕集したススが一定量堆積すると、自動的にススを燃焼（再生）処理します。

◆ 燃焼（再生）処理について

- 一般走行では数百km※走行するごとに、自動で捕集したススの燃焼処理が行われます。
- ススが規定量以上になったとき、スイッチ操作で燃焼処理を行うことができます。

※ 気候や走行状況等により異なります。

◆ 排出ガス浄化装置について

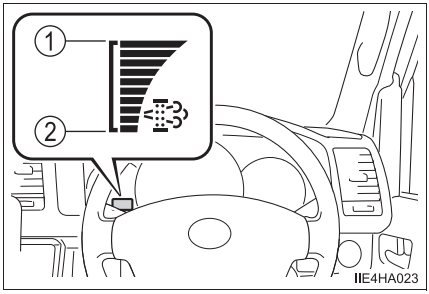
排出ガス浄化装置には、次のような特徴があります。

- 燃焼処理中はアイドリング回転数が上がる
- 排気ガスの臭いが従来のディーゼル車とは異なる
- 始動時や燃焼処理中に、排気管から白い煙（水蒸気）が出る場合がある
- 燃焼処理中は作動音（シューという音）が出る場合がある
- 燃焼処理中は加速が悪くなる場合がある

排出ガス浄化装置堆積モニターについて

メーター内の表示で、ススの堆積量を確認することができます。

ススが堆積して目盛りがいっぱいになる前に、排出ガス浄化スイッチの作動表示灯と、メーター内の（排出ガス浄化装置警告灯）が点滅します。点滅を確認したら、必ずススの燃焼（再生）処理をしてください。（→ P. 176）



① 多い

目盛りがいっぱいになると、メーター内の（エンジン警告灯）が点灯し、（排出ガス浄化装置警告灯）が点灯します。

万一、（エンジン警告灯）が点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。（→ P. 178）

② 少ない

ススの堆積量が一定量未満のときは、いちばん下の目盛りも表示されません。

排出ガス浄化装置警告灯が点滅したときは

排出ガス浄化スイッチの作動表示灯とメーター内の（排出ガス浄化装置警告灯）が点滅したときは、次の手順で燃焼処理を行ってください。

1 車を安全な場所に停車する

2 パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPにする

エンジンは停止しないでください。
また、排気管の周辺に可燃物等がないことを確認してください。（→P. 177）

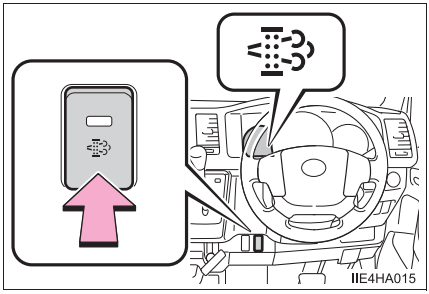
3 排出ガス浄化スイッチを押す

スイッチの作動表示灯とメーター内の排出ガス浄化装置警告灯が点滅から点灯にかわり、アイドリング回転数が上がります。

燃焼（再生）処理が終了するまでに、約15～40分※程度の時間が必要です。

排出ガス浄化装置警告灯が消灯して、アイドリング回転数がもとにもどれば終了です。

※ 外気温により異なります。



知識

■燃焼処理について

●排出ガス浄化スイッチを押したあとは、アクセルペダルを踏まないでください。ペダルを踏むと処理が中断されます。処理が中断されてしまった場合は、すみやかに燃焼処理をやり直してください。

●走行直後など排気管の温度が高いときに行うと、エンジンが冷えているときよりも早く処理が終了します。

■エンジンオイルについて

必ず指定の規格に相当する品質のオイルをご使用ください。（→P. 351）

■排出ガス浄化装置警告灯について

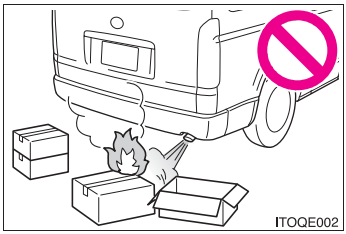
走行距離が短い運転が連続したときや、ひんぱんなアイドリングストップを行った場合などに、通常より早く排出ガス浄化装置警告灯が点滅する場合があります。

⚠ 警告

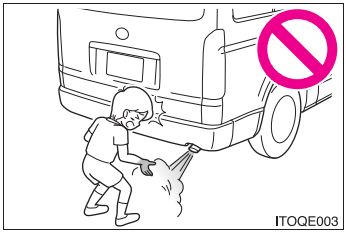
■ススの燃焼（再生）処理中は

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、高温になった排気管・排気ガスによりやけどなどの重大な傷害を受けたり、火災などが発生するおそれがあり危険です。

●排気管周辺に燃えやすいものを置かない



●排気管周辺に人がいないことを確認する



●車庫内など囲まれた場所ではススの燃焼処理を行わない

●燃焼処理中は排気管・排気ガスにふれない

⚠ 注意

■排出ガス浄化装置警告灯が点滅したとき

- 点滅が開始してから、約 50km 走行以内に排出ガス浄化スイッチを押して、燃焼処理をしてください。
- 排出ガス浄化装置警告灯が点滅したまま走行を続けると、エンジン警告灯が点灯し、排出ガス浄化装置警告灯も点灯にかわります※。そのまま放置すると、排出ガス浄化装置やエンジンが損傷するおそれがあるため、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

※ このときは、排出ガス浄化スイッチが機能しなくなります。

■排出ガス浄化装置の故障を防ぐために

次のことをお守りください。お守りいただかないと、排出ガス浄化装置やエンジンなどの損傷につながるおそれがあります。

- 排出ガス浄化装置警告灯が点滅したまま長時間走行しない
- 指定以外の燃料を補給しない
- 指定の規格に相当する品質以外のエンジンオイルを使用しない
- 排気管の改造をしない
- 排気管の腐食や亀裂、異音の発生などがないか定期的に点検する
  異常が発見された場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

冬の前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
  - ・エンジンオイル
  - ・冷却水
  - ・ウォッシャー液
  - ・燃料（ディーゼル車）
- バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（4 輪）やタイヤチェーン（後部タイヤ用）を使用してください。

  タイヤは 4 輪とも同一サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。
  （タイヤについて：→ P. 266）

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を解かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

駐車するとき

パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーを P に入れて駐車し、輪止めをしてください。（→ P. 319）

知識

■タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- 後 2 輪に取り付ける
- タイヤチェーンに付属の取り扱い説明書に従う
- 取り付け後 0.5 ～ 1.0km 走行したら締め直しを行う

■寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなることがあります。その場合には速度を落としてください。

■ディーゼル車の燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結し、燃料配管のつまりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地に着くまでに燃料残量を半分以下にしておき、現地に着いたら寒冷地用燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安※
JIS 2 号軽油	− 5 ℃
JIS 3 号軽油	− 12 ℃
JIS 特 3 号軽油	− 19 ℃

※ 環境や使用状況により異なります。

⚠ 警告

■冬用タイヤ装着時の警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●指定サイズのタイヤを使用する
- ●空気圧を推奨値に調整する
- ●装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- ●冬用タイヤを装着する際は、必ず 4 輪とも装着する

■タイヤチェーン装着時の警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは 30km/h のどちらか低い方をこえる速度で走行しない
- ●路面の凹凸や穴を避ける
- ●急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- ●カーブの入り口手前で十分減速して車のコントロールを失うのを防ぐ

■駐車時の警告

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。
輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ タイヤチェーンの使用について

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。
トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■ フロントウインドウガラスに付いた氷を除去するときは

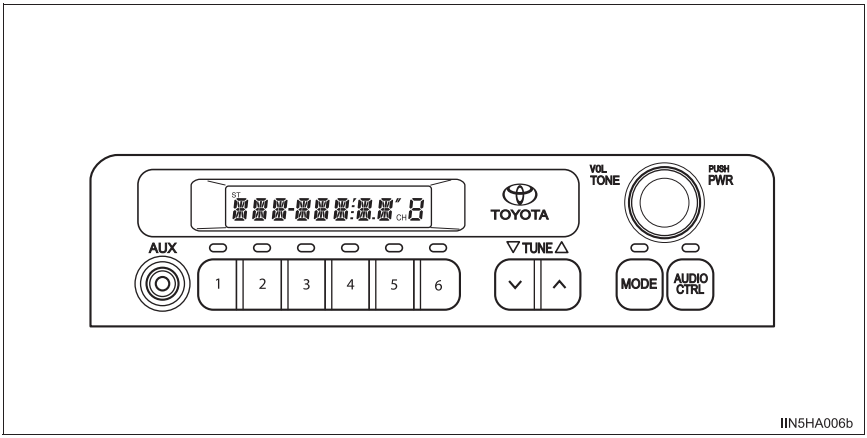
たたいて割らないでください。
ウインドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

オーディオ 5

5-1. オーディオの基本操作
オーディオの種類.....184
ステアリングスイッチの使い方.....186
AUX 端子／ USB 端子について.....188
5-2. オーディオの使い方
快適に聞くために.....190
5-3. ラジオの使い方
ラジオの使い方.....193
アンテナ.....196
5-4. CD、MP3 ／ WMA の聞き方
CD プレーヤーの使い方.....197
5-5. 外部入力接続機器の使い方
iPod の聞き方.....205
USB メモリーの聞き方.....211
AUX 端子（外部入力接続）の使い方.....217

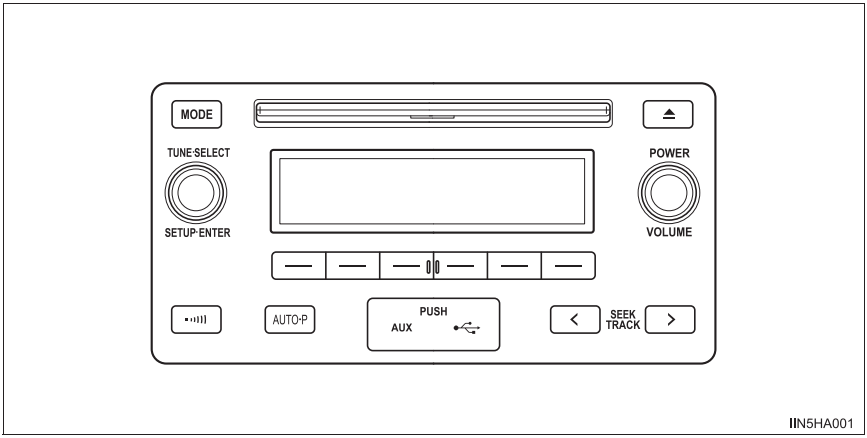
オーディオの種類★

▶ AM ／ FM ラジオ



IIN5HA006b

▶ CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ



IIN5HA001

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■携帯電話の使用

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーから雑音が聞こえることがあります。

注意

■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中にオーディオを長時間使用しないでください。

■オーディオの取り扱いについて

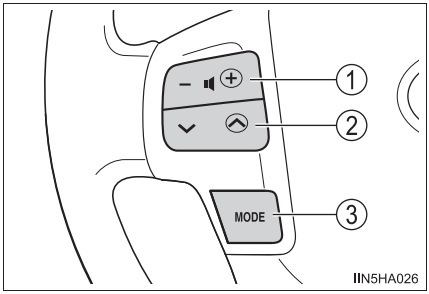
オーディオに飲み物などをこぼさないように注意してください。

ステアリングスイッチの使い方★

次の機能はステアリングスイッチで操作することができます。

メーカーオプションおよび、この車のステアリングスイッチに対応している販売店装着オプションのオーディオ・ナビゲーションシステムで使用することができます。装着されたオーディオ・ナビゲーションシステムにより操作が異なる場合があります。

ステアリングスイッチで操作する



① 音量の調節
- 音量を大きく（+ 側）または、小さくする（−側）：スイッチを押します。
- 音量を連続して調整する：スイッチを押し続けます。

② ラジオ：
- 周波数を検索する：スイッチを押します。
- 自動で受信可能な周波数を選択する：“ピッ”と音がするまでスイッチを押し続けます。

CD ／ iPod ／ USB メモリー：
- ファイル・トラックを選択する：スイッチを押します。
- フォルダ・アルバムを選択する（MP3 ／ WMA ディスク、USB メモリー）：“ピッ”と音がするまでスイッチを押し続けます。

③ 電源を入れる：スイッチを押します。

モードを切りかえる（電源がオンのとき）：スイッチを押すごとに切りかわります。

消音または再生を一時停止する：“ピッ”と音がするまでスイッチを押し続けます。

解除するには、もう一度“ピッ”と音がするまでスイッチを押し続けます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■ **事故を防ぐために**

運転中にステアリングスイッチを操作するときは、十分注意してください。

AUX 端子／ USB 端子について★

ポータブルオーディオプレーヤーなどの機器を接続して、車両のスピーカーで聞くことができます。

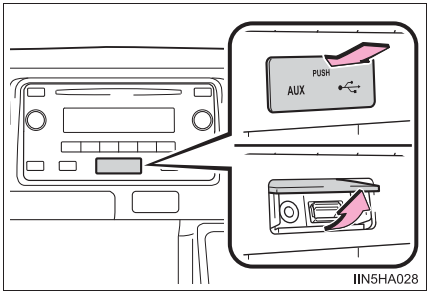
“MODE”ボタンを押して“iPod”／“USB”／“AUX”を選択してください。

ポータブルオーディオプレーヤーなどとの接続

■ iPod（CD プレーヤー& AM／FM ラジオ）

フタを開けて iPod を接続する

iPod の電源が入らない場合は、電源を入れます。



■ USB メモリー（CD プレーヤー& AM／FM ラジオ）

フタを開けて USB メモリーを接続する

接続した機器の電源が入らない場合は、電源を入れます。

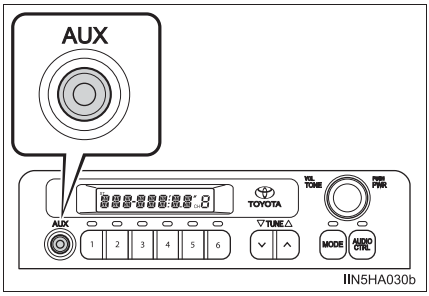
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ポータブルオーディオプレーヤー

▶ AM ／ FM ラジオ

ポータブルオーディオプレーヤーを接続する

接続したポータブルオーディオプレーヤーの電源が入らない場合は、電源を入れます。



▶ CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ

フタを開けてポータブルオーディオプレーヤーを接続する

接続したポータブルオーディオプレーヤーの電源が入らない場合は、電源を入れます。

⚠ 警告

■ 走行中の警告

運転中に接続した機器を操作しないでください。

快適に聞くために

音質や音量バランスの設定を変更することができます。

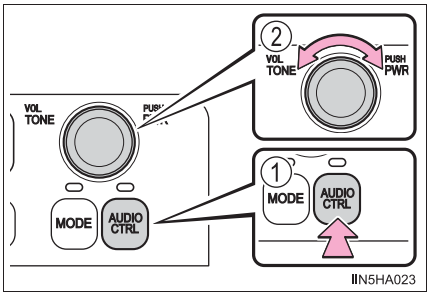
▶ AM ／ FM ラジオ

① 調整したいモードを表示する

② 音質と音量バランスの設定を変更する（→ P. 191）

5 秒間操作を行わないと、画面が戻ります。

最適な音質と音量バランスで聞くために設定を変更することができます。

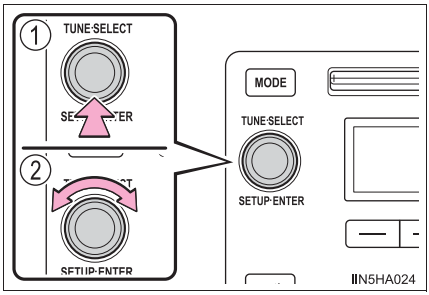


▶ CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ

① “SETUP” メニューを表示する／モードを選択する

② 音質と音量バランスの設定を変更する（→ P. 191）

最適な音質と音量バランスで聞くために設定を変更することができます。



設定を変更するには

■ 調整モードの切りかえ

▶ AM ／ FM ラジオ

“AUDIO CTRL” ボタン押して調整したいモードを選ぶ

“BAS”、“TRE”、“BAL” の設定を変更できます。

▶ CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ

1 “TUNE・SELECT” ダイヤルを押す

2 “TUNE・SELECT” ダイヤルをまわして調整したいモードを選ぶ

“BASS”、“TREBLE”、“FADER”、“BALANCE” の設定を変更できます。

3 “TUNE・SELECT” ダイヤルを押す

■ 音質・音量バランスの調整

▶ AM ／ FM ラジオ

“TONE” ダイヤルをまわして、音質・音量バランスのレベルを調整します。

調整モード	表示	レベル	左にまわす	右にまわす
低音※	BAS	− 5 ～ + 5	弱	強
高音※	TRE	− 5 ～ + 5		
左右音量バランス	BAL	L7 ～ R7	右側小	左側小

※ 音質レベルは、ラジオなどそれぞれで調整できます。

▶ CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ

“TUNE ・ SELECT”ダイヤルをまわして、音質・音量バランスのレベルを調整します。

調整モード	表示	レベル	左にまわす	右にまわす
前後音量バランス	FADER	R7 ～ F7	後側大	前側大
低音※	BASS	− 5 ～ 5	弱	強
高音※	TREBLE	− 5 ～ 5		
左右音量バランス	BALANCE	L7 ～ R7	左側大	右側大

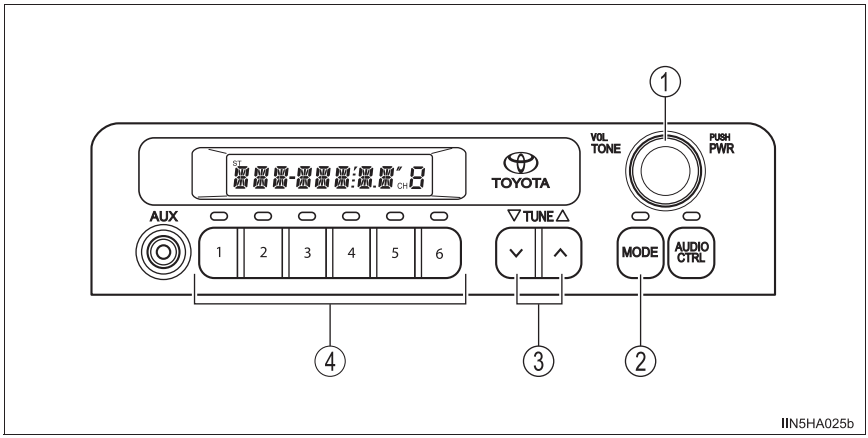
※ 音質レベルは、ラジオまたは CD プレーヤーなど、それぞれで調整できます。

前の画面に戻るには、“TUNE･SELECT”ダイヤルまたは [—] (BACK) を押します。

ラジオの使い方

ラジオを聞くために“AM”または“FM”が表示されるまで“MODE”ボタンを押してください。

▶ AM／FM ラジオ



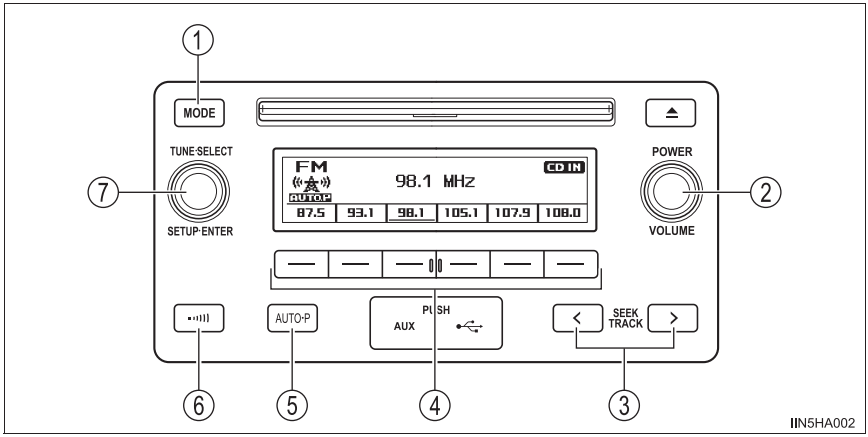
① 電源の ON／OFF：押す
音量調節：まわす

② AM／FM の切りかえ

③ 周波数の調整
自動選局するときは、0.8 秒以上 1.5 秒未満押す
もう一度押すと解除されます。

④ 選局

▶ CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ



① AM ／ FM の切りかえ

② 電源の ON ／ OFF：押す
音量調節：まわす

③ 周波数の検索

④ 選局

⑤ 放送局の自動設定

⑥ 交通情報

⑦ “TUNE・SELECT” ダイヤル
周波数の調整

放送局を記憶させる

■ 手動設定

▶ AM ／ FM ラジオ

1 “TUNE” ボタンの “∧”（高い周波数）、または “V”（低い周波数）を押す、または “TUNE” ボタンの “∧”（高い周波数）か “V”（低い周波数）を “ピッ” と音が鳴るまで押し続けて、お好みの放送局を探す

2 記憶させたい “1” ～ “6” のボタンを” ピッ” と音が鳴るまで押し続ける

▶ CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ

1 “TUNE·SELECT” ダイヤルをまわす、または “SEEK ／ TRACK” ボタンの “>”（高い周波数）、または “<”（低い周波数）を押して、お好みの放送局を探す

2 記憶させたいスイッチ [—] を “ピッ” と音が鳴るまで押し続ける

■ 自動設定（CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ）

“AUTO・P”ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで押し続ける

受信感度のよい周波数が低い順に 6 局まで記憶されます。記憶が終了すると、“ピッピッ”と音が鳴ります。

交通情報を受信する（CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ）

[TRAFFIC] を押す

もう一度押すと解除されます。

知識

■交通情報について（CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ）

- 新車時は、1620kHz にセットしてあります。
- AM ラジオモードのとき、[TRAFFIC] を“ピッ”と音が鳴るまで押し続けると、その周波数を変更することができます。
- [TRAFFIC] を押してラジオ受信しているときは、“TUNE・SELECT”ダイヤル・“SEEK ／ TRACK”ボタン・[—]・“AUTO・P”ボタンを操作しても周波数は切りかわりません。

■バッテリーとの接続が断たれたときは（AM ／ FM ラジオ）

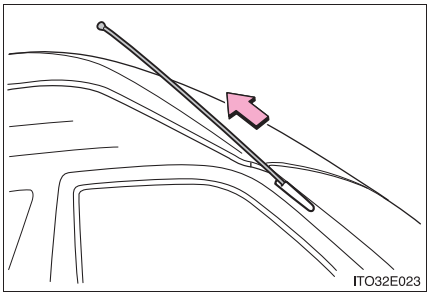
“1”～“6”のボタンに設定されていた放送局が消去されます。

■受信感度について

- 車の向きにより、アンテナの向きもかわるため、電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を保つことが難しい場合があります。
- 放送局を自動設定しているとき、自動選局や自動記憶ができないことがあります。（CD プレーヤー& AM ／ FM ラジオ）
- ピラーアンテナについては、P. 196 を参照してください。

アンテナ

ラジオ使用時は、いっぱいまで引き出してください。



⚠ 注意

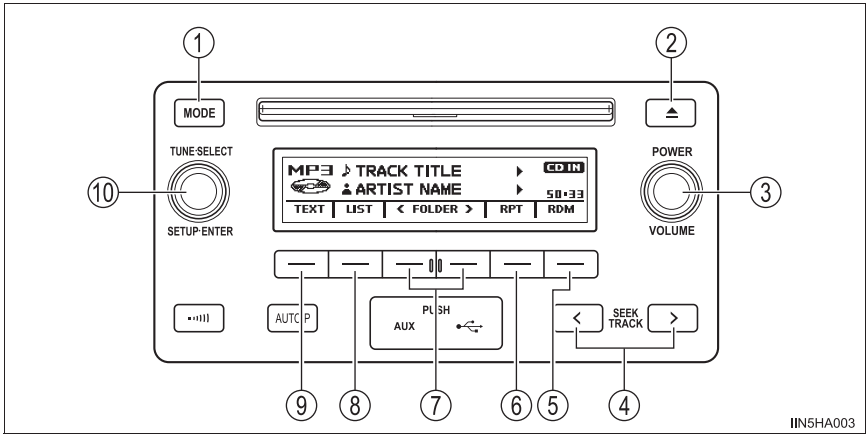
■アンテナの損傷を防ぐために

次のようなときはアンテナを格納してください。

- 車庫の天井などにアンテナがあたるとき
- カーカバーをかけるとき
- 自動洗車機で洗車するとき

CD プレーヤーの使い方★

ディスクを挿入し、ディスクを再生するために“MODE”を押してください。



① モードの切りかえ／再生
② CD の取り出し
③ 電源の ON ／ OFF：押す
音量調節：まわす
④ 選曲／ファイルの選択／早もどし／早送り
⑤ ランダム再生／前の画面にもどる
⑥ リピート再生
⑦ フォルダの選択(MP3 ／ WMA のみ)
⑧ 曲・ファイル・フォルダリストの表示
⑨ 表示の切りかえ
⑩ “TUNE·SELECT”ダイヤル選曲／ファイルの選択

CD または MP3 ／ WMA ディスクを挿入する

CD または MP3 ／ WMA ディスクを 1 枚、挿入する

CD または MP3 ／ WMA ディスクを取り出す

⏏を押して CD または MP3 ／ WMA ディスクを取り出す

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

CD プレーヤーの使い方

■ 曲を選ぶ

“TUNE・SELECT”ダイヤルをまわす、または“SEEK ／ TRACK”ボタンの“>”（次曲）か“<”（前曲）を押して、聞きたい曲の番号を表示させる

■ リストから曲を選ぶ

1 —（LIST）を押して、リストを表示する

2 “TUNE・SELECT”ダイヤルをまわして曲を選び、“TUNE・SELECT”ダイヤルを押して曲を再生する

前の画面に戻るには—（BACK）を押します。

■ 早もどし・早送りする

早もどしするときは“SEEK ／ TRACK”ボタンの“<”を、早送りするときは“SEEK ／ TRACK”ボタンの“>”を押し続ける

■ リピート（RPT）再生する

—（RPT）を押す

もう一度押すまで同じ曲が再生されます。

■ ランダム（RDM）再生する

—（RDM）を押す

もう一度押すまで無作為な順序で曲が再生されます。

■ 表示を切りかえる

—（TEXT）を押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にする

表示に続きがある場合は、▶ が表示されます。
続きを表示するにはボタンを押し続けます。

MP3 ／ WMA ディスクの聞き方

■ フォルダを選ぶ

[—]（< FOLDER）（前フォルダ）または[—]（> FOLDER）（次フォルダ）を押して聞きたいフォルダを選ぶ

■ フォルダのリストからフォルダまたはファイルを選ぶ

1 [—]（LIST）を押して、リストを表示する

2 “TUNE・SELECT”ダイヤルをまわしてフォルダまたはファイルを選び、“TUNE・SELECT”ダイヤルを押してフォルダまたはファイルを決定する

前の画面に戻るには[—]（BACK）を押します。

■ 最初のフォルダにもどる

[—]（< FOLDER）を“ピッ”と音が鳴るまで押し続ける

■ ファイルを選ぶ

“TUNE・SELECT”ダイヤルをまわす、または“SEEK ／ TRACK”ボタンの“<”（前曲）または“>”（次曲）を押して、聞きたいファイルを探す

■ 早もどし・早送りする

早もどしするときは“SEEK ／ TRACK”ボタンの“<”を、早送りするときは“SEEK ／ TRACK”ボタンの“>”を押し続ける

■ ランダム（RDM）再生する

[—]（RDM）を押すごとに、次のようにモードが切りかわる

フォルダランダム → ディスクランダム → 解除

■ リピート（RPT）再生する

[—]（RPT）を押すごとに、次のようにモードが切りかわる

ファイルリピート → フォルダリピート※ → 解除

※：ランダム（RDM）再生時以外

■ 表示を切りかえる

—（TEXT）を押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にする

表示に続きがある場合は、▶ が表示されます。
続きを表示するにはボタンを押し続けます。

知識

■表示について

記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。

■エラー表示

エラーメッセージが表示されたときは、次の表を参照して処置をしてください。
処置をしても直らないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

表示	エラーの内容	処置
“CD CHECK”	・ディスクが汚れている ・裏表逆になっている	・ディスクの汚れをとる ・ディスクを正しい向きで入れる
“ERROR”	プレーヤー内部に異常がある	ディスクを取り出す
“WAIT”	プレーヤーの温度異常を検出すると、自動的にプレーヤーの機能が停止します。	しばらくしてから“MODE”ボタンを押してください。 再生されないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
“NO SUPPORT”	ディスク内に MP3 ／ WMA ファイルが収録されていない	ディスクを取り出す

■再生可能な CD

次のマークの付いたディスクが再生できます。
記録状態やディスクの特性・傷・汚れ・劣化により再生できないことがあります。

コピープロテクト機能付 CD などは使用できません。

■CD プレーヤー保護機能

プレーヤー内部を保護するため、使用中に異常が生じたときは自動的に再生を停止します。

■CDをプレーヤー内部に挿入したまま、またはプレーヤーから飛び出した状態のままで長時間放置すると

CD が傷付き使用できなくなるおそれがあります。

■レンズクリーナー

レンズクリーナーを使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障するおそれがあります。

■MP3 ／ WMA ファイルについて

MP3（MPEG Audio LAYER3）は、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。
WMA(Windows Media Audio)は、Microsoft Corporation の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。
使用できる MP3 ／ WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。

●再生可能な MP3 ファイルの規格について

・対応規格
MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3）
・対応サンプリング周波数
MPEG1 LAYER3：32、44.1、48（kHz）
MPEG2 LSF LAYER3：16、22.05、24（kHz）
・対応ビットレート
MPEG1 LAYER3：32 − 320（kbps）
MPEG2 LSF LAYER3：8 − 160（kbps）
※ VBR に対応しています。
・対応チャンネルモード：ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

●再生可能な WMA ファイルの規格について

・対応規格
　WMA Ver.7、8、9
・対応サンプリング周波数
　32、44.1、48（kHz）
・対応ビットレート
　Ver.7、8：CBR48 − 192（kbps）
　Ver.9：CBR48 − 320（kbps）

※ 2ch 再生のみ対応しています。

●使用できるメディアについて

MP3 ／ WMA ファイルの再生に使用できるメディアは CD-R および CD-RW です。

CD-R、CD-RW の状態によっては再生できないことがあります。また、ディスクに傷や指紋を付けた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

●使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは次のとおりです。

・ディスクフォーマット：CD-ROM Mode1 および Mode2、CD-ROM　XA、Mode2 Form1 および Form2
・ファイルフォーマット：ISO9660 レベル 1、レベル 2（Romeo, Joliet）

上記フォーマット以外で書き込まれた MP3 ／ WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

・最大ディレクトリ階層：8 階層
・最大フォルダ名／ファイル名文字数：半角 32 文字（全角文字で記録された情報をこのオーディオで表示することはできません）
・最大フォルダ数：192（ルート含む）
・ディスク内最大ファイル数：255

●ファイル名について

MP3 ／ WMA と認識し再生するファイルは、MP3 ／ WMA の拡張子 “.mp3” または “.wma” が付いたものだけです。

●マルチセッションについて
マルチセッションに対応しており、MP3 ／ WMA ファイルを追加したディスクの再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

●ID3 タグ／ WMA タグについて
MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを記録することができます。
ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3 のタグに対応しています。（文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します）
WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を記録することができます。

●MP3 ／ WMA の再生について
MP3 ／ WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3 ／ WMA ファイルを再生します。
ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3 ／ WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
音楽データと MP3、または WMA 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみ再生できます。

●拡張子について
MP3 ／ WMA 以外のファイルに“.mp3”または“.wma”の拡張子が付いていると、MP3 ／ WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損することがあります。

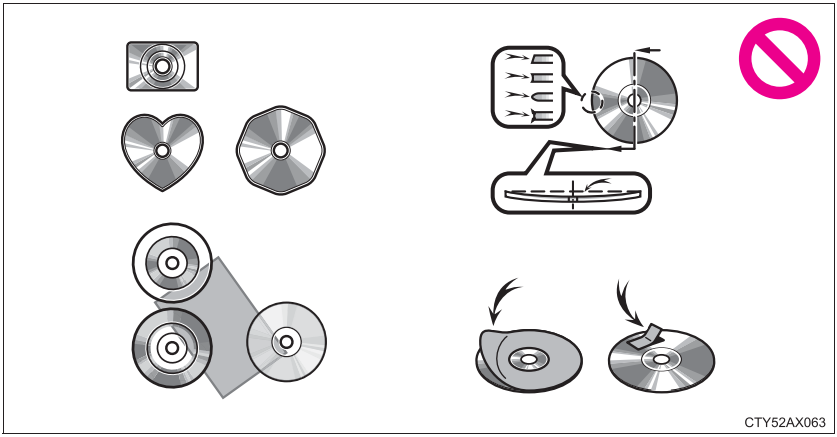
●再生について

・安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1 kHz のサンプリング周波数を推奨します。
・CD-R、CD-RW はディスクの特性により再生できないことがあります。
・MP3／WMA は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質が劣化したり再生開始時にノイズが発生したりするおそれがあります。また、再生できないことがあります。
・ディスクに MP3 ／ WMA 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できないことがあります。
・Microsoft、Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標および商標です。

⚠ 注意

■使用できない CD・アダプター

次のような CD を使用しないでください。
また、8cmCD アダプター・DualDisc・プリンタブルディスク（ラベル面印刷に対応したディスク）も使用しないでください。
使用すると、プレーヤーが故障したり、CD の出し入れができなくなるおそれがあります。



- 直径 12cm の円形以外の CD
- 低品質または変形している CD
- 記録部分が透明または半透明の CD
- セロハンテープ・シール・CD-R 用ラベルなどを貼った CD や、はがしたあとのある CD

■CD プレーヤーの取り扱いについて

次のことをお守りいただかないと、CD が聞けなくなったり、CD プレーヤーが正常に働かなくなるおそれがあります。

- CD 挿入口に CD 以外のものを入れない
- CD プレーヤーにオイルを塗ったりしない
- CD は直射日光を避けて保管する
- CD プレーヤーを分解しない

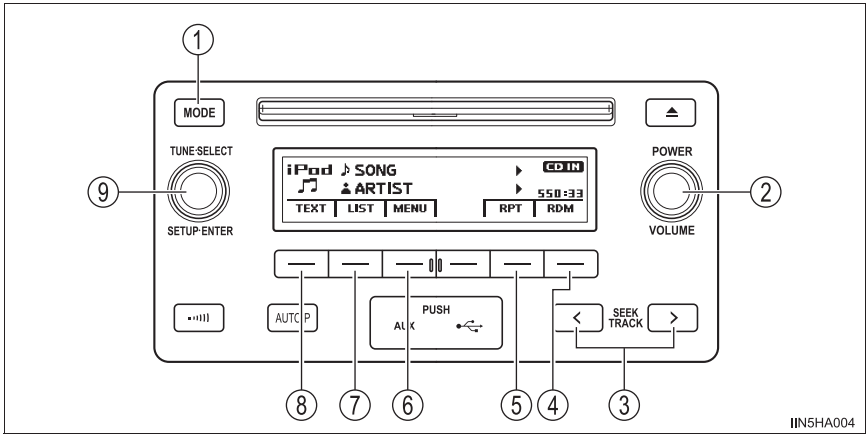
iPod の聞き方★

USB 端子に接続した iPod の音楽ファイルを再生することができます。
“MODE”ボタンを“iPod”が表示されるまで押してください。

iPod を接続する

→P. 188

基本操作



① モードを切りかえる／再生
② 電源の ON ／ OFF：押す
音量調節：まわす
③ 選曲／早もどし／早送り
④ ランダム再生／前の画面にもどる
⑤ リピート再生
⑥ 選曲リストを表示する／再生
⑦ 再生中のリストを表示する
⑧ 表示を切りかえる
⑨ “TUNE・SELECT”ダイヤル
選曲リストを選択する／選曲

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

選曲リストを選ぶ

1 [—] (MENU) を押して選曲リストを表示する

2 “TUNE・SELECT” ダイヤルを右にまわして、選曲リストを変更する

選曲リストは次のように変更されます。

“Playlists” → “Artists” → “Albums” → “Songs” → “Podcasts” → “Genres” → “Composers” → “Audiobooks”

3 “TUNE・SELECT” ダイヤルを押して聞きたい曲を選ぶ

■ 選曲リストの構造

選曲リスト	第 1 選択	第 2 選択	第 3 選択	第 4 選択
“Playlists”	プレイリストを選ぶ	曲を選ぶ	–	–
“Artists”	アーティストを選ぶ	アルバムを選ぶ	曲を選ぶ	–
“Albums”	アルバムを選ぶ	曲を選ぶ	–	–
“Songs”	曲を選ぶ	–	–	–
“Podcasts”	Podcasts を選ぶ	エピソードを選ぶ	–	–
“Genres”	ジャンルを選ぶ	アーティストを選ぶ	アルバムを選ぶ	曲を選ぶ
“Composers”	作曲者を選ぶ	アルバムを選ぶ	曲を選ぶ	–
“Audiobooks”	オーディオブックを選ぶ	チャプターを選ぶ	–	–

■ リストを選ぶ

1 “TUNE・SELECT” ダイヤルをまわして、選曲リストの第 1 選択を選ぶ

2 “TUNE・SELECT” ダイヤルを押して、聞きたいリストを決定する

選択項目が表示されます。

3 聞きたい曲などを選ぶために同じ手順を繰り返す

1 つ前のリストに戻るには [—] (BACK) を押します。

聞きたい曲などを再生するには [—] (PLAY) を押します。

曲を選ぶ

“TUNE・SELECT”ダイヤルをまわす、または“SEEK／TRACK”ボタンの“<”（前曲）か“>”（次曲）を押して、聞きたい曲を探す

再生中のリストから曲を選ぶ

1 [—]（LIST）を押して、再生中のリストを表示する

2 “TUNE・SELECT”ダイヤルをまわして、曲を選ぶ

3 “TUNE・SELECT”ダイヤルを押して、曲を再生する

一つ前の画面に戻るには[—]（BACK）を押します。

早もどし・早送りする

早もどしするときは“SEEK／TRACK”ボタンの“<”を、早送りするときは“SEEK／TRACK”ボタンの“>”を押し続ける

リピート（RPT）再生する

[—]（RPT）を押す

もう一度押すまで同じ曲が再生されます。

ランダム（RDM）再生する

[—]（RDM）を押すごとに、次のようにモードが切りかわる

トラックランダム → アルバムランダム → 解除

表示を切りかえる

[—]（TEXT）を押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にする

表示に続きがある場合は、▶ が表示されます。
続きを表示するにはボタンを押し続けます。

知識

■iPod について

- 「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、iPod/iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって設定された電子アクセサリであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

■iPod の機能について

- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 接続している iPod によって、特定の機能が使用できない場合があります。接続を解除して、再び接続するといくつかの誤作動が解消することがあります。
- iPod を接続している間、iPod 自体で操作することができません。車載機のオーディオから操作してください。

■iPod に問題が起きたとき

iPod を使用しているときに問題が起きた場合は、接続を解除して再び接続をしてから iPod をリセットしてください。
リセットの方法は、iPod の説明書を参照してください。

■表示について

→ P. 200

■エラー表示

エラーメッセージが表示されたときは、次の表を参照して処置をしてください。
処置をしても直らないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

表示	エラーの内容
“ERROR”	iPod または接続に問題がある
“NO SONGS”	iPod に音楽データがない
“NO PLAYLIST”	選曲リストに音楽データがない
“UPDATE YOUR iPod”	iPodのソフトウェアバージョンが対応していません。 iPodのソフトウェアバージョンを最新版にアップグレードしてください。

■使用できるモデル

本機は下記の iPod®、iPod nano®、iPod classic®、iPod touch®、iPhone® を使用することができます。

●Made for

・iPod touch（第 5 世代）
・iPod touch（第 4 世代）
・iPod touch（第 3 世代）
・iPod touch（第 2 世代）
・iPod touch（第 1 世代）
・iPod classic
・iPod with video
・iPod nano（第 7 世代）
・iPod nano（第 6 世代）
・iPod nano（第 5 世代）
・iPod nano（第 4 世代）
・iPod nano（第 3 世代）
・iPod nano（第 2 世代）
・iPod nano（第 1 世代）
・iPhone 5
・iPhone 4S
・iPhone 4
・iPhone 3GS
・iPhone 3G
・iPhone

使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大リスト数：9999
- 最大曲数：65535
- リスト内最大曲数：65535

⚠ 警告

■走行中の警告

運転中に iPod を操作しないでください。

⚠ 注意

■iPod や USB 端子の故障を防ぐために

- 炎天下など、車室内が高温になるため、iPod を車室内に放置しないでください。
- iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。
- USB 端子に異物などを入れないでください。

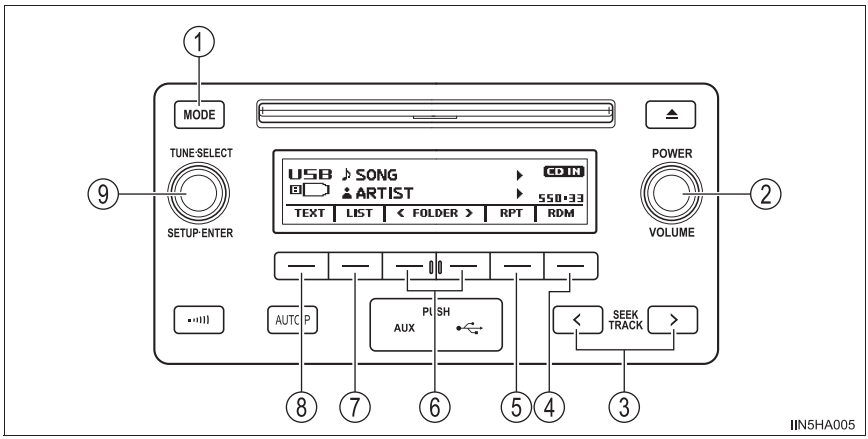
USB メモリーの聞き方★

USB 端子に接続した USB メモリーを再生することができます。
“MODE”ボタンを“USB”が表示されるまで押してください。

USB メモリーを接続する

→ P. 188

基本操作



① モードを切りかえる／再生
② 電源の ON ／ OFF：押す
音量調節：まわす
③ ファイルの選択／早もどし／早送り
④ ランダム再生／前の画面にもどる
⑤ リピート再生
⑥ フォルダの選択
⑦ フォルダリストを表示する
⑧ 表示の切りかえ
⑨ “TUNE・SELECT”ダイヤル
ファイルの選択

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

フォルダを選ぶ

■ フォルダを選ぶ

[—]（< FOLDER）（前フォルダ）または[—]（> FOLDER）（次フォルダ）を押して聞きたいフォルダを選ぶ

■ フォルダリストからフォルダまたはファイルを選ぶ

1 [—]（LIST）を押して、フォルダリストを表示する

2 “TUNE·SELECT”ダイヤルをまわして、または“TUNE·SELECT”ダイヤルを押して聞きたいフォルダまたはファイルを選ぶ

前の画面に戻るには[—]（BACK）を押します。

■ 最初のフォルダにもどる

[—]（< FOLDER）を“ピッ”と音が鳴るまで押す

ファイルを選ぶ

“TUNE · SELECT”ダイヤルをまわす、または“SEEK ／ TRACK”ボタンの“<”（前ファイル）か“>”（次ファイル）を押して、聞きたいファイルを選ぶ

早もどし・早送りする

早もどしするときは“SEEK ／ TRACK”ボタンの“<”を、早送りするときは“SEEK ／ TRACK”ボタンの“>”を押し続ける

ランダム（RDM）再生する

[—]（RDM）を押すごとに、次のようにモードが切りかわる

フォルダランダム → ディスクランダム → 解除

リピート（RPT）再生する

[—]（RDM）を押すごとに、次のようにモードが切りかわる

ファイルリピート → フォルダリピート※ → 解除

※：ランダム（RDM）再生時以外

表示を切りかえる

“TEXT” ボタンを押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にする

表示に続きがある場合は、▶ が表示されます。
続きを表示するにはボタンを押し続けます。

知識

■USB メモリーの機能について

●接続している USB メモリーによって、USB メモリー自体を使用できなかったり、特定の機能が使用できない場合があります。接続を解除して、再び接続するといくつかの誤作動が解消することがあります。

●接続を解除して再び接続しても操作できない場合は、メモリーを初期化してください。

■表示について

→ P. 200

■エラー表示

エラーメッセージが表示されたときは、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても直らないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

表示	エラーの内容
“ERROR”	USB メモリーまたは接続に問題がある
“NO MUSIC”	MP3 ／ WMA ファイルが USB メモリーに入っていない

■USB メモリーについて

●再生可能な機器の規格について

USB メモリーで再生できるファイルの規格は MP3 ／ WMA です。

●使用できる機器のフォーマットについて

使用できる機器のフォーマットは次のとおりです。

・USB コミュニケーションフォーマット：USB2.0 FS（12mbps）
・ファイルフォーマット：FAT12/16/32（Windows）
・通信クラス：Mass storage class

上記フォーマット以外で書き込まれた MP3 ／ WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

・最大ディレクトリ階層：8 階層
・最大フォルダ数：999（ルート含む）
・最大ファイル数：9999
・フォルダ内最大ファイル数：255

●MP3 ／ WMA ファイルについて

MP3（MPEG Audio LAYER3）は、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media Audio）は、Microsoft Corporation の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3 ／ WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。

●再生可能な MP3 ファイルの規格について

・対応規格
MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3）
・対応サンプリング周波数
MPEG1 LAYER3：32、44.1、48（kHz）
MPEG2 LSF LAYER3：16、22.05、24（kHz）
・対応ビットレート
MPEG1 LAYER3：32 − 320（kbps）
MPEG2 LSF LAYER3：8 − 160（kbps）
※ VBR に対応しています。
・対応チャンネルモード：ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

●再生可能な WMA ファイルの規格について

・対応規格
WMA Ver.7、8、9
・対応サンプリング周波数
32、44.1、48（kHz）
・対応ビットレート
Ver.7、8：CBR48 − 192（kbps）
Ver.9：CBR48 − 320（kbps）
※ 2ch 再生のみ対応しています。

●ファイル名について

MP3 ／ WMA と認識し再生するファイルは、MP3 ／ WMA の拡張子“.mp3”または“.wma”が付いたものだけです。

●ID3 タグ／ WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを記録することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3 のタグに対応しています。（文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します）

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を記録することができます。

●MP3 ／ WMA の再生について

・ MP3 ／ WMA ファイルが収録されている機器を接続すると、最初に USB メモリー機器内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3 ／ WMA ファイルを再生します。
ファイルのチェックを早く終わらせるために、MP3 ／ WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
・ USB 機器を接続すると USB メモリーモードに切り替わり、最初のフォルダ内の最初のファイルを再生します。同じ USB 機器の接続を解除して再び接続すると（収録されている内容に変更がないとき）、USB メモリーは最後に再生したところから再生されます。

●拡張子について

MP3 ／ WMA 以外のファイルに“.mp3”または“.wma”の拡張子が付いていると、再生されずにスキップします。

●再生について

・ 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
・ MP3／WMA は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質が劣化したり再生開始時にノイズが発生したりするおそれがあります。また、再生できないことがあります。
・ Microsoft、Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標および商標です。

⚠ 警告

■走行中の警告

運転中に USB メモリーを操作しないでください。

⚠ 注意

■USB メモリーや USB 端子の故障を防ぐために

- 炎天下など、車室内が高温になるため、USB メモリーを車室内に放置しないでください。
- USB メモリーが接続されているときに、USB メモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。
- USB 端子に異物などを入れないでください。

AUX 端子（外部入力接続）の使い方★

ポータブルオーディオプレーヤーを車両のスピーカーから聞くことができます。
“MODE”ボタンを“AUX”が表示されるまで押してください。

ポータブルオーディオプレーヤーなどとの接続

→ P. 189

知識

■ポータブルオーディオの操作について

音量の調整をするときは、車両のオーディオで調整してください。
その他の操作は、ポータブルオーディオで行ってください。

■ポータブルオーディオの電源について

車両のアクセサリーコンセント★に接続して使用すると、再生時にノイズが発生することがあります。ポータブルオーディオに付属のバッテリーなどを使用してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

室内装備・機能 6

6-1. エアコン・デフォッガーの使い方

マニュアルエアコン.....220
オートエアコン.....225
リヤクーラー.....231
リヤヒーター.....233
パワーヒーター.....234

6-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧.....236
・フロントルームランプ.....237
・フロントルームランプ／パーソナルランプ.....237
・リヤルームランプ.....238

6-3. 収納装備の使い方

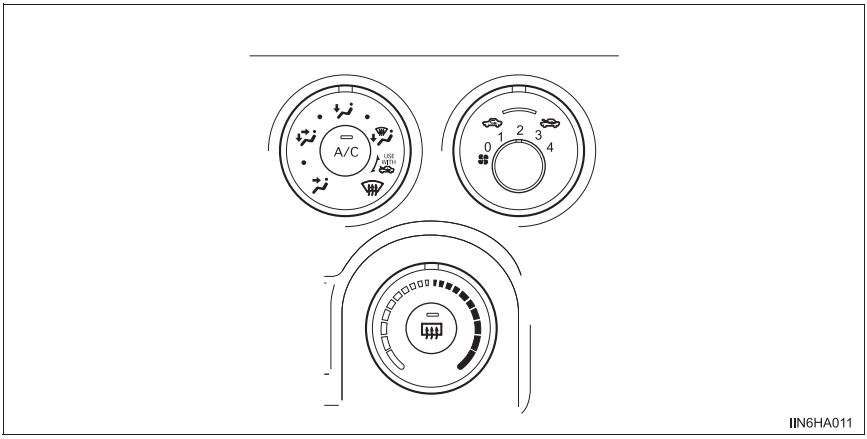
収納装備一覧.....240
・グローブボックス.....242
・センターコンソールボックス.....242
・カップホルダー／ボトルホルダー.....244
・カードホルダー.....246
・オープントレイ.....247

6-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備.....248
・サンバイザー.....248
・灰皿.....248
・シガレットライター.....249
・アクセサリーコンセント.....250

マニュアルエアコン★

エアコン操作について



■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは を右に、下げるときは左にまわす

エアコン（冷房・除湿機能）の ON・OFF を切りかえるには A/C スイッチを押します。

■ 風量を切りかえる

風量を増やすときは を右に、減らすときは左にまわす

送風を止めるときは、ダイヤルを 0 の位置にします。

■ 吹き出し口を切りかえる

をまわす

ダイヤルの位置を各吹き出し口のあいだにすると、吹き出し口を細かく選択できます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

その他の機能

■ 内気循環／外気導入を切りかえるには

をまわす

内気循環にするには、ダイヤルの位置を にします。

外気導入にするには、ダイヤルの位置を にします。

■ フロントガラスの曇りを取るには

を の位置に合わせる

内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。

A/C スイッチを押してエアコン（冷房・除湿機能）を ON にすると、曇りが早く取れます。

■ リヤウインドウデフォッガー & ミラーヒーター★

リヤウインドウの曇りを取るときや、アウターミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。

を押す

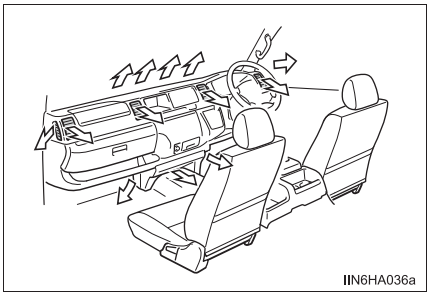
リヤウインドウデフォッガーとミラーヒーターは、しばらくすると自動的に OFF になります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

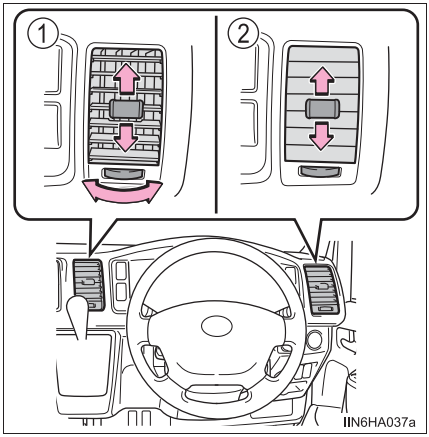
吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変化します。



■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

① 風向きの調整

② 吹き出し口の開閉



知識

■ガラスの曇りについて

●車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、A/C スイッチを ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。

●A/C スイッチを ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。

●内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■内気循環／外気導入について

トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。

■外気温度が 0℃近くまで下がったとき

A/C スイッチを押しても除湿機能が働かない場合があります。

■換気とエアコンの臭いについて

●車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。

●エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。

●エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

■PTC ヒーター★

エンジン冷間時の暖房効果を高めます。次の条件をすべて満たすと、自動的に作動します。

●ファンが作動しているとき

●最大暖房時

●エンジン冷間時

●外気温が低いとき

■エアコンフィルターについて

→ P. 271

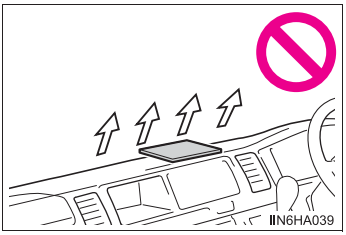
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

●外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、 を の位置に合わせないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

●フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口を遮るようなものを置かないでください。送風が遮られ、曇りが取れにくくなることがあります。



■リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒーター作動中の警告（ミラーヒーター装着車）

アウターミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

⚠ 注意

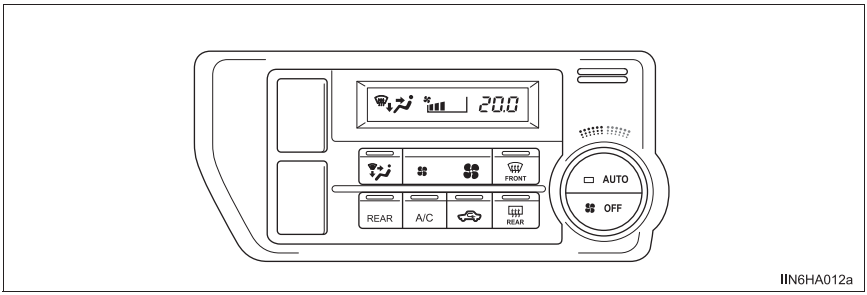
■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

オートエアコン★

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

エアコン操作について



IIN6HA012a

■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは AUTO OFF を右に、下げるときは左にまわす

エアコン（冷房・除湿機能）の ON・OFF を切りかえるには A/C スイッチを押します。

■ 風量を切りかえる

風量を増やすときは の を、減らすときは を押す

送風を止めるときは、OFF スイッチを押します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 吹き出し口を切りかえる

を押す

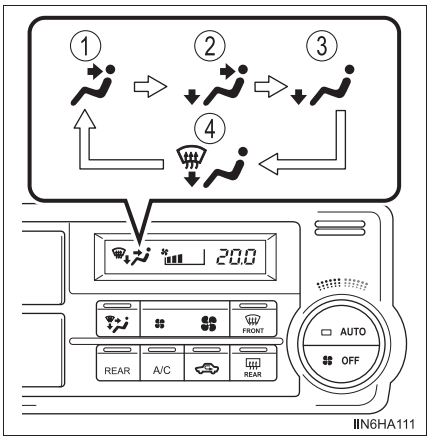
押すたびに吹き出し口が切りかわります。

① 上半身に送風

② 上半身と足元に送風

③ 足元に送風

④ 足元に送風・ガラスの曇りを取る



オート設定で使用する

1 AUTO スイッチを押す

2 温度を設定する

■ オート設定時の作動表示灯について

風量や吹き出し口を切りかえると、AUTO スイッチの作動表示灯が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

その他の機能

■ 内気循環／外気導入を切りかえるには

を押す

スイッチを押すたびに内気循環／外気導入が切りかわります。
内気循環を選択しているときは、表示灯が点灯します。

■ フロントガラスの曇りを取るには

を押す

除湿機能が作動します。内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。（自動的に外気導入に切りかわることがあります。）

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。曇りが取れたら再度 を押すと前のモードにもどります。

■ リヤウインドウデフォッガー & ミラーヒーター★

リヤウインドウの曇りを取るときや、アウターミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。

を押す

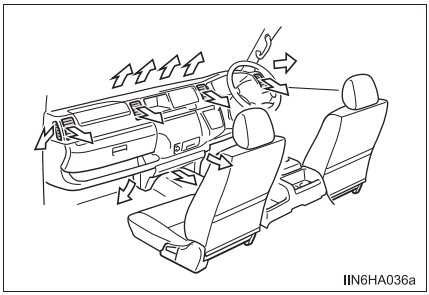
リヤウインドウデフォッガーとミラーヒーターは、しばらくすると自動的にOFF になります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

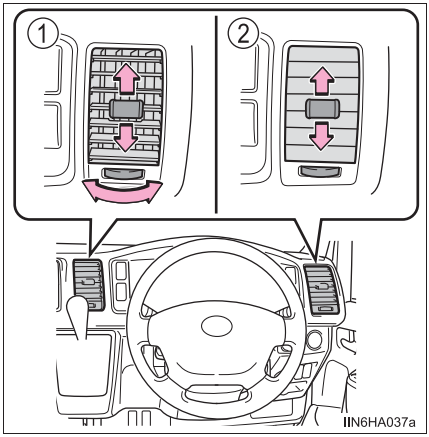
吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変化します。



■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

① 風向きの調整

② 吹き出し口の開閉



知識

■オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、AUTO スイッチを押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

■ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、A/C スイッチを ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
- A/C スイッチを ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■内気循環／外気導入について

- トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。
- 設定温度や室内温度などにより、自動的に切りかわる場合があります。

■外気温度が 0 ℃近くまで下がったとき

A/C スイッチを押しても除湿機能が働かない場合があります。

■換気とエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■PTC ヒーター★

エンジン冷間時の暖房効果を高めます。次の条件をすべて満たすと、自動的に作動します。

- ファンが作動しているとき
- 最大暖房時
- エンジン冷間時
- 外気温が低いとき

■エアコンフィルターについて

→ P. 271

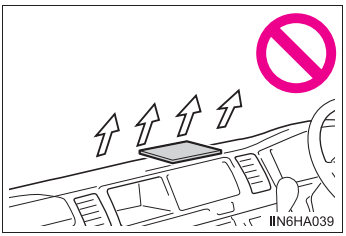
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

●外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、FRONTを押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

●フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口を遮るようなものを置かないでください。送風が遮られ、曇りが取れにくくなることがあります。



■リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒーター作動中の警告（ミラーヒーター装着車）

アウターミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

⚠ 注意

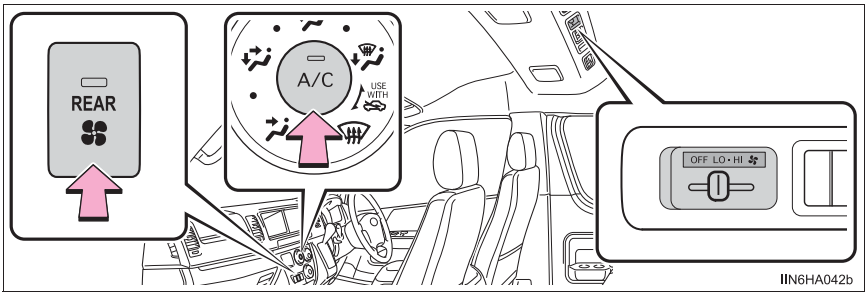
■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

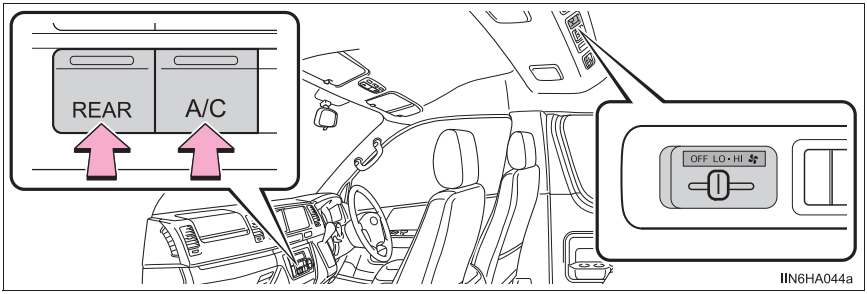
リヤクーラー

後部座席付近を冷房することができます。

▶ マニュアルエアコン装着車



▶ オートエアコン装着車



リヤクーラーを使用する前に

フロントエアコンの A/C スイッチが ON になっていることを確認し、リヤクーラーメインスイッチを ON にしてください。

A/C スイッチが OFF のときは、リヤクーラーの冷房・除湿機能が作動せず、送風のみとなります。

リヤクーラーを使用するには

ファン調整レバーを右（増）か左（減）に操作する

送風を止めるときは、レバーを OFF の位置にします。

風向きの調整と吹き出し口の開閉

▶ 操作部

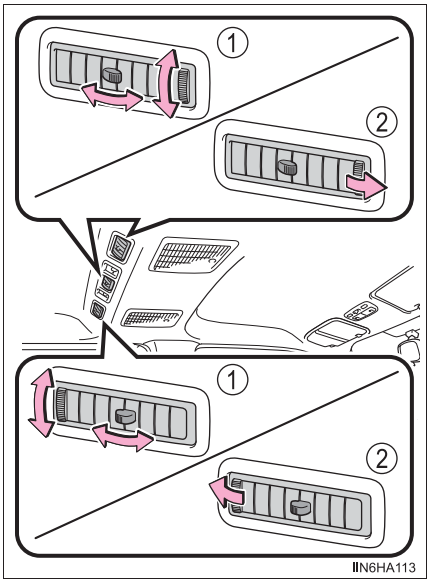
① 風向きの調整

ノブを上下左右に動かして、風向きを調整します。

② 吹き出し口の開閉

センター：閉めるときは、ノブをいっぱいまで右に動かします。

サイド：閉めるときは、ノブをいっぱいまで車両外側に動かします。



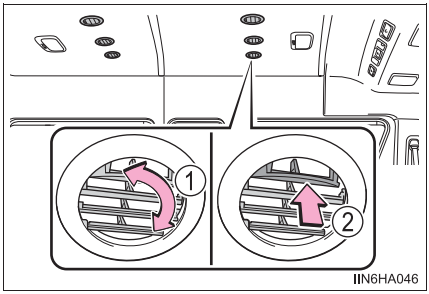
▶ 天井部

① 風向きの調整

吹き出し口を動かして、風向きを調整します。

② 吹き出し口の開閉

閉めるときは、吹き出し口のフィンを閉じる方向に動かします。
開けるときは、矢印の位置を押します。



⚠ 注意

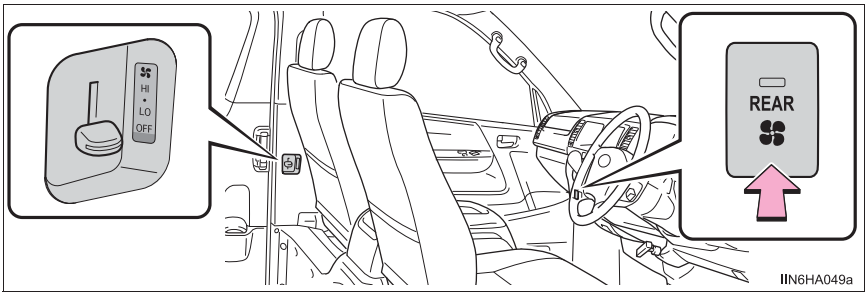
■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、必要以上にリヤクーラーを使用しないでください。

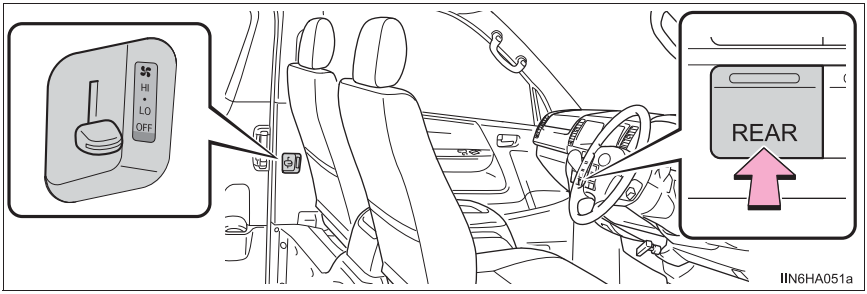
リヤヒーター

車内の後方部分を暖房することができます。

▶ マニュアルエアコン装着車



▶ オートエアコン装着車



リヤヒーターを使用する前に

リヤヒーターメインスイッチを ON にしてください。

リヤヒーターを使用するには

ファン調整レバーを上（増）か下（減）に操作する

送風を止めるときは、レバーを OFF の位置にします。

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、必要以上にリヤヒーターを使用しないでください。

パワーヒーター★

車両の暖房機能を補助する装置です。

パワーヒーターの機能について

次の 2 つの機能により、寒冷時の暖房効果を高めます。

- アイドルアップ機能

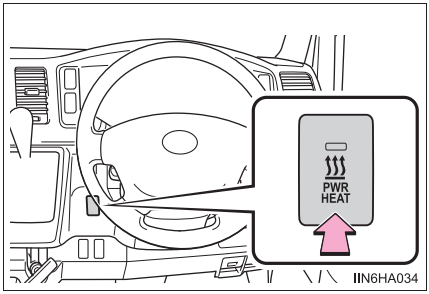
  エンジンが冷えているときにアイドル回転数が上がり、暖房効果を高めます

- ホットガスヒーター機能

  エアコン装置を利用する補助ヒーターです。作動条件が満たされているとき、自動的に働きます。

パワーヒーターを使用するには

パワーヒータースイッチを押す



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■ホットガスヒーター機能の作動条件

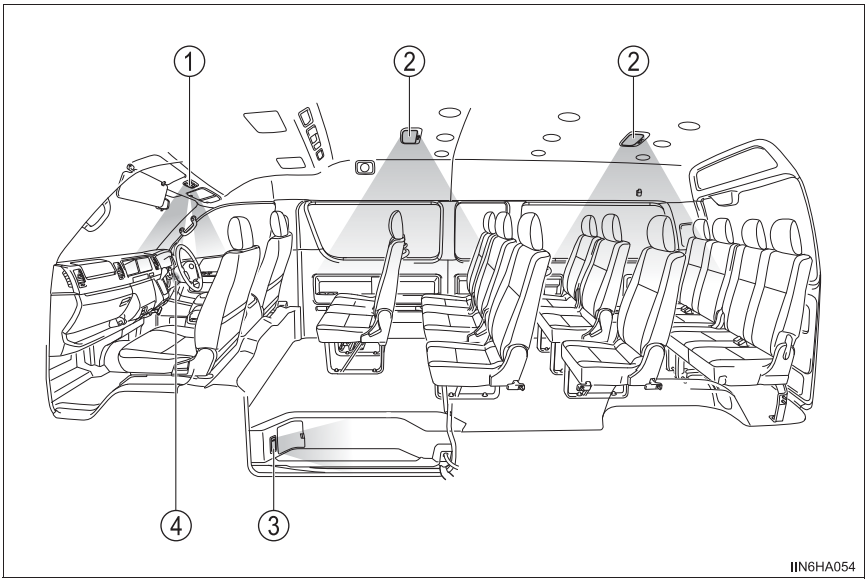
パワーヒータースイッチが ON で、次の条件をすべて満たすと、自動で作動します。

- ファンが作動しているとき
- エンジンが冷えているとき
- 外気温が低いとき（約 3 ～ 5 ℃以下）

■ホットガスヒーター機能の制限事項

- エアコン（冷房・除湿機能）が ON だと、ホットガスヒーター機能が作動しにくくなります。
- − 30 ℃を下まわるような極寒時には作動しません。

室内灯一覧



① フロントルームランプ★／パーソナルランプ★（→ P. 237）

② リヤルームランプ★※（→ P. 238）

③ スライドドアステップランプ（→ P. 78）

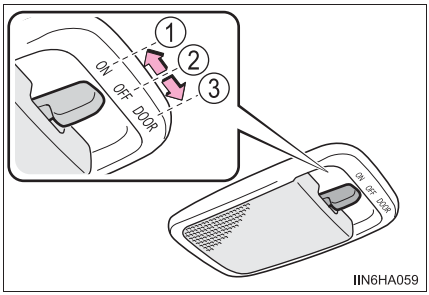
④ エンジンスイッチ照明

※：リヤルームランプの数は車種により異なります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

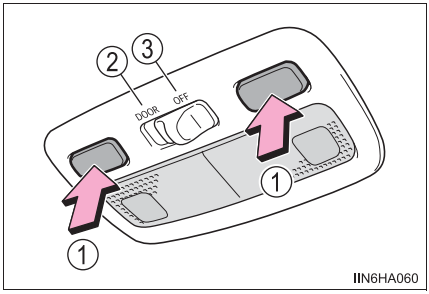
フロントルームランプ★

① ランプを点灯する
② ランプを消灯する
③ ドアの開閉作動に連動して、ランプの点灯・消灯を切りかえる（ドアポジション）



フロントルームランプ／パーソナルランプ★

① ランプを点灯・消灯する
② ドアの開閉作動に連動して、ランプの点灯・消灯を切りかえる（ドアポジション）
③ ランプを消灯する

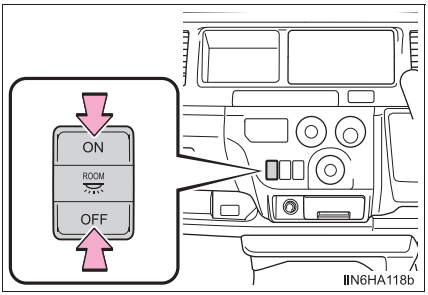


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

リヤルームランプ

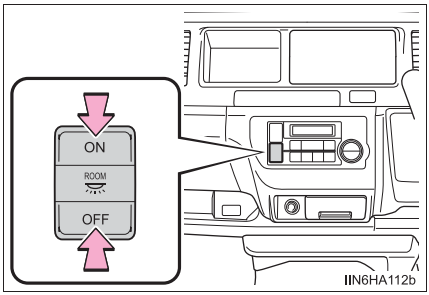
■ メインスイッチ

▶ マニュアルエアコン装着車



ON ／ OFF

▶ オートエアコン装着車



ON ／ OFF

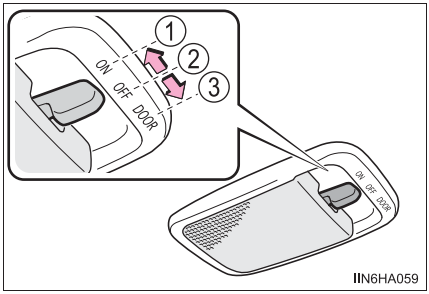
■ 照明部

▶ 標準タイプ

① メインスイッチの ON ／ OFF に連動して、ランプの点灯・消灯を切りかえる

② ランプを消灯する

③ メインスイッチが ON のとき、スライドドアまたはバックドアの開閉作動に連動して、ランプの点灯・消灯を切りかえる

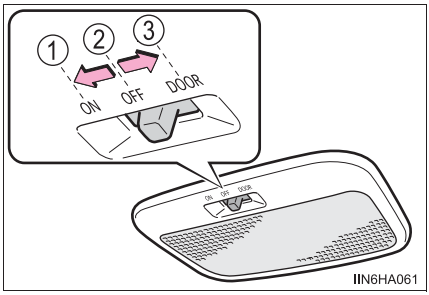


▶ 大型タイプ

① メインスイッチの ON ／ OFF に連動して、ランプの点灯・消灯を切りかえる

② ランプを消灯する

③ スライドドアまたはバックドアの開閉作動に連動して、ランプの点灯・消灯を切りかえる



知識

●イルミネーテッドエントリーシステム：

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・エンジンスイッチの位置により、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

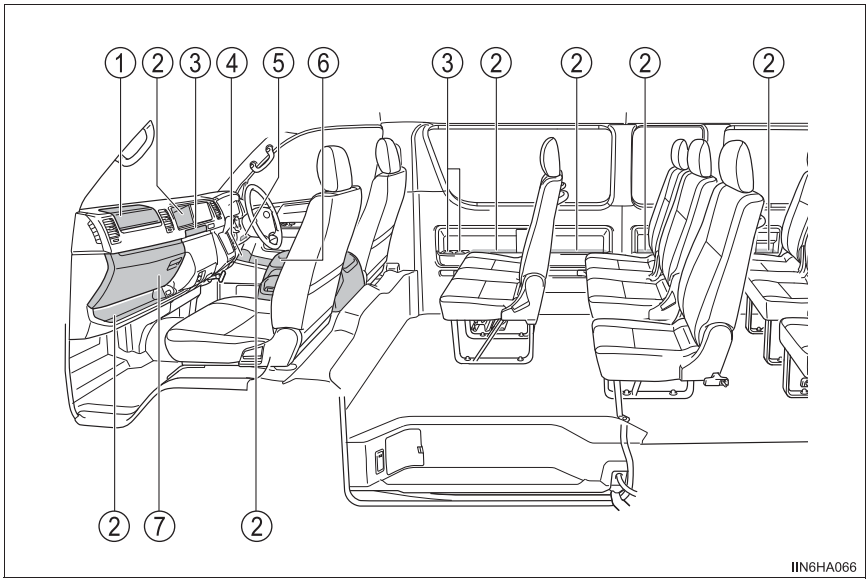
ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・エンジンスイッチのモードにより、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。

●エンジンスイッチが“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）の場合、室内灯が点灯したままのときは、約 20 分後に自動消灯します。

注意

バッテリーあがりを防ぐために、エンジンが停止した状態で、長時間ランプ類を点灯しないでください。

収納装備一覧



① アッパーグローブボックス★（→ P. 242）
② オープントレイ（→ P. 247）
③ カップホルダー★（→ P. 244）
④ ボトルホルダー（→ P. 245）
⑤ カードホルダー（→ P. 246）
⑥ センターコンソールボックス（→ P. 242）
⑦ ロアグローブボックス（→ P. 242）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

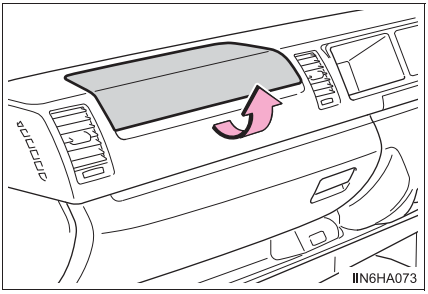
●メガネ･ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。
放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

・ 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
・ 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる

●収納装備を使わないときは、フタを必ず閉じてください。
急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

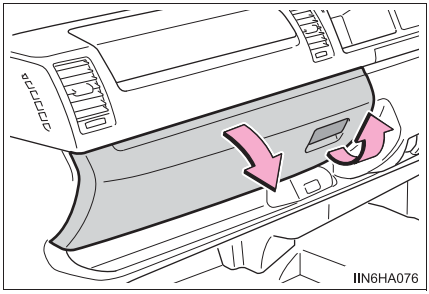
グローブボックス

▶ アッパーグローブボックス★



グローブボックスを開けるには、フタを持ち上げる

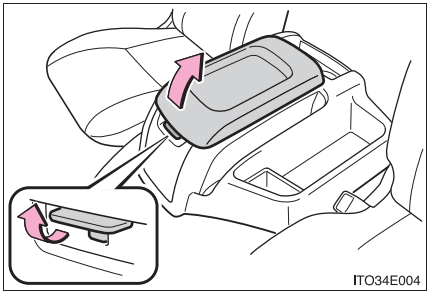
▶ ロアグローブボックス



グローブボックスを開けるには、レバーを引き上げる

センターコンソールボックス

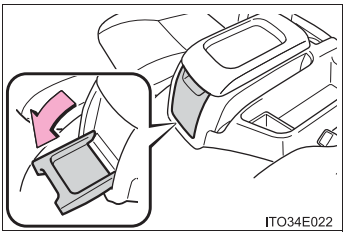
センターコンソールボックスを開けるには、レバーを引き上げる



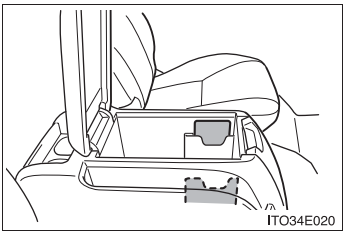
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

●センターコンソールボックスの前面部分を倒すと、トレイとして使用できます。



●ボックス内の側面に、カードなどを収納できるホルダーがあります。



警告

前面トレイにものを載せたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに載せていたものが飛び出すなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

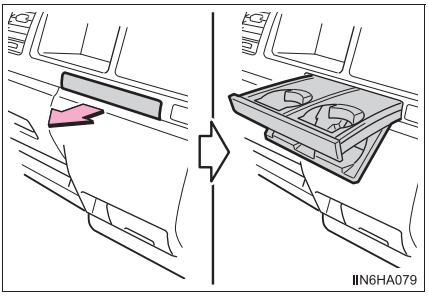
注意

前面トレイの破損を防ぐために、トレイの上に手をついたり、長時間ものを置いたままにしたりしないでください。

カップホルダー／ボトルホルダー

■ カップホルダー

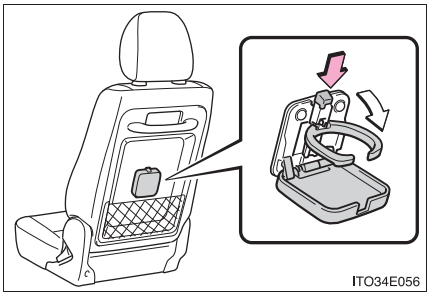
▶ インストルメントパネル



使用するときは、手前にいっぱいまで引き出す

もどすときは、トレイ部を上げてから押し込みます。

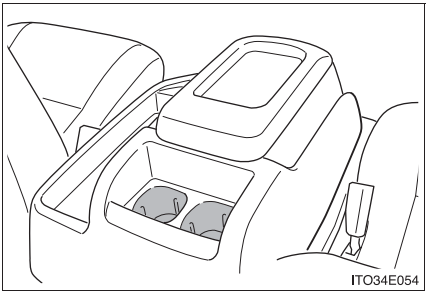
▶ リヤシートバック（最後列を除く）★



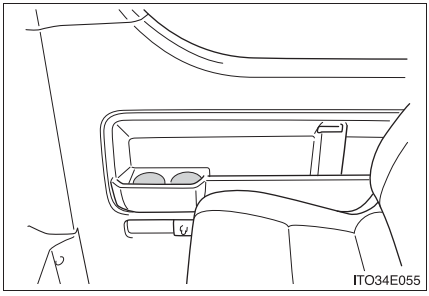
使用するときは、ボタンを押して開く

もどすときは、フタの先端を引き上げ、ロックするまで押し付けます。

▶ センターコンソール



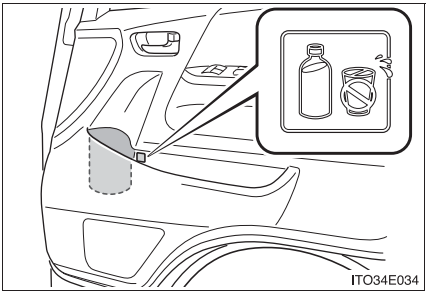
▶ リヤサイド（1 列目）★



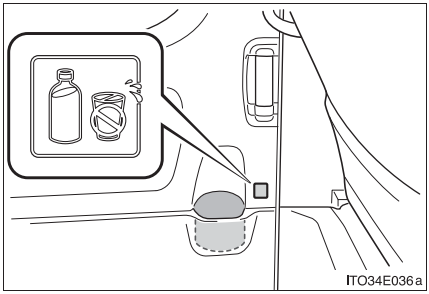
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ボトルホルダー

▶ フロントドア



▶ スライドドア★



知識

●ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。

●ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

⚠ 警告

●カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。
急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

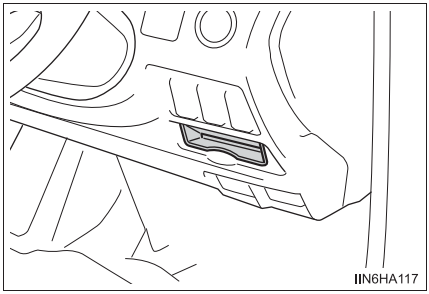
●カップホルダーを使わないときは、必ずもとにもどしておいてください。
急ブレーキ時などに、カップホルダーが体にあたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながりけがをするおそれがあります。（インストルメントパネル・リヤシートバック★）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 注意

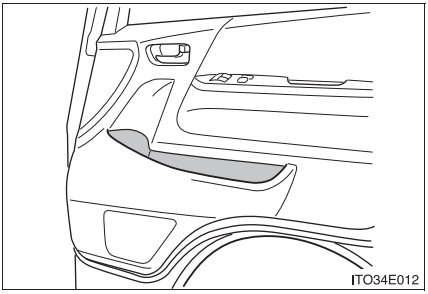
- カップホルダーに手をついたり、足で踏んだりしないでください。
- インストルメントパネルのカップホルダーは、必ずいっぱいまで引き出して使用してください。中間位置で使用すると、走行中にカップホルダーが動いて、飲み物がこぼれるおそれがあります。
- ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

カードホルダー

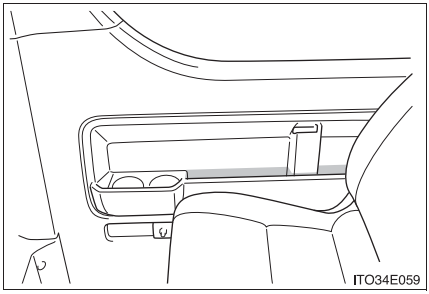


オープントレイ

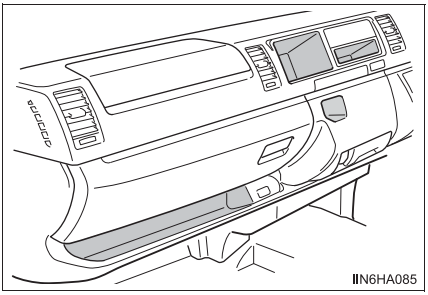
▶ フロントドア



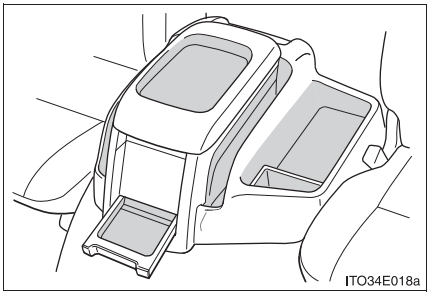
▶ リヤサイド★



▶ インストルメントパネル



▶ センターコンソール



⚠ 警告

オープントレイには、転がりやすいものや、凹面からはみ出るようなものを置かないでください。
急ブレーキ時などに収納していたものが飛び出すなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

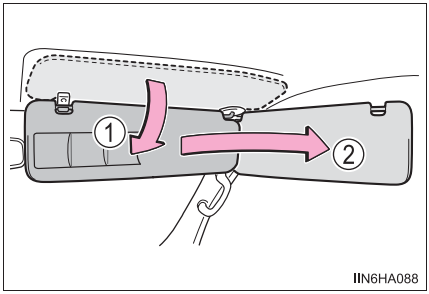
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

その他の室内装備

サンバイザー

① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす

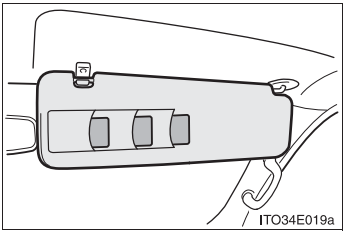
② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす



知識

■3 連式カードホルダー（運転席側サンバイザー）

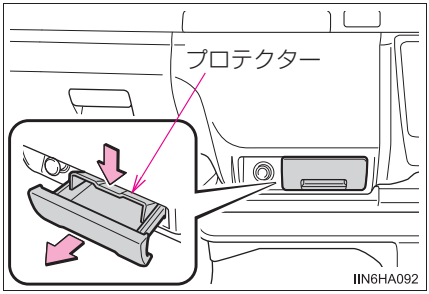
カード類を収納することができます。



灰皿

フタを手前に引いて開ける

取りはずすときは、プロテクターを押さえて手前に引き出します。



知識

灰皿照明：ランプスイッチが ON のとき点灯します。

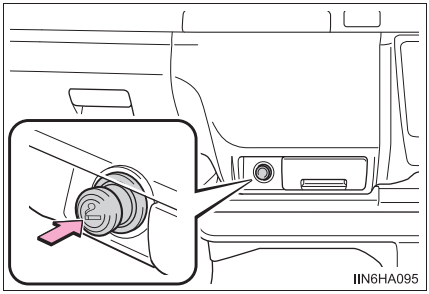
⚠ 警告

- 使用しないときは、灰皿のフタを必ず閉じてください。
  急ブレーキ時などに、開いた灰皿が体にあたったり、灰が飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 出火を防ぐために、マッチ・タバコなどの火は完全に消してから灰皿の中に入れ、灰皿のフタを確実に閉めてください。
- 出火を防ぐために、灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。

シガレットライター

シガレットライターを押し込む

もとの位置にもどったら使用できます。



知識

作動条件：

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ ACC ”または“ ON ”のとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモードのとき

⚠ 警告

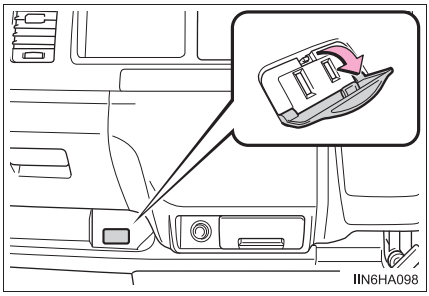
■ やけどや火災を防ぐために

- シガレットライターの金属部分にふれないでください。
- シガレットライターを押さえたままにしないでください。
- トヨタ純正品以外の電気製品の電源ソケットを挿し込まないでください。
  ソケットが変形し、そのあとシガレットライターを使用したときにシガレットライターが飛び出したり、押し込まれたまま出てこないおそれがあります。

アクセサリーコンセント★

AC100Vで最大消費電力100W以下の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

フタを開ける



知識

作動条件：

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ ON ”のとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 注意

■ ショートや故障を防ぐために

アクセサリーコンセントに異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときはフタを閉めておいてください。

■ ヒューズが切れるのを防ぐために

AC100V で最大消費電力が 100W をこえる電気製品は使用しないでください。消費電力が 100W をこえる電気製品を使用すると、保護回路が作動して電源を遮断します。

■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジンが停止した状態で、アクセサリーコンセントを長時間使用しないでください。(エンジンがかかっていても、アイドリング状態で長時間使用しないでください)

■ AC アダプターを使用するときは

フタが破損するおそれがあるため、直接アクセサリーコンセントに接続しないでください。

■ 正しく作動しないおそれがある電気製品

次のような AC100V の電気製品は、消費電力が 100W 以下の場合でも正常に作動しないおそれがあります。

- 起動時のピーク電力が高い電気製品
- 精密なデータを処理する計測機器
- 電源周波数の切りかえ（50 ／ 60Hz）のある機器
- 極めて安定した電力供給を必要とするその他の電気製品

お手入れのしかた 7

7-1. お手入れのしかた
外装の手入れ.....254
内装の手入れ.....257
7-2. 簡単な点検・部品交換
エンジン点検口.....259
ボンネット.....261
ガレージジャッキ.....264
ウォッシャー液の補充.....265
タイヤについて.....266
タイヤ空気圧について.....269
エアコンフィルターの清掃.....271
キーの電池交換.....274
ヒューズの点検・交換.....277
電球（バルブ）の交換.....281

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら、車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

  ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

知識

■自動洗車機を使うときは

- アウターミラー・アンテナを格納し、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずアウターミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。

■高圧洗車機を使うときは

●車内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に近付けすぎないでください。

●バックドア内に水が入るおそれがあるため、ハイマウントストップランプ部とノズル先端の距離を十分離してください（約 50 cm 以上）。

●洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。

●駆動系部品（ディファレンシャルギヤなど）のベアリングやオイルシール部品に近付けすぎないでください。
近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

■アルミホイール★

●中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。研磨剤の入った洗剤や硬いブラシは塗装を傷めますので使用しないでください。

●夏場の長距離走行後などでホイールが熱いときは、洗剤は使用しないでください。

●洗剤を使用したあとは早めに十分洗い流してください。

■バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

⚠ 警告

■洗車をするときは

エンジンルーム内に水をかけないでください。
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。ディーゼル車は特に高温になりますのでご注意ください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 注意

■塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために

●次のような場合は、ただちに洗車してください。

・海岸地帯を走行したあと
・凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
・コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
・ばい煙･油煙･粉じん･鉄粉･化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
・ほこり・泥などで激しく汚れたとき
・塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき

●塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。

●ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

■ランプの清掃

●注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ランプを損傷させるおそれがあります。

●ランプにワックスがけを行わないでください。
レンズを損傷するおそれがあります。

■自動洗車機を使うときは（電動アウターミラー装着車）

車両前面を洗浄するブラシは作動させないでください。
フロントアンダーミラー（→P. 114）が破損するおそれがあります。

■アンテナの損傷を防ぐために

→P. 196

■高圧洗浄機を使用するときは

ノズルの先端を、下記部品の結合部やブーツ類（ゴム又は樹脂製のカバー）、コネクタ類に近付けすぎないでください。
高い水圧がかかることにより、部品が損傷するおそれがあります。

●駆動系部品

●ステアリング部品

●サスペンション部品

●ブレーキ部品

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施ください。

車内の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を水で約 1 % に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
  水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

知識

■カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。
スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■シートベルト★

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。
シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■車の故障や車両火災を防ぐために

- 車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- 車内で可燃性のスプレー（洗浄剤・消臭剤・潤滑剤など）を使用する場合は、電気部品などにかからないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- SRS エアバッグの構成部品や配線などをぬらさないでください。（→ P. 30）電気の不具合により、エアバッグが展開したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■清掃するとき使用する溶剤について

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
  - シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
  - シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール・その他のアルカリ性や酸性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

■床に水がかかると

水で洗わないでください。
オーディオ★やフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因になったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

エンジン点検口

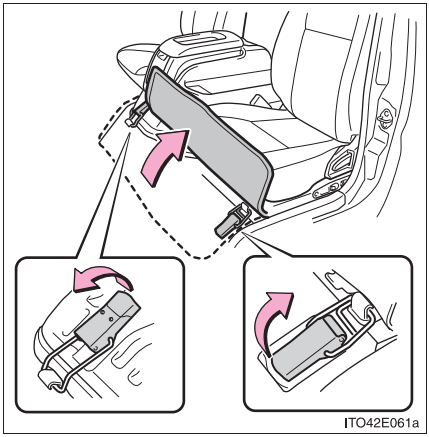
エンジンカバーを持ち上げて、エンジンルームの点検などが行えます。

エンジン点検口の開け方

1 エンジンを停止し、シフトレバーをPにする

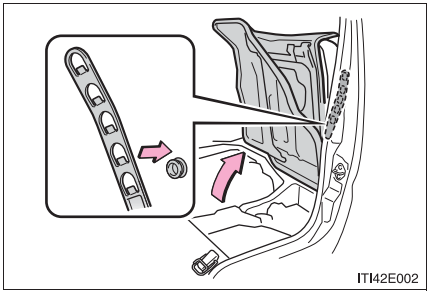
2 パーキングブレーキを確実にかける（→P. 147）

3 カバーをめくってロック（2ヶ所）を解除する



4 エンジンカバーを持ち上げ、バンドをフックにかけて固定する

フックをバンドの穴にしっかりとはめ込んで、確実に固定されたことを確認してください。



5 エンジン点検口を閉めるときは逆の手順で操作する

⚠ 警告

■走行前の確認

エンジンカバーがしっかりロックされていることを確認してください。
ロックせずに走行すると、走行中にシートが突然動いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 警告

■エンジンカバーを開けるときは

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

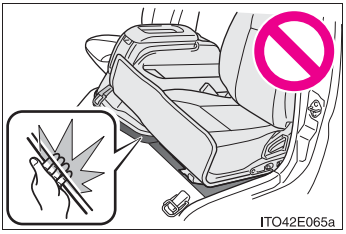
- ●走行中にエンジンカバーを開けない
- ●平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをＰにする
- ●お子さまに操作させない

■エンジンルームを点検したあとは

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。
点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れていると、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

■エンジンカバーを閉めるときは

エンジンカバーを閉めるときは、手などを挟まないように注意してください。
重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



⚠ 注意

■エンジンカバーを開ける前の注意

エンジンカバーを開けると、センターコンソールボックスも同時に持ち上がります。荷物の破損などを防ぐため、次のことをお守りください。

- ●オープントレイ上に荷物がある場合は降ろしておく
- ●ボックス内に壊れやすいものがある場合は取り出しておく
- ●カップホルダーに飲み物が置かれていないことを確認する

■エンジンカバーを閉めるときは

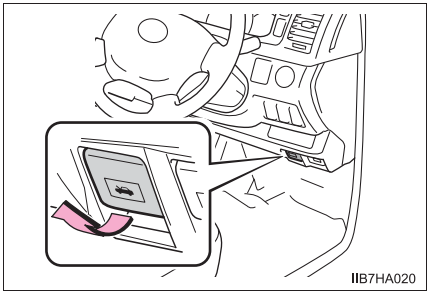
シートベルトを挟み込まないように注意してください。

ボンネット

車内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

1 ボンネット解除レバーを引く

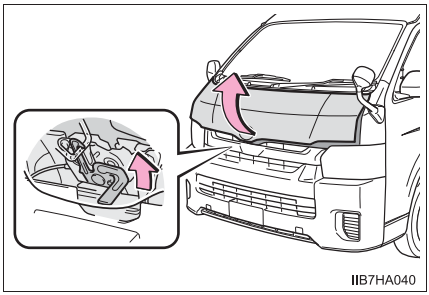
ボンネットが少し浮き上がります。



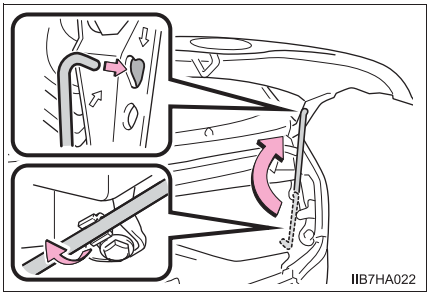
2 レバーを引き上げて、ボンネットを開ける

電動アウターミラー非装着車：
開ける前に助手席側アウターミラーが復帰状態になっていることを確認してください。

電動アウターミラー装着車：
開けるときにボンネットが補助ミラーにあたる場合は、補助ミラーを調整してください。



3 ボンネットステーをステー穴に挿し込む



⚠ 警告

■走行前の確認

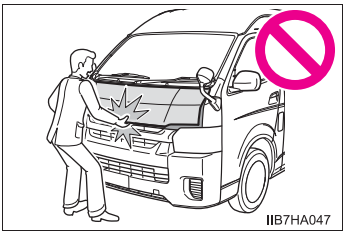
ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。
ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ボンネット内を点検したあとは

ボンネット内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。
点検や清掃に使用した工具や布などをボンネット内に置き忘れていると、故障の原因になったり、また、ボンネット内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ボンネットを閉めるときは

手などを挟まないように注意してください。
重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

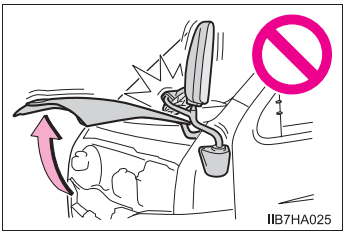


⚠ 注意

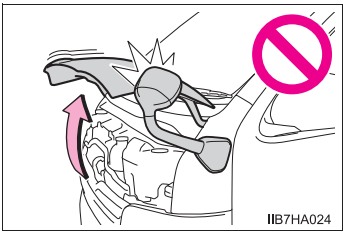
■ボンネットへの損傷を防ぐために

- ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。
- 補助ミラーまたは、助手席側アウターミラーの位置によっては、ボンネットがあたり、ボンネットとミラーが損傷するおそれがあります。

・電動アウターミラー非装着車：ボンネットを開ける前に、助手席側アウターミラーが復帰状態になっていることを確認してください。



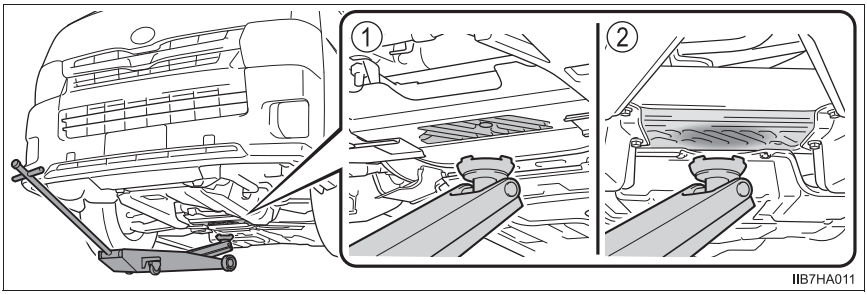
・電動アウターミラー装着車：ボンネットを開けるときに補助ミラーにあたる場合は、補助ミラーの位置を調整してください。



ガレージジャッキ

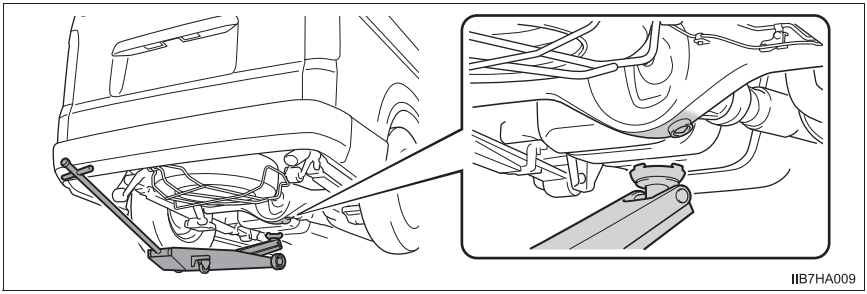
ガレージジャッキを使用するときは、ガレージジャッキに付属の取り扱い説明書に従って、安全に作業してください。
ガレージジャッキを使用して車両を持ちあげるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。
正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをしたりするおそれがあります。

◆ フロント側



① FR 車　② 4WD 車

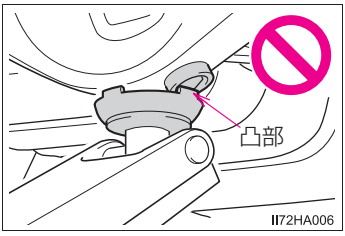
◆ リヤ側



⚠ 注意

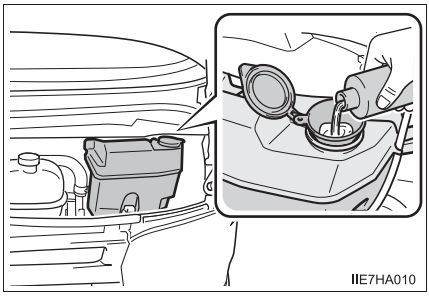
■ **ガレージジャッキでリヤ側を持ちあげるときは**

ガレージジャッキの受け皿の凸部がボルトにあたらないようにしてください。ボルトがゆるんでオイルがもれるおそれがあります。



ウォッシャー液の補充

タンク側面から液量を確認し、不足しているときは、キャップを開けてウォッシャー液を補充する



⚠ 警告

■ ウォッシャー液を補充するとき

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときは、ウォッシャー液を補充しないでください。
ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ラジエーターなどの高温部にかかると出火するおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くおそれがあります。

■ ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。
タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション（タイヤ位置交換）を FR 車は 10,000km ごとに、4WD 車は 5,000km ごとに行ってください。

タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。
点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

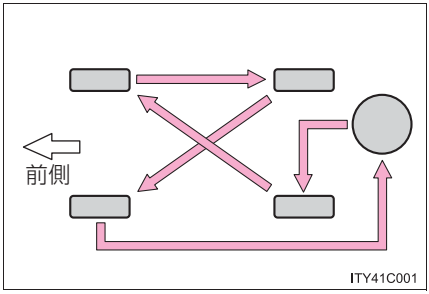
- タイヤ空気圧

  空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ
- タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行う

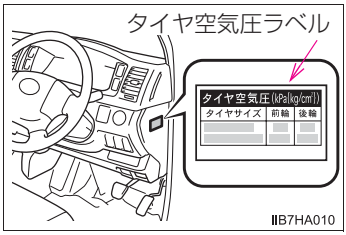
タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。



知識

■タイヤ空気圧の数値

タイヤの指定空気圧は、インストルメントパネル横（運転席側）のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。



■タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠警告

■点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。
お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

■異常があるタイヤの使用禁止

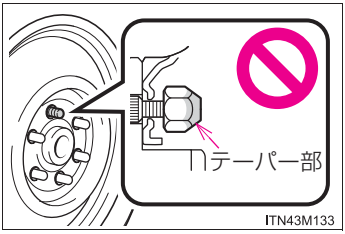
異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

⚠ 警告

■タイヤ交換時の注意

●必ずナットのテーパー部を内側にして取り付けてください。
テーパー部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



●ねじ部にオイルやグリースを塗らないでください。
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。また、ナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。

■異常があるホイールの使用禁止

亀裂や変形などがあるホイールは使用しないでください。走行中にタイヤの空気が抜けて、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■走行中に空気もれが起こったら

走行を続けないでください。
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧を適正に維持するために、タイヤの空気圧点検を月に 1 回以上実施してください。（→ P. 354）

知識

■タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- 燃費の悪化
- 乗り心地や操縦安定性の低下
- 摩耗によるタイヤ寿命の低下
- 安全性の低下

ひんぱんにタイヤ空気圧が低下する場合は、トヨタ販売店でタイヤの点検を受けてください。

■タイヤ空気圧の点検のしかた

タイヤ空気圧の点検の際は、次のことをお守りください。

- タイヤが冷えているときに点検する
- タイヤ空気圧ゲージを必ず使用する
  タイヤの外観だけでは空気圧が適正かどうか判断できません。
- 走行後はタイヤの発熱により空気圧が高くなります。異常ではありませんので減圧しないでください。
- 荷物を積んだり、多人数で乗車するときは荷重を不均等にかけないようにする

⚠ 警告

■ タイヤの性能を発揮するために

適正なタイヤ空気圧を維持してください。
タイヤ空気圧が適正に保たれていないと、次のようなことが起こるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過度の摩耗
- 偏摩耗
- 操縦安定性の低下
- タイヤの過熱による破裂
- タイヤとホイールのあいだからの空気漏れ
- ホイールの変形、タイヤの損傷
- 走行時にタイヤが損傷する可能性の増大
  （路上障害物、道路のつなぎ目や段差など）

⚠ 注意

■ タイヤ空気圧の点検・調整をしたあとは

タイヤのバルブキャップを確実に取り付けてください。

バルブキャップをはずしていると、ほこりや水分がバルブに入り空気が漏れ、タイヤの空気圧が低下するおそれがあります。

エアコンフィルターの清掃

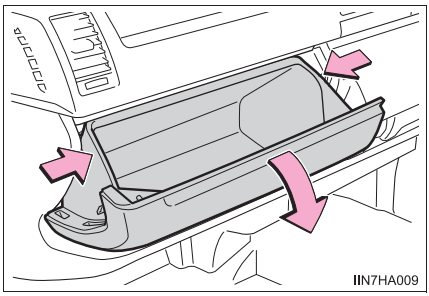
エアコン・リヤクーラーを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に清掃してください。

清掃のしかた

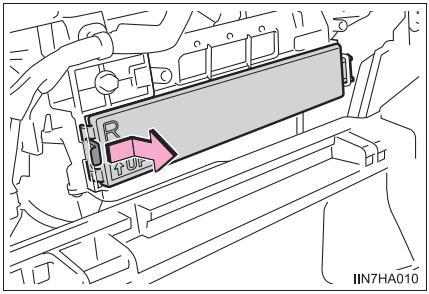
▶ フロントエアコン

1 エンジンスイッチを“ LOCK ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にする

2 グローブボックスを開き、グローブボックス側面を内側に押して上部のツメを片側ずつはずし、下部のツメをはずして取りはずす

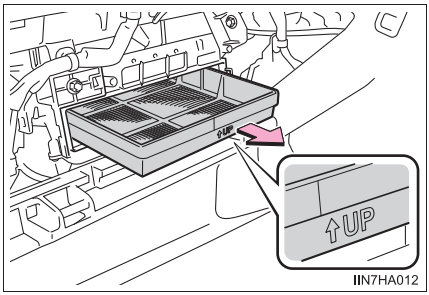


3 フィルターカバーを取りはずす



4 エアコンフィルターを取りはずして清掃する

水洗いするか、裏面からエアブローでほこりを取り除きます。



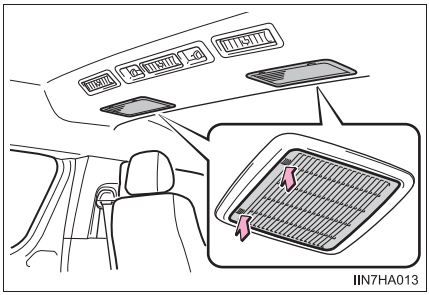
5 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。

▶ リヤクーラー

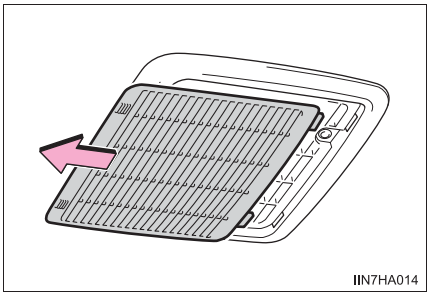
1 エンジンスイッチを“ LOCK ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にする

2 図に示す位置（2ヶ所）を押して、ロックをはずす



3 エアコンフィルターを取りはずして清掃する

水洗いするか、裏面からエアブローでほこりを取り除きます。



4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

エアコンフィルターのツメを挿し込んでから、反対側を押さえてロックします。

知識

■フィルターの清掃について

エアコン・リヤクーラーを快適にお使いいただくために、フィルターを定期的に清掃してください。

■エアコン・リヤクーラーの風量が減少したときは

フィルターの目づまりが考えられますので、フィルターを清掃してください。

注意

■エアコン・リヤクーラーを使用するときの注意

- フィルターを装着せずにエアコン・リヤクーラーを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは水洗いするか、エアブローを使って清掃してください。ブラシなどでこすると、フィルターが損傷するおそれがあります。

キーの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

用意するもの

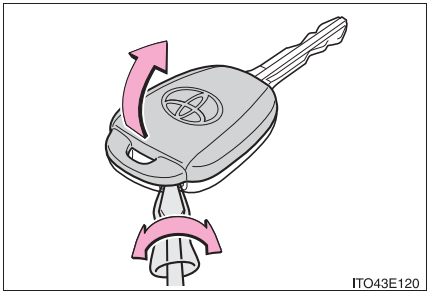
- マイナスドライバー
- リチウム電池
  - ・CR2016（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）
  - ・CR2032（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電池交換のしかた

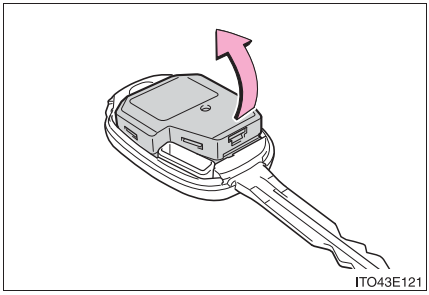
▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

1 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

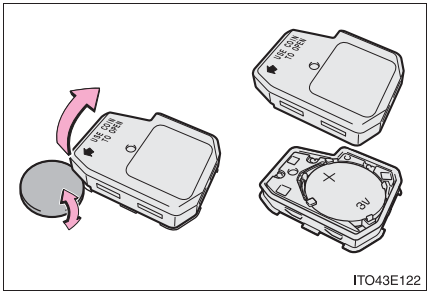

ITO43E120

2 モジュールを取り出す


ITO43E121

3 コインなどを使用してモジュールカバーをはずし、消耗した電池を取り出す

新しい電池は + 極を上にして取り付けます。



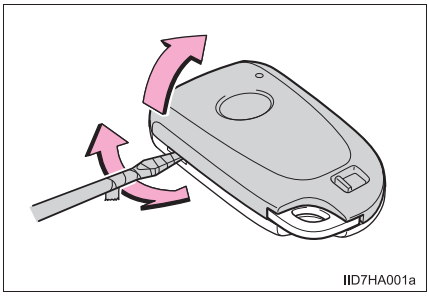
ITO43E122

4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

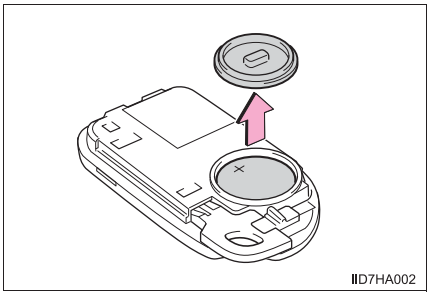
1 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。


IID7HA001a

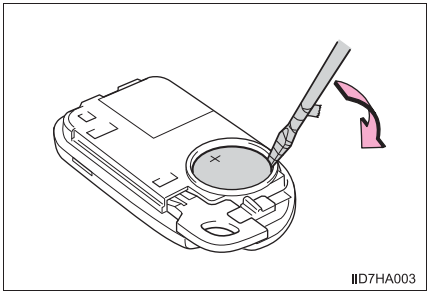
2 電池のフタをはずす

取っ手を引っ張り電池のフタを取りはずします。


IID7HA002

3 消耗した電池を取り出す

新しい電池は、+ 極を上にして取り付けます。


IID7HA003

4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

知識

■リチウム電池の入手

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車：CR2016
- スマートエントリー&スタートシステム装着車：CR2032

■電池が消耗していると

次のような状態になります。

- スマートエントリー&スタートシステム★、ワイヤレス機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

⚠警告

■取りはずした電池と部品について

お子さまにさわらせないでください。
部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠注意

■交換後、正常に機能させるために

次のことを必ずお守りください。

- ぬれた手で電池を交換しない
  錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ヒューズの点検・交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

1 エンジンスイッチを“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にする

2 ヒューズボックスを開ける

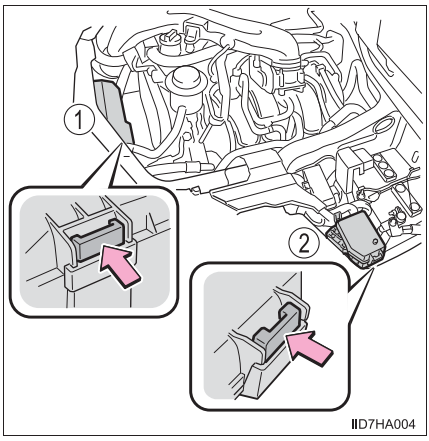
▶ エンジンルーム内

エンジン点検口（→P. 259）を開けて、ツメを押しながら、カバーを持ち上げる

① 中央ヒューズボックス

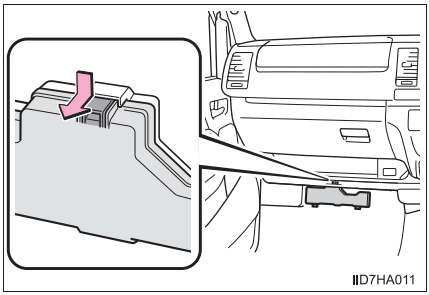
② バッテリー横ヒューズボックス

イラストはガソリン車で代表しています。



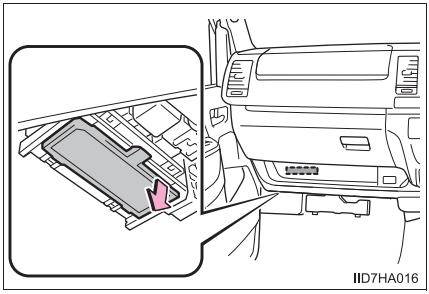
▶ 助手席足元

ツメを押しながら、カバーを手前に引く



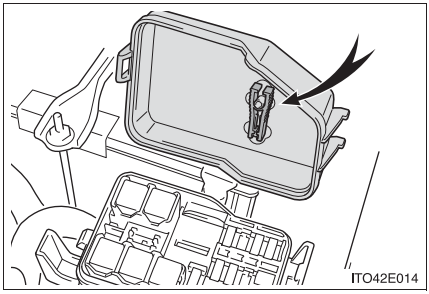
▶ グローブボックス下

ヒューズボックスカバーを取りはずす



3 ヒューズはずしでヒューズを引き抜く

ヒューズはずしは、エンジンルーム内にある、バッテリー横ヒューズボックスのカバーに付いています。

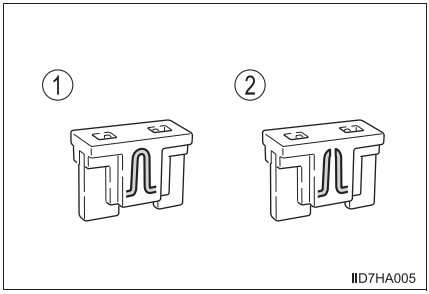


4 ヒューズが切れていないか点検する

① 正常

② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



知識

■ヒューズを交換したあと

●交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。（→ P. 281）

●交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

■バッテリーがはずされたり、バッテリーがあがってしまった場合は

次の装置の初期化が必要です。

●パワースライドドア★（→ P. 82）

●パワーウインドウ（→ P. 116）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。
お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- ●規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- ●必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ●ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

⚠ 注意

■ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

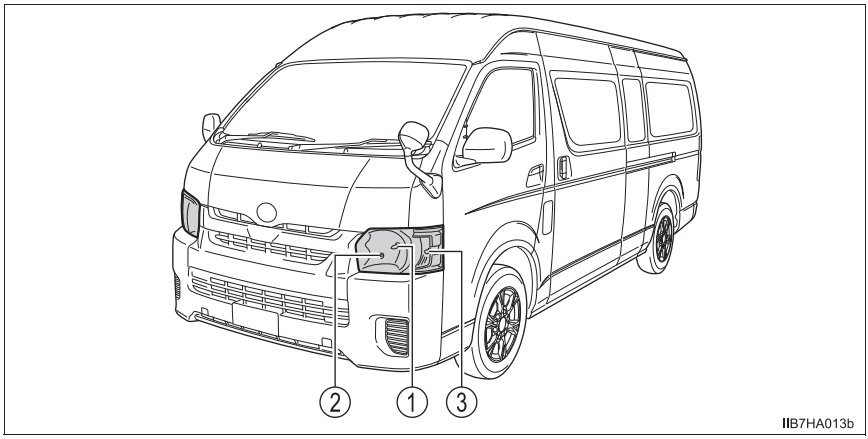
電球の用意

切れた電球のW（ワット）数を確認してください。（→P. 355）

バルブ位置

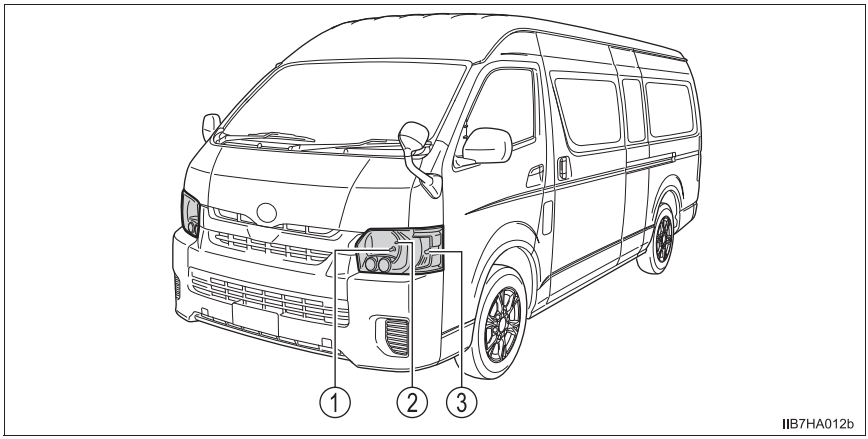
■ フロント

▶ハロゲンヘッドランプ装着車



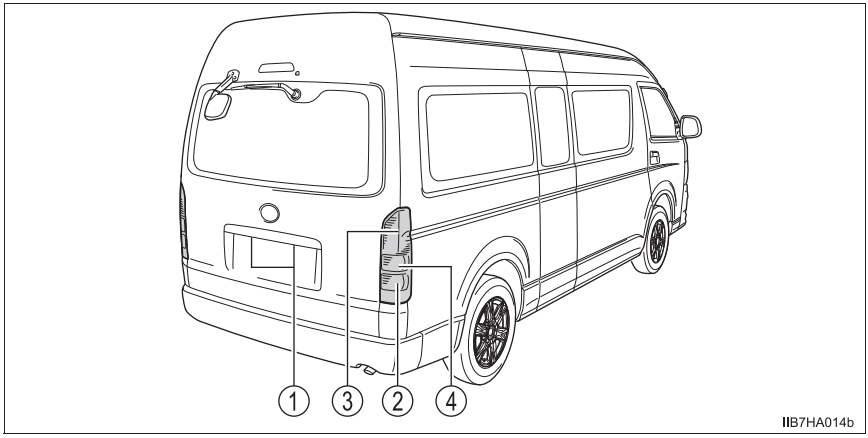
① ヘッドランプ
② 車幅灯
③ フロント＆サイド方向指示灯／非常点滅灯

▶LED ヘッドランプ装着車



① ヘッドランプ（ハイビーム）
② 車幅灯
③ フロント & サイド
方向指示灯／非常点滅灯

■ リヤ



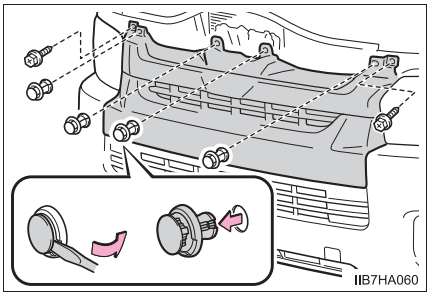
① 番号灯
② 後退灯／リヤフォグランプ★
③ 制動灯／尾灯
④ リヤ方向指示灯／非常点滅灯

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

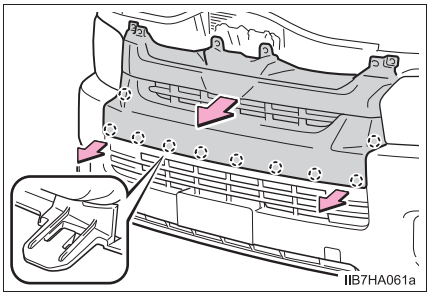
電球交換のしかた

■ ヘッドランプ（ハロゲンヘッドランプ装着車）

1 クリップ（4 個）とネジ（2 本）をはずす

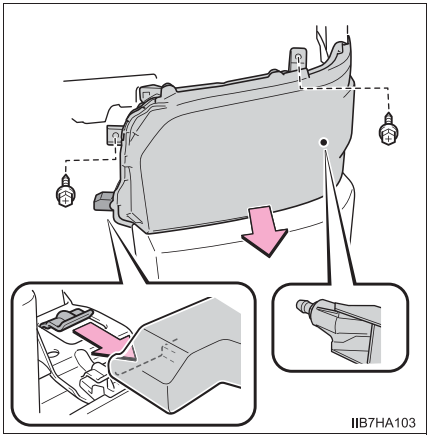


2 ラジエーターグリルを手前に引いて取りはずす
下のツメを先にはずしてから取りはずしてください。

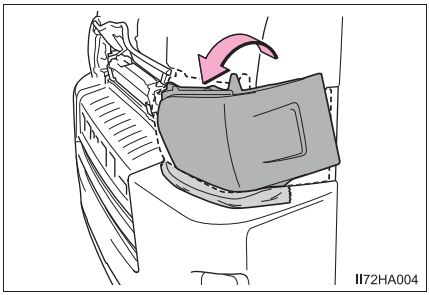


3 電球を交換する側のドア（運転席または助手席）を開けて作業スペースを広げ、バンパーのヘッドランプ前側部分に保護テープを貼る

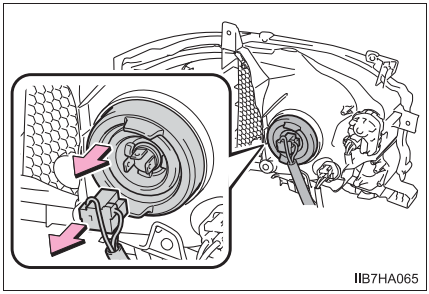
4 ネジ（2 本）をはずし、ヘッドランプ本体を手前に引いて各部の固定をはずす



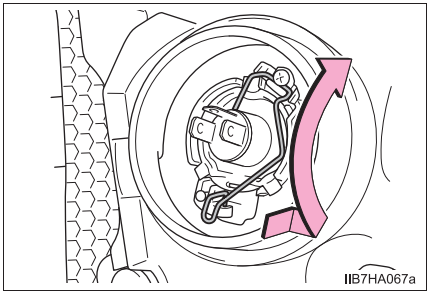
5 ヘッドランプ本体を回転させながら取りはずす



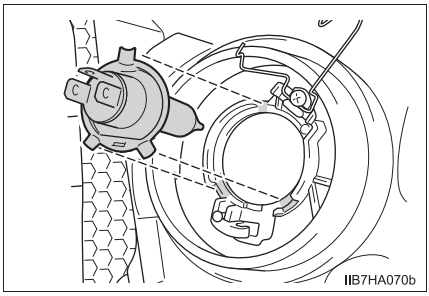
6 コネクターとゴムカバーを取りはずす



7 止め金をはずす



8 電球を取りはずす

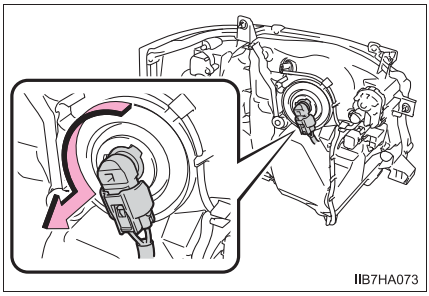


9 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

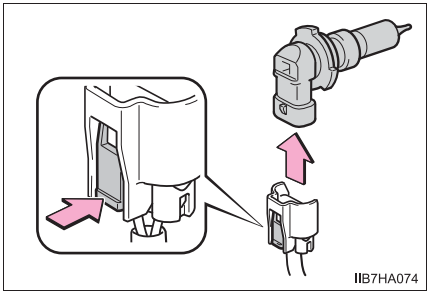
■ ヘッドランプ　ハイビーム（LED ヘッドランプ装着車）

1 ヘッドランプ本体を取りはずす（→ P. 283）

2 ソケットを取りはずす

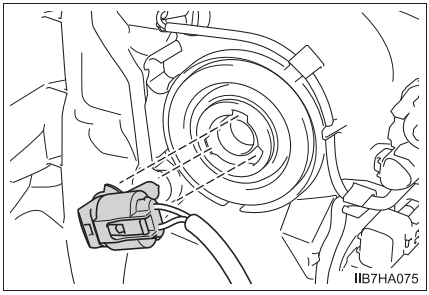


3 電球を取りはずす



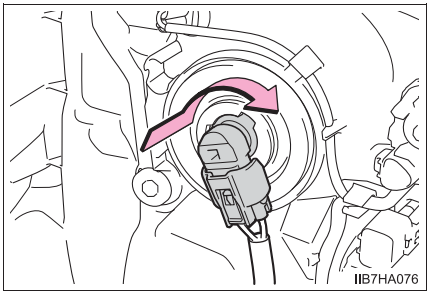
4 電球を交換し、ソケットを取り付ける

取り付け部と電球のツメ（3 か所）を合わせて挿し込みます。



5 ソケットをまわして固定する

ソケットを軽くゆさぶってぐらつきがないことを確認し、いったんヘッドランプを点灯させ、ソケットの取り付け部からランプの光がもれていないことを目視確認してください



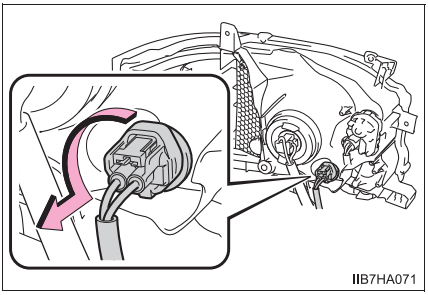
6 ヘッドランプ本体を取り付ける

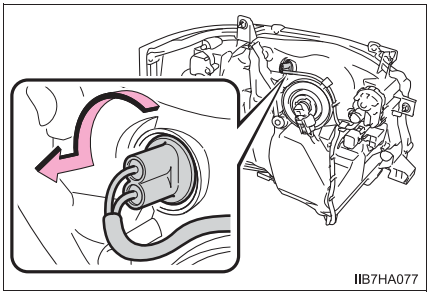
■ **車幅灯**

1 ヘッドランプ本体を取りはずす（→ P. 283）

2 ソケットを取りはずす

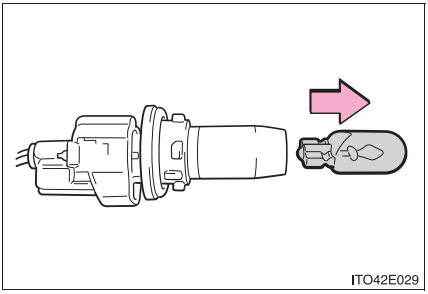
▶ ハロゲンヘッドランプ装着車　▶ LED ヘッドランプ装着車

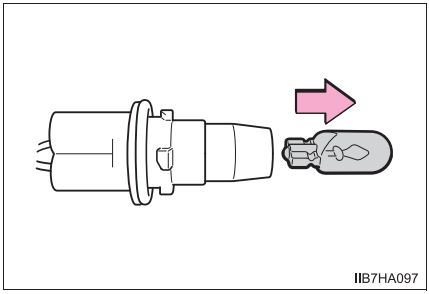




3 電球を取りはずす

▶ ハロゲンヘッドランプ装着車　▶ LED ヘッドランプ装着車





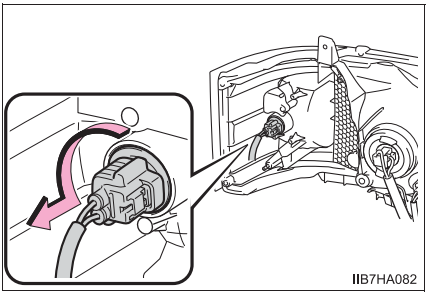
4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ **フロント&サイド方向指示灯／非常点滅灯**

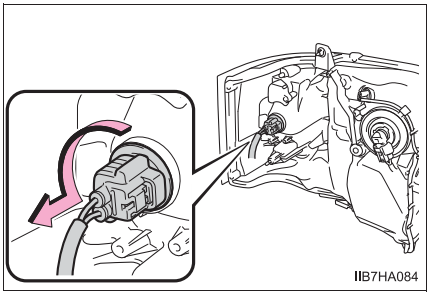
1 ヘッドランプ本体を取りはずす（→ P. 283）

2 ソケットを取りはずす

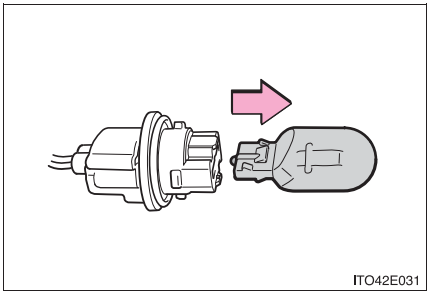
▶ ハロゲンヘッドランプ装着車



▶ LED ヘッドランプ装着車



3 電球を取りはずす

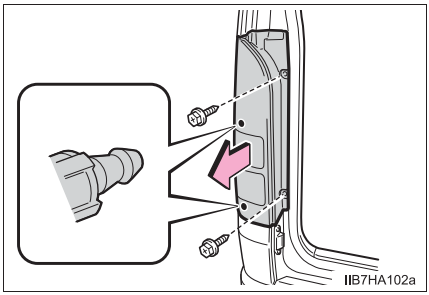


4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ 制動灯／尾灯・リヤ方向指示灯／非常点滅灯・後退灯／リヤフォグランプ★

1 ネジ（2 本）をはずし、ランプ本体を手前に引き出す

コネクターケーブルを損傷しないよう、慎重に作業してください。



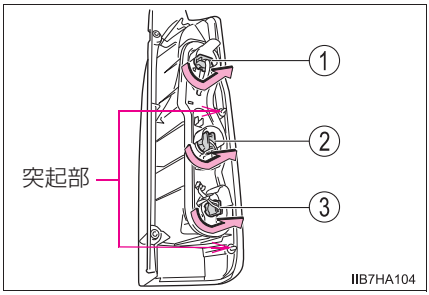
2 ソケットを取りはずす

① 制動灯／尾灯

② リヤ方向指示灯／非常点滅灯

③ 後退灯／リヤフォグランプ※

※ 運転席側のみに装着されます。

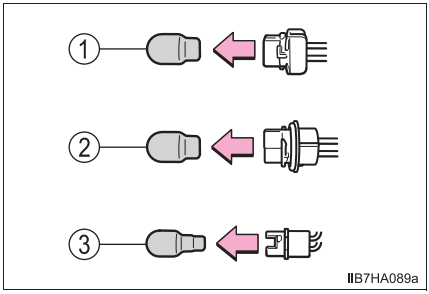


3 電球を取りはずす

① 制動灯／尾灯

② リヤ方向指示灯／非常点滅灯

③ 後退灯／リヤフォグランプ



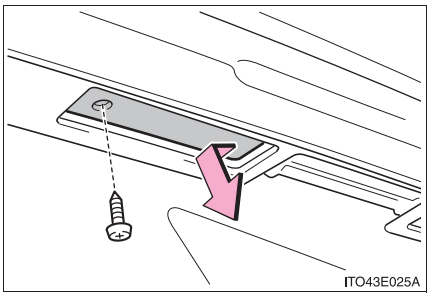
4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

突起部をしっかりとはめ込んでください。

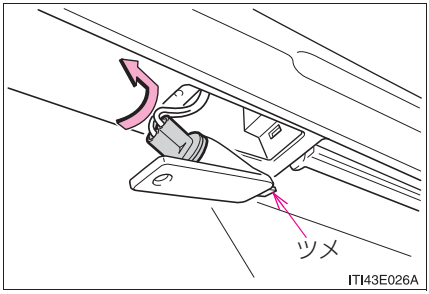
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 番号灯

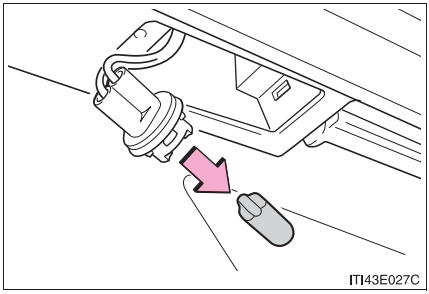
1 交換する側のネジ（1 本）をはずし、ランプ本体を引き出す



2 ソケットを取りはずす



3 電球を取りはずす



4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

ランプ本体のツメが確実にかかっていることを確認してください。

■ 次の電球を交換するには

次のランプが切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

- ヘッドランプ　ロービーム（LED ヘッドランプ装着車）
- ハイマウントストップランプ

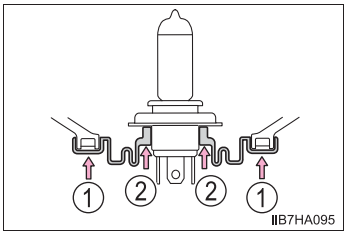
知識

■ハロゲンヘッドランプ★のゴムカバーを取り付けるときは

確実にはめ込まれていることを確認してください。

① ゴムカバーの外周をしっかりとはめ込む

② ゴムカバー内周（電球まわり）を全周にわたり電球の金具部分が確認できるまで押し込む



■LED ランプについて

LED ヘッドランプ★とハイマウントストップランプは数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

■レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

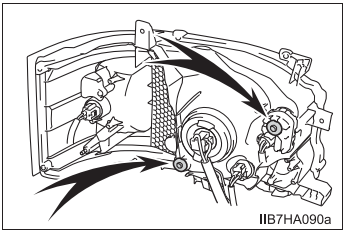
- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

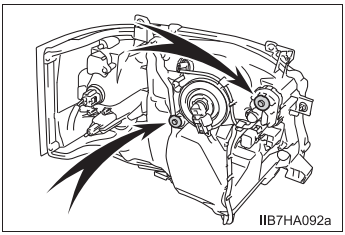
■ヘッドランプ本体の固定をはずすときは

●ヘッドランプの光軸がずれるおそれがあるため、光軸調整用のネジにふれないでください。

▶ハロゲンヘッドランプ装着車



▶LED ヘッドランプ装着車



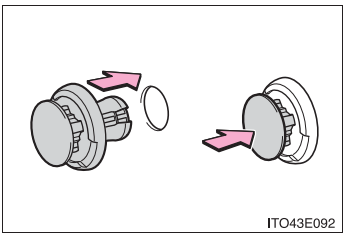
●電球を交換したあとは、トヨタ販売店でヘッドランプの光軸の点検を受けてください。

■電球の交換について

電球の交換作業をするときに、部品などの破損が心配な方は、トヨタ販売店にご相談ください。

■ラジエーターグリルのクリップの取り付け

クリップを穴に挿し込み、中央部を押し込む



⚠ 警告

■電球を交換するときは

- ランプは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどをすることがあります。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。
  やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。
  また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。
  取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- 電球・ソケット・電気回路・および構成部品を、修理または分解しないでください。感電により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■お車の故障や火災を防ぐために

電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

万一の場合には 8

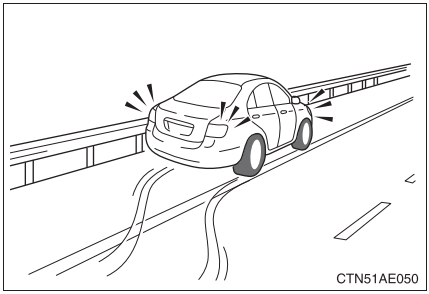
8-1. まず初めに
故障したときは.....296
非常点滅灯（ハザードランプ）.....297
発炎筒.....298
消火器.....300
車両を緊急停止するには.....301
8-2. 緊急時の対処法
けん引について.....303
フューエルポンプシャットオフシステム（ガソリン車）.....311
警告灯がついたときは.....312
パンクしたときは.....318
エンジンがかからないときは.....333
シフトレバーがシフトできないときは.....335
電子キーが正常に働かないときは（スマートエントリー&スタートシステム装着車）...336
バッテリーがあがったときは.....338
オーバーヒートしたときは...343
スタックしたときは.....346

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

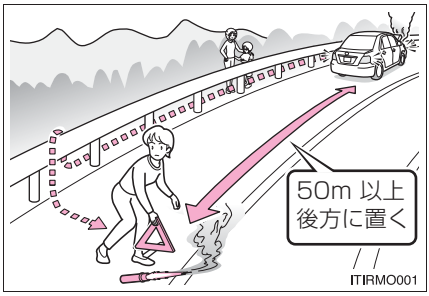
非常点滅灯（→ P. 297）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車します。

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。


CTN51AE050

高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

- 同乗者を避難させる
- 車両の 50m 以上後方に発炎筒（→ P. 298）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
  - ・見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
  - ・発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する

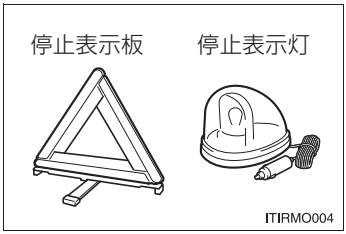


ITIRMO001

知識

■停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。



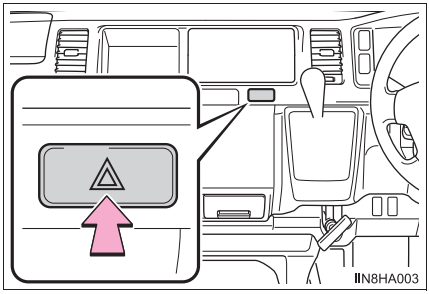
ITIRMO004

非常点滅灯（ハザードランプ）

故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。
もう一度押すと消灯します。



知識

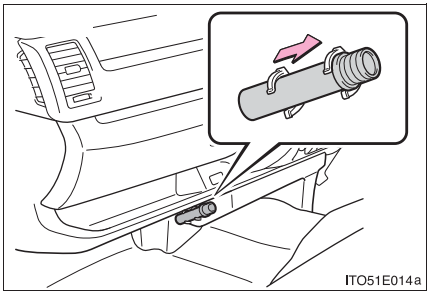
■非常点滅灯について

エンジン停止中に、非常点滅灯を長時間使用すると、バッテリーがあがるおそれがあります。

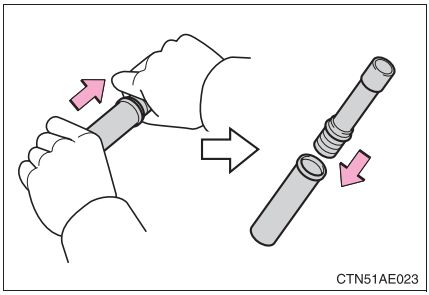
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。
（トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください）
発炎時間は約５分です。非常点滅灯と併用してください。

1 助手席足元の発炎筒を取り出す

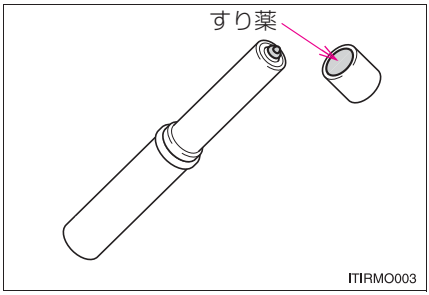


2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる

必ず車外で使用してください。
着火させる際は、筒先を顔や体に向けないでください。



知識

■発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

⚠ 警告

■発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

■発炎筒の取り扱いについて

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

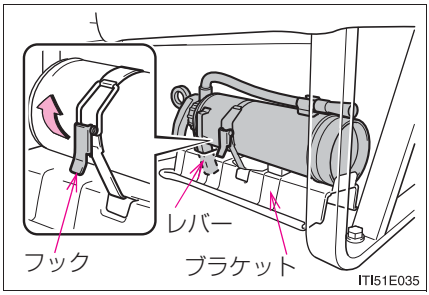
- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさわらせない

消火器

使用方法については、消火器本体に記載されている説明をよく読んで万一に備えてください。

取り出し方

フックを引き上げてベルトをはずし、ブラケットから取りはずす



格納のしかた

消火器のレバーをブラケットの穴に挿し込み、ベルトのフックをかけて確実に固定する

知識

■有効期限について

消火器には有効期限があります。有効期限が切れる前に新品と交換してください。

⚠ 警告

■消火器の取り扱いについて

消火器は必ず所定の格納位置に格納してください。固定しないままフロアなどに置いておくと、走行中や急ブレーキをかけたときなどに飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■注意事項について

消火器本体のラベルに記載されている注意事項を遵守し、正しくご使用ください。

車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける

ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。

2 シフトレバーを N に入れる

▶ シフトレバーが N に入った場合

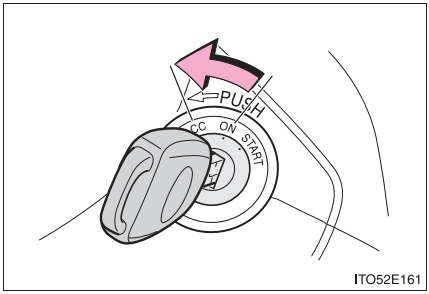
3 減速後、車を安全な道路脇に停める

4 エンジンを停止する

▶ シフトレバーが N に入らない場合

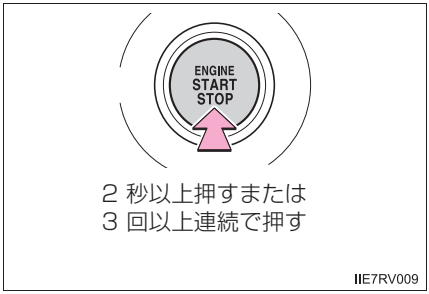
3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる

4 スマートエントリー＆スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“ ACC ”にして、エンジンを停止する



ITO52E161

スマートエントリー＆スタートシステム装着車：エンジンスイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してエンジンを停止する



IIE7RV009

5 車を安全な道路脇に停める

知識

■エンジンを再始動するには（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

走行時のエンジン緊急停止後にエンジンを再始動するには、シフトレバーを N にしてからエンジンスイッチを押します。

⚠警告

■走行中にやむを得ずエンジンを切るときは

- ブレーキの効きが悪くなると共にハンドルが重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを停止する前に、十分に減速するようにしてください。
- スマートエントリー&スタートシステム非装着車：キーを抜くとハンドルがロックされるため、キーは絶対に抜かないでください。

けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。

その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

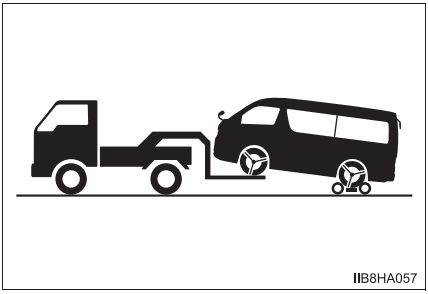
けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

- エンジンはかかるが車が動かない
- 異常な音がする

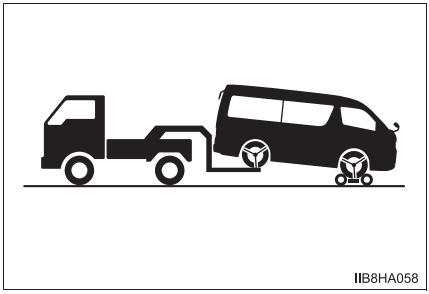
レッカー車でけん引するとき

▶ 前向きにけん引するときは



台車を使用して後輪を持ち上げる

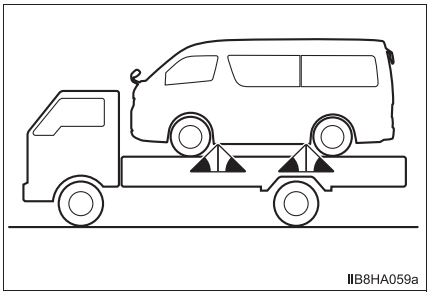
▶ うしろ向きにけん引するときは



台車を使用して前輪を持ち上げる

車両運搬車を使用するとき

鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が 45° になるように固縛する

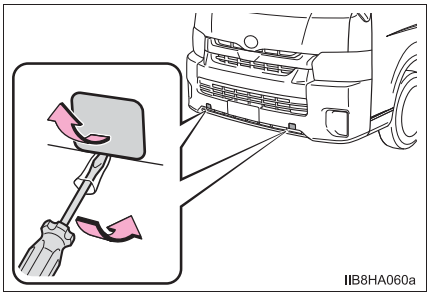


他車にけん引してもらうとき

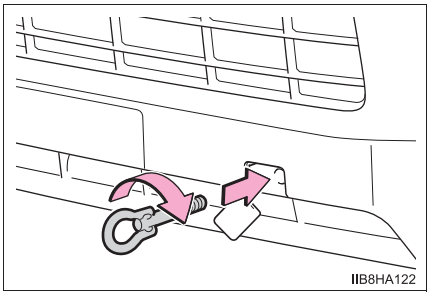
1 けん引フックを取り出す（→P. 319, 321）

2 マイナスドライバーを使ってフタをはずす

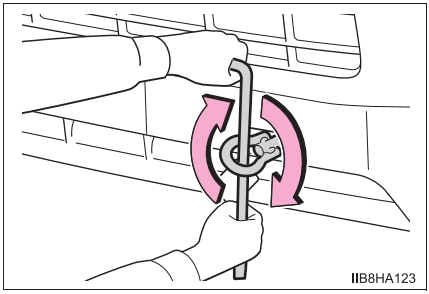
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



3 けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



4 ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける

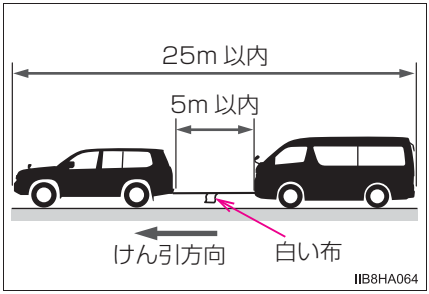


5 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。

6 ロープの中央に白い布を付ける

布の大きさ：
0.3m 平方（30cm × 30cm）以上



7 運転者はけん引される車両に乗り、エンジンをかける

スマートエントリー＆スタートシステム非装着車：エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを“ ON ”にしてください。

スマートエントリー＆スタートシステム装着車：エンジンがかからないときは、エンジンスイッチをイグニッション ON モードにしてください。

8 けん引される車両のシフトレバーを N にしてから、パーキングブレーキを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

シフトレバーがシフトできないときは：→ P. 335

知識

■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引してもらうときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

■他車にけん引してもらうときに

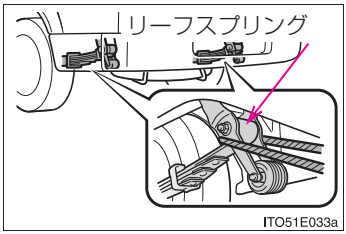
エンジンが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

■ホイールナットレンチについて

工具袋に搭載されています。(→P. 319)

■リーフスプリングについて

リーフスプリングは、自車より軽い車をやむを得ず一般路上でロープによりけん引するときに使用することができます。ロープは図に示す箇所にかけてください。



⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

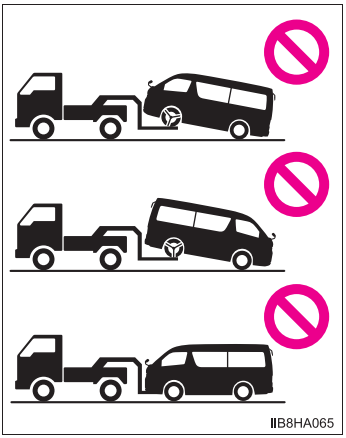
■レッカー車でけん引するとき

▶FR 車

必ず 4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり、車の向きが変わり事故につながったりするおそれがあります。

▶4WD 車

必ず 4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり車が台車から飛び出したりするおそれがあります。


IIB8HA065

■他車にけん引してもらうときの運転について

- けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。
  けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。
- エンジンスイッチを“ LOCK ”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または、OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にしないでください。
  ハンドルがロックされ、ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

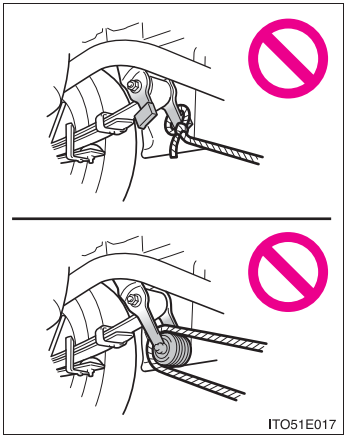
■けん引フックを車両に取り付けるとき

指定の位置にしっかりと取り付けてください。
指定の位置にしっかり取り付けていないと、けん引時にフックがはずれるおそれがあります。

⚠ 警告

■ やむを得ず他車をけん引するときは

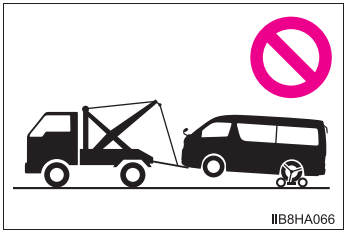
図のようなリーフスプリング付きの車両は、図に示す部分でのけん引は絶対にしないでください。



⚠ 注意

■ レッカー車でけん引するとき

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。



■ 車両運搬車に車を固縛するとき

ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■駆動系部品の損傷を防ぐために

●他車にけん引してもらうときは次のことを必ずお守りください。

・ワイヤーロープは使用しない
・速度 30km/h 以下、距離 80km 以内でけん引する
・前進方向でけん引する
・サスペンション部などにロープをかけない

●この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

■長い下り坂でけん引するときは

レッカー車で 4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

■リーフスプリングについて

やむを得ない場合以外は使用しないでください。装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

フューエルポンプシャットオフシステム（ガソリン車）

エンジン停止時および SRS エアバッグ作動時は、フューエルポンプシャットオフシステムが作動し、燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。

システム作動後にエンジンを再始動するには

システムが作動したあと、エンジンを始動するには、次の手順に従ってください。

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

1 エンジンスイッチを“ ACC ”または“ LOCK ”にする

2 エンジンを再始動する

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

1 エンジンスイッチをアクセサリーモードまたは OFF にする

2 エンジンを再始動する

⚠ 注意

■ エンジンを始動する前に

車両下をよく確認してください。
地面に燃料もれを見つけた場合は、燃料システムに損傷があり、修理する必要があります。その場合はエンジンを再始動しないでください。

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯・警告ブザー一覧

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	ブレーキ警告灯（警告ブザー※1） ・ブレーキ液の不足 ・ブレーキ系統の異常 パーキングブレーキが解除されていないときも点灯します。 解除後、消灯すれば正常です。 **→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。**
	充電警告灯 充電系統の異常 **→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。**
	エンジン警告灯 ・エンジン電子制御システムの異常 ・電子制御スロットルの異常 ・オートマチックトランスミッション電子制御システムの異常 ・排出ガス浄化装置の異常★ **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯 ・SRS エアバッグシステムの異常 ・プリテンショナー付シートベルトシステム★の異常 **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	ABS 警告灯 ABS の異常 **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	ヘッドランプオートレベリング警告灯★ 自動光軸調整システムの異常 **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	LED ヘッドランプ警告灯★ LED ヘッドランプの異常 異常時は LED ヘッドランプは点灯しませんが、故障の状況によっては、点灯できる場合があります。 **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	半ドア警告灯（警告ブザー※ 2) いずれかのドアが確実に閉まっていない **→ 全ドアを閉める**
	燃料残量警告灯 燃料の残量が約 10.5 L 以下になった **→ 燃料を補給する**
	運転席／助手席★シートベルト非着用警告灯(警告ブザー※ 3) 運転席・助手席シートベルトの非着用 **→ シートベルトを着用する**
	ブレーキオーバーライドシステム警告灯 警告灯が点滅した場合： アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれてブレーキオーバーライドシステムが作動した(→ P. 122) **→ アクセルペダル、またはブレーキペダルから足を離してください。** 警告灯が点灯した場合： ブレーキオーバーライドシステムの異常 **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	タイミングベルト交換警告灯（ディーゼル車） タイミングベルトの交換時期 **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	油量警告灯 エンジンオイル量の不足 **→ エンジンオイルを補給してください。**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	排出ガス浄化装置警告灯（ディーゼル車） 警告灯が点滅した場合： 排出ガス浄化装置に捕集したススの燃焼処理が必要です **→ 手動でススの燃焼処理を行う。（P. 176）** 警告灯が点灯した場合： **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	油圧警告灯（警告ブザー） エンジンオイルの圧力異常 **→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。**
	フューエルフィルター／燃料・水分離器水位警告灯（ディーゼル車） フューエルフィルターの異常／燃料・水分離器の排水時期 警告灯が点灯した場合： 走行中、フューエルフィルターが目づまりを起こす 警告灯が点滅した場合： エンジン回転中、燃料・水分離器内に規定レベルの水がたまる **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**

※1 **パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー：**
パーキングブレーキを解除しないまま車を発進させ、車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。
警告ブザーが鳴ったときは、パーキングブレーキを解除してください。
ブレーキ警告ブザー：
ブレーキ液が不足しているときに、車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。

※2 **半ドア走行時警告ブザー：**
いずれかのドアが確実に閉まっていない状態で走行し、車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。

※3 **運転席／助手席★シートベルト非着用警告ブザー：**
運転席／助手席シートベルト非着用のまま車速が約 20km/h 以上になると警告ブザーが 1 回鳴ります。その後も運転席・助手席シートベルトを非着用のまま 24 秒を経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音がかわり 90 秒間鳴ります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ただちに処置してください。（スマートエントリー & スタートシステム装着車）

それぞれの対処方法に従って処置し、警告灯が消灯するのを確認してください。

車内	車外	警告灯	警告内容・対処方法
1 回	なし	 （黄色点滅）	電子キーを携帯していない状態でエンジンをかけようとした **→ 電子キーを携帯する**
1 回	3 回	 （黄色点滅）	シフトレバーが P の状態で、エンジンスイッチをOFF にせずに運転席ドアが開閉され電子キーを持ち出した **→ エンジンスイッチを OFF にしたあと、電子キーを車内から持ち出す**
			エンジンスイッチが OFF 以外の状態で運転席以外のドアが開閉され同乗者が電子キーを持ち出した **→ 電子キーを車内にもどす**
連続	連続	 （黄色点滅）	電子キーを携帯していない状態かつ、シフトレバーが P 以外の状態でエンジンスイッチを OFF にせずに運転席ドアが開閉された **→ シフトレバーを P にする** **→ 電子キーを携帯する**
1 回	なし	 （15 秒間緑色に点滅）	エンジン始動操作時にステアリングロックが解除できず、エンジンが始動しなかった **→ ステアリングロックを解除する**
1 回	なし	 （15 秒間黄色に点滅）	スマートエントリー&スタートシステムの異常 **→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください**
			電子キーの電池残量が少ない **→ 新しい電池と交換する（→ P. 274）**
1 回	連続（5 秒間）	 （黄色点滅）	エンジンスイッチを OFF にせずに、電子キーを持ち出してスマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした **→ エンジンスイッチを OFF にしたあと、再度施錠する**

車内	車外	警告灯	警告内容・対処方法
9 回	なし	 （黄色点滅）	電子キーが車室内にない状態で走行をはじめた **→ 車室内に電子キーがあるか確認する**
1 回	なし	 （30 秒間黄色に点滅）	・メカニカルキーで解錠してエンジンスイッチを押したとき、車室内で電子キーを検知できなかった ・エンジンスイッチを押したとき、車室内で電子キーを検知できないことが 2 回連続で続いた **→ ブレーキペダルを踏みながら、電子キーでエンジンスイッチにふれる（→ P. 336）**

知識

■シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

●乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。

●座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

■警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

⚠ 警告

■ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは

ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店にご連絡ください。
ABS またはブレーキアシストシステムに異常が発生しているだけでなく、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■ ブレーキ警告灯について（ディーゼル車）

ポンピングブレーキ※を行うと、一時的に点灯することがあります。この場合、ブレーキの効きが悪くなり、制動距離が長くなるおそれがあります。効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んでください。なお、その後消灯すれば異常ではありません。

※ ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけ方

パンクしたときは

この車両には、スペアタイヤが搭載されています。パンクしたタイヤを、備え付けのスペアタイヤと交換してください。(タイヤについての詳しい説明は、P. 266 を参照してください)

⚠ 警告

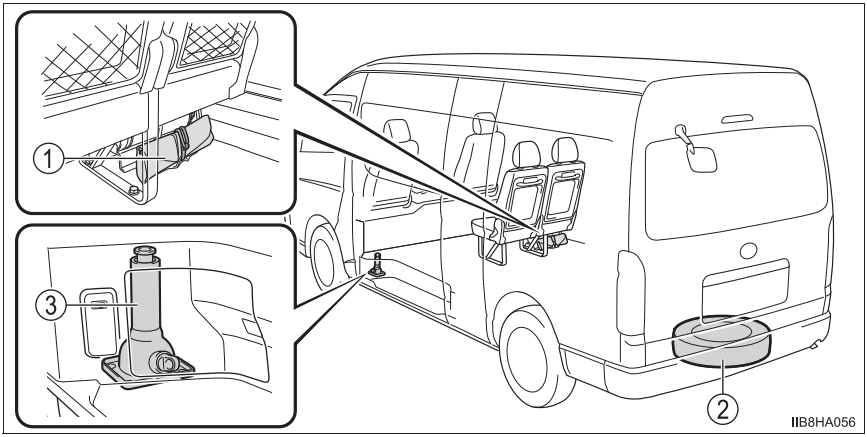
■タイヤがパンクしたとき

パンクしたまま走行しないでください。
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーを P に入れる
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる（→ P. 297）
- パワースライドドアメインスイッチを OFF にする（パワースライドドア装着車のみ：→ P. 80）

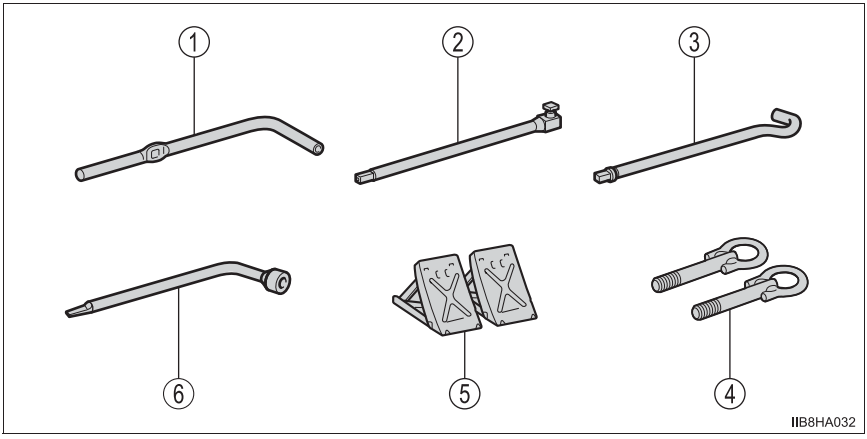
スペアタイヤ・工具・ジャッキの位置



① 工具袋
② スペアタイヤ
③ ジャッキ

工具

工具袋の中に収納されています。（工具袋の取り出し方：→ P. 321）



① ジャッキハンドル
② ジャッキハンドル延長用バー
③ ジャッキハンドルバー
④ けん引フック※
⑤ 輪止め
⑥ ホイールナットレンチ

※ けん引フックの搭載数は仕様により異なります。

⚠ 警告

■ジャッキの使用について

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
次のことをお守りください。

- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり、他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキセット位置に正しくジャッキがかかっていることを確かめる
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- ジャッキで支えられている状態で、エンジンをかけたり走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを載せない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する

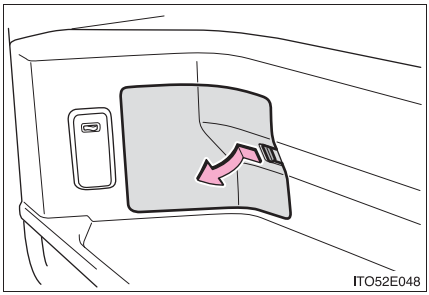
車両を下げる際は特に、ご自身や周囲の人がけがをしないよう注意してください。

■ジャッキハンドルを使用するときは

使用中、不意に分解しないように、ジャッキハンドル各部を確実に組み付け、接続用ボルトをしっかりと締め付けてください。（→ P. 324）

ジャッキの取り出し方

1 ツメを引きながら、カバーを取りはずす

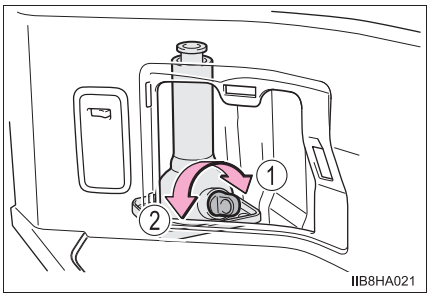


2 ジャッキをゆるめて取りはずす

① 締まる

② ゆるむ

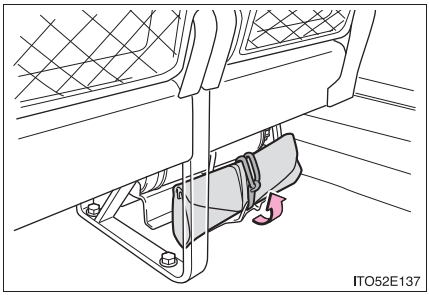
使用後はもとの位置にもどし、確実に固定してください。



工具袋の取り出し方

固定バンドをはずす

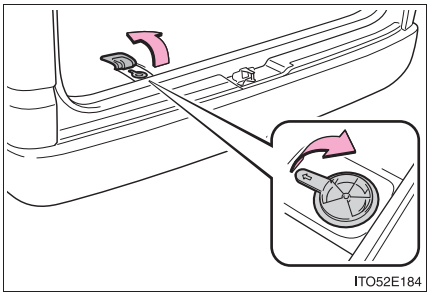
使用後はもとの位置にもどします。
固定バンドで確実に固定してください。



スペアタイヤの取り出し方

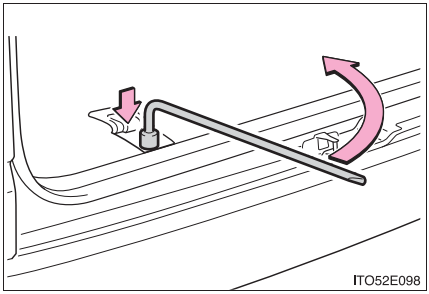
1 キャップをはずす

マットの切り欠き部分をめくり、キャップをはずす


ITO52E184

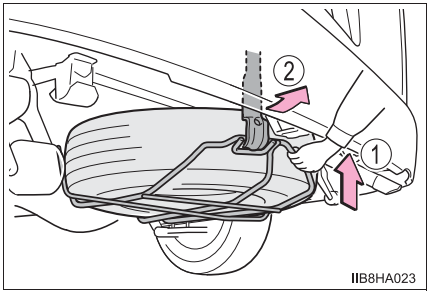
2 ホイールナットレンチを使って、スペアタイヤ格納具がフックからはずせる程度にボルトをゆるめる

ボルトをゆるめすぎると、格納具が落下するおそれがあるため注意してください。


ITO52E098

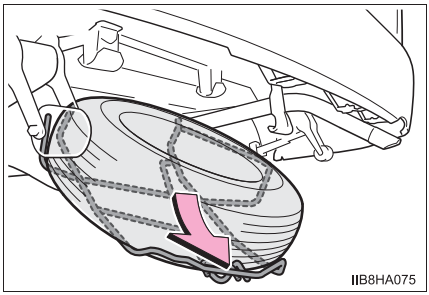
3 スペアタイヤ格納具を少し持ち上げ（①）、フックを手前に引いてはずす（②）

格納具が落下しないように、手でしっかり支えてください。



IIB8HA023

4 スペアタイヤ格納具を地面に降ろして、スペアタイヤを取り出す


IIB8HA075

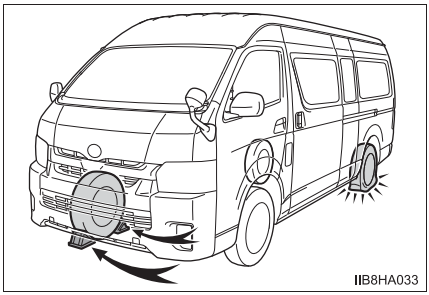
5 スペアタイヤ格納具をいったんもとにもどす

格納具をフックにかけ、ボルトを締め付けてもとにもどします。

スペアタイヤを格納するとき：→ P. 330

パンクしたタイヤの交換

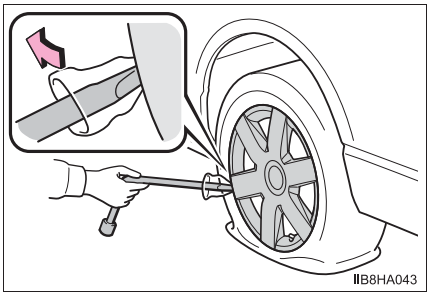
1 輪止めをする



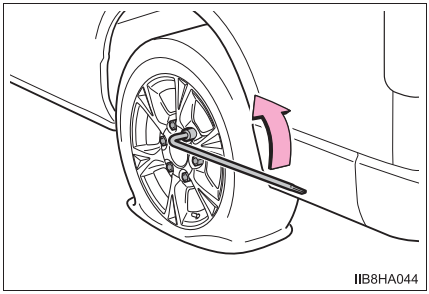
パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪の前後
	右側	左側後輪の前後
後輪	左側	右側前輪の前後
	右側	左側前輪の前後

2 ホイールキャップをはずす（スチールホイール装着車）

傷が付くのを防ぐため、図のように布などを巻いて保護してください。

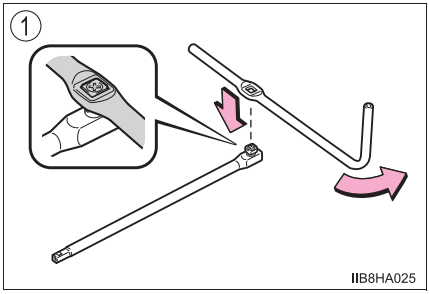


3 ナットを少し（約 1 回転）ゆるめる

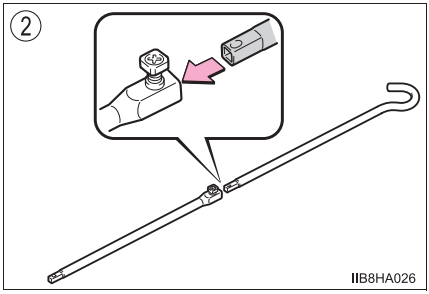


4 ジャッキハンドルを組み付ける

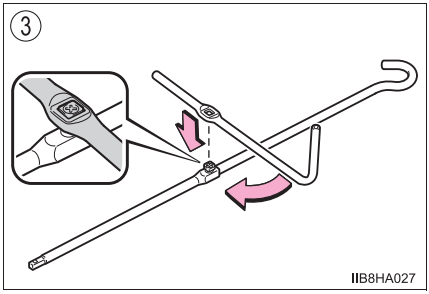
① ジャッキハンドルの穴部を使い、ジャッキハンドル延長用バーの接続用ボルトをゆるめる



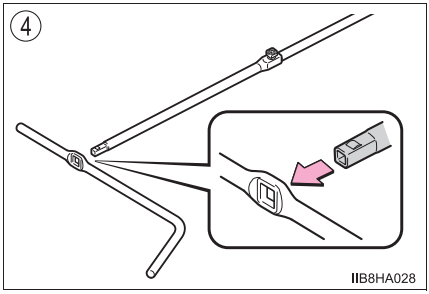
② ジャッキハンドルバーとジャッキハンドル延長用バーとを接続する



③ ジャッキハンドルの穴部を使い、接続用ボルトを締め付ける

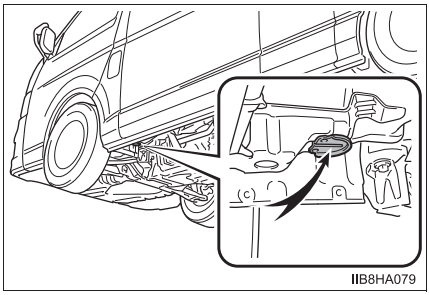


④ ジャッキハンドル延長用バーをジャッキハンドルの穴部に確実に挿し込む



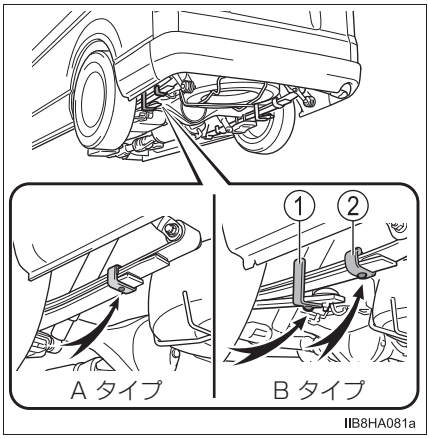
5 組み付けたジャッキハンドルをジャッキの穴部に挿し込み、ジャッキセット位置にジャッキをかける

▶ フロント側ジャッキセット位置

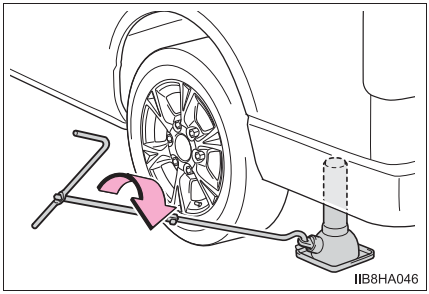


▶ リヤ側ジャッキセット位置（→ P. 331）

B タイプ：路面状況などにより、①の位置にジャッキをセットできないときは、②の位置でジャッキアップしてください。

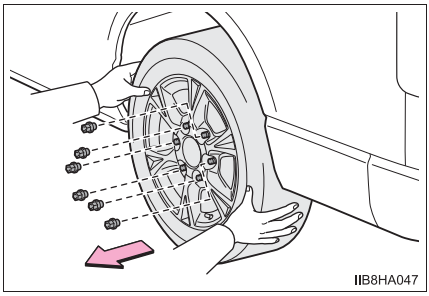


6 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



7 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの意匠面に傷が付かないよう意匠面を上にします。



⚠ 警告

■タイヤ交換について

●次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

・スペアタイヤは、ジャッキアップする前に格納具から取りはずしておく
・スペアタイヤ格納具を操作するときは、可動部分やスペアタイヤのあいだに手や足などを挟まないように注意する
・スペアタイヤ格納具を降ろす、または持ち上げるときは、足の上などに落とさないよう、手でしっかり支える
・スペアタイヤは完全に地面に降ろしてから取り出す
・ホイールキャップ・センターオーナメントは直接手をかけて取らない
取り扱いには十分に注意してください。けがをするおそれがあります。
・走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれない
走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。

●次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

・ホイールの交換後はすぐに 100 N・m（1020 kgf・cm）の力でナットを締める
・タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
・ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける
・約 1,000km 走行したあとに、再度ナットを締め付けてゆるみがないことを確認する
・ナットを取り付けるときは、必ずテーパー部を内側にして取り付ける
（→ P. 268）

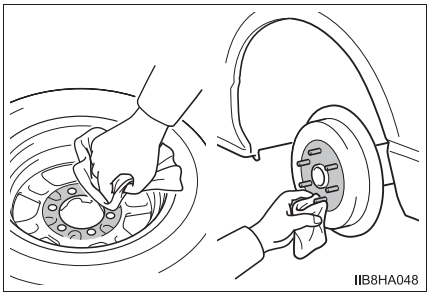
■パワースライドドア装着車のタイヤ交換について

タイヤ交換などをする際は、パワースライドドアメインスイッチ（→ P. 80）を OFF にしてください。OFF にしないと、誤ってパワースライドドアスイッチを操作したときにスライドドアが動き、指や手などを挟んでけがをするおそれがあります。

タイヤの取り付け

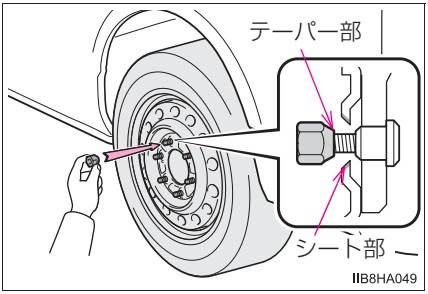
1 ホイール接触面の汚れをふき取る

ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。



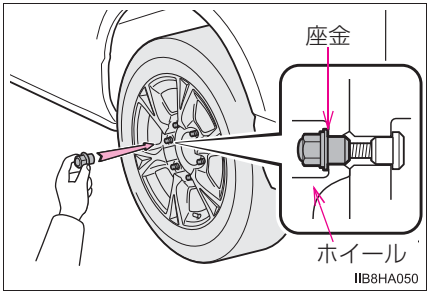
2 タイヤを取り付け、タイヤががたつかない程度まで手でナットを仮締めする

▶ スチールホイール装着車



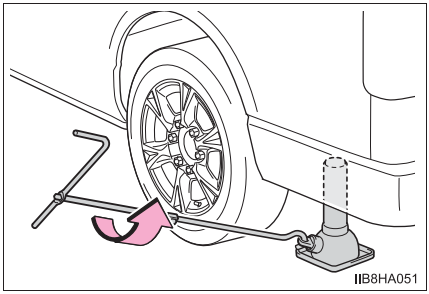
ナットのテーパー部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす

▶ アルミホイール装着車



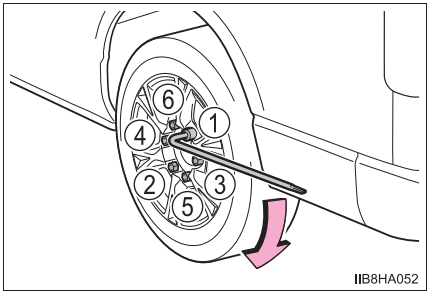
ナットの座金がホイールにあたるまでまわす

3 車体を下げる



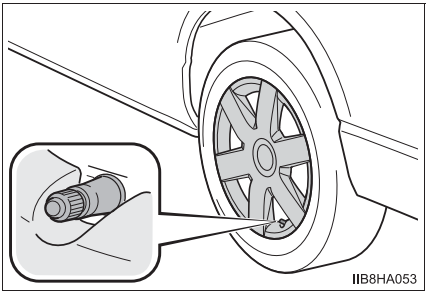
4 図の番号順でナットを 2、3 度しっかり締め付ける

締め付けトルク：
100 N・m（1020 kgf・cm）



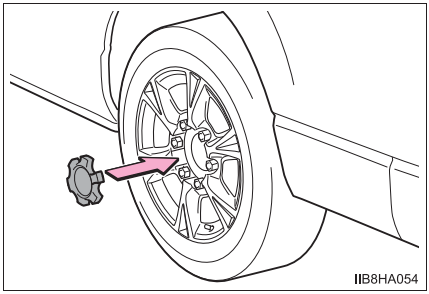
5 センターオーナメント、またはホイールキャップを取り付ける

▶ スチールホイール装着車



タイヤのバルブ（空気口）に切り欠きを合わせてホイールキャップを確実に取り付けます。

▶ アルミホイール装着車



はずしたタイヤからセンターオーナメントを取りはずして、交換したタイヤに取り付けます。

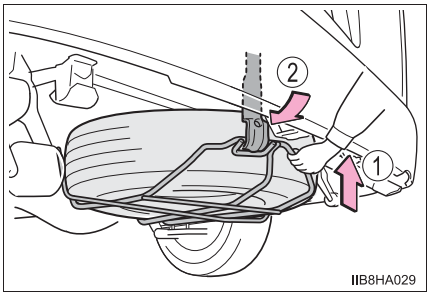
6 すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを格納する

スペアタイヤの格納

1 スペアタイヤ格納具にタイヤを載せて持ち上げ（①）、フックをかけてボルトを締め付ける（②）

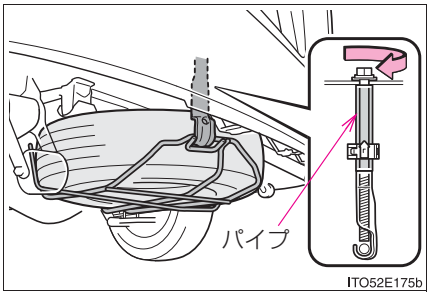
フックを格納具にかけるときは、はずした場所と同じ位置にかけてください。

格納具にタイヤが確実に固定されていることを確認します。



2 パイプががたつかなくなるまでボルトを締め付けたあと、さらに1/4 回転以上締め付ける

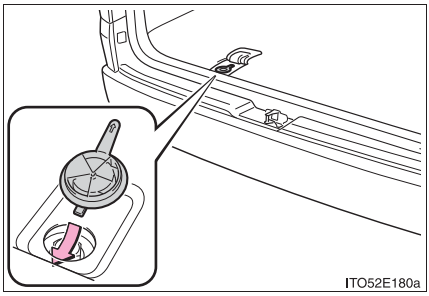
締め付けトルク：
18.0 N・m（184 kgf・cm）以上



3 キャップを取り付ける

キャップのツメをフロア下に挿し込んで、ボルトの頭にキャップ下部を合わせて、キャップ上部をフロアにはめてください。

キャップ上部が確実にはまっていることを確認してください。



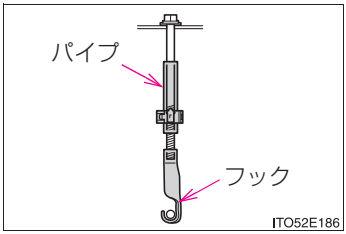
知識

■スペアタイヤについて

空気圧を必ず点検してください。（→ P. 354）

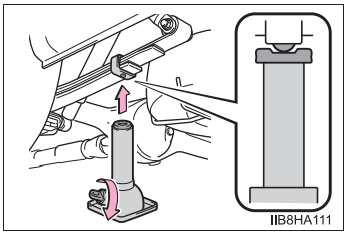
■スペアタイヤ格納具のフックについて

スペアタイヤ格納具を降ろす際に、ボルトをゆるめすぎてフックが脱落した場合は、図のようにパイプが入っているのを確認してからフックを取り付けてください。



■リヤ側ジャッキセット位置について

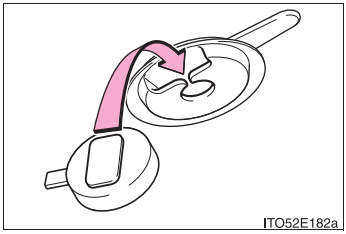
ジャッキ上部の溝を、図のように合わせてください。



■キャップについて

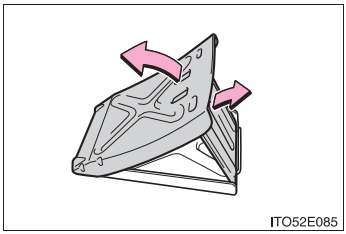
キャップ上部と下部がはずれたときは、図のようにはめ込んでから、フロアに取り付けてください。

キャップ下部のツメの位置が、キャップ上部の取っ手と反対側になるようにはめ込んでください。



■輪止めの使い方

図のように展開して使用します。



⚠ 警告

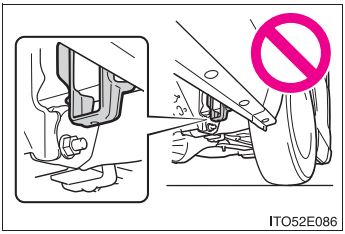
■工具・ジャッキを使用したあとは

走行前に必ず、指定の場所に確実に収納してください。車室内などに放置すると、急ブレーキ時などに工具類が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■車載ジャッキでジャッキアップするときは

図のマウントハンガーにジャッキをかけないでください。マウントハンガーが破損するおそれがあります。



■スペアタイヤを格納するときは

- タイヤと車両とのあいだにものが挟まっていないことを確認してください。
- タイヤを格納したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとタイヤががたつき、走行中にはずれるおそれがあります。

エンジンがかからないときは

正しいエンジンのかけ方（→ P. 132, 135）に従っても、エンジンがかからないときは、次のことを確認してください。

スターターは正常にまわっているのにエンジンがかからない場合

次の原因が考えられます。

- 燃料が入っていない可能性があります。
  給油してください。
- 燃料を吸い込みすぎている可能性があります。
  再度、正しい手順（→ P. 132, 135）に従って、エンジンをかけてください。
- エンジンイモビライザーシステムに異常がある可能性があります。
  （→ P. 50）

スターターがゆっくりまわる／室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 338）
- バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

スターターがまわらない場合（スマートエントリー＆スタートシステム装着車）

電装品の断線やヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、エンジンを一時的な処置でかけることができます。（→ P. 334）

スターターがまわらない／室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 338）
- ステアリングロックシステムに異常がある可能性があります。
  （スマートエントリー＆スタートシステム装着車）

  処置のしかたがわからないとき、あるいは処置をしてもエンジンがかからないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

緊急始動機能（スマートエントリー＆スタートシステム装着車）

通常のエンジン始動操作でエンジンが始動しないときは、次の手順でエンジンが始動する場合があります。
緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する

2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する

3 エンジンスイッチをアクセサリーモードにする

4 ブレーキペダルをしっかり踏んで、エンジンスイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でエンジンが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

シフトレバーがシフトできないときは

ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステム（シフトレバーの誤操作を防ぐ装置）などの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

1 パーキングブレーキをかける

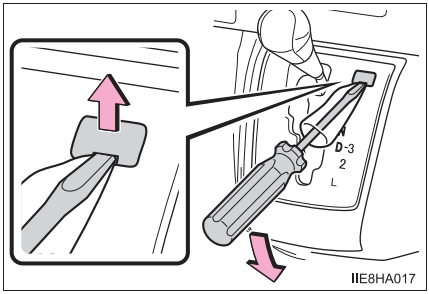
2 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチを“ ACC ”にする

スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチをアクセサリーモードにする

3 ブレーキペダルを踏む

4 マイナスドライバーなどを使ってカバーをはずす

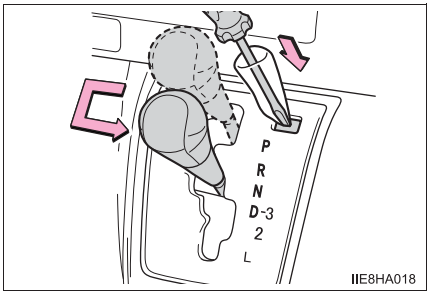
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



IIE8HA017

5 ドライバーなどの先でシフトロック解除ボタンを押す

ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



IIE8HA018

電子キーが正常に働かないときは（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

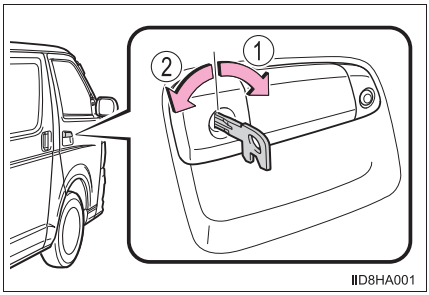
電子キーと車両間の通信がさまたげられたり（→ P. 97）、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、エンジンを始動したりすることができます。

ドアの施錠・解錠

メカニカルキー（→ P. 67）を使って次の操作ができます。

① 全ドア施錠

② 全ドア解錠



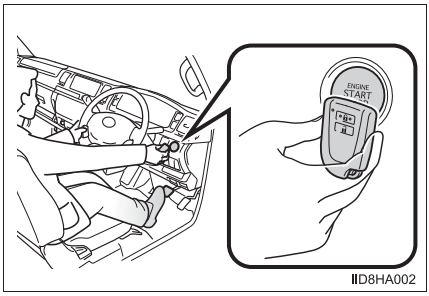
エンジン始動の方法

1 シフトレバーが P の状態でブレーキペダルをしっかり踏む

2 電子キーのトヨタエンブレム面で、エンジンスイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、イグニッション ON モードへ切りかわります。

カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたときは、アクセサリーモードへ切りかわります。



3 ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色に点灯していることを確認する

4 エンジンスイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

知識

■エンジンの停止方法

通常のエンジンの停止方法と同様に、シフトレバーをPにしてエンジンスイッチを押します。

■電池交換について

ここで説明しているエンジンの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→P. 274)

■モードの切りかえ

エンジン始動方法の手順3で、ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。(→P. 136)

■電子キーが正常に働かない場合

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定を確認し、非作動になっている場合には、作動可能に設定変更してください。
(→P. 356)

バッテリーがあがったときは

バッテリーがあがった場合、次の手順でエンジンを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、エンジンを始動させることができます。

1 エンジン点検口を開ける（→ P. 259）

2 バッテリーの＋端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ

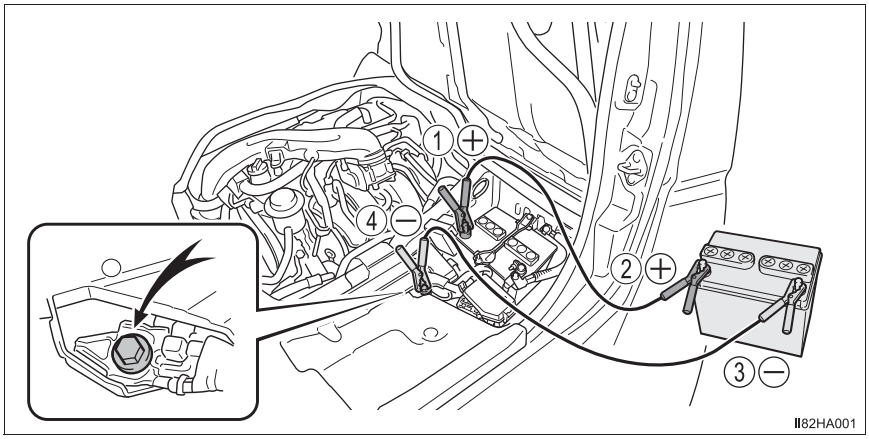
① 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの＋端子につなぐ

② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの＋端子につなぐ

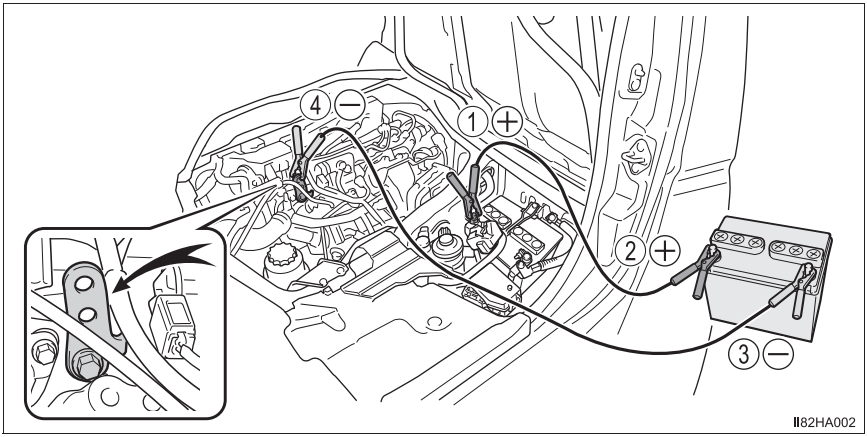
③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの－端子につなぐ

④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端をバッテリーから離れた、未塗装の金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ

▶ ガソリン車



▶ ディーゼル車



3 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車のバッテリーを充電する

4 スマートエントリー&スタートシステム装着車は、エンジンスイッチが OFF の状態で、いずれかのドアを開閉する

5 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
救援車のエンジン回転を維持したまま、自車のエンジンをかける

スマートエントリー&スタートシステム装着車：
救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジンスイッチをいったんイグニッション ON モードにしてからエンジンを始動する

6 自車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす

エンジンがかかっても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

■バッテリーあがり時の始動について

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■バッテリーあがりを防ぐために

●エンジンがかかっていないときは、ランプやエアコンの電源を切ってください。

●渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

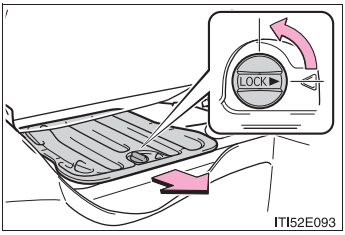
■バッテリーがあがったときは

パワースライドドア★とパワーウインドウの初期設定が必要です。
（→ P. 82, 116）

■バッテリー 2 個搭載車について

エンジンルーム内と運転席うしろに、計 2 個のバッテリーが搭載されています。

●運転席うしろのバッテリーを点検するときは、カバーをめくり、ダイヤルをまわしてフタを取りはずします。



●バッテリーが 2 個ありますが、24V ではありません。

●ブースターケーブルを接続する場合は、必ずエンジンルーム内のバッテリーで行ってください。

●バッテリーの交換は必ず 2 個同時に、同メーカー・同一型式のバッテリーを使用してください。

●長期駐車などで－端子をはずす場合は、必ず両方のバッテリーの－端子をはずしてください。

■バッテリーの充電について

バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。
（バッテリーは走行中に自動で充電されます）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■バッテリーあがり時や取りはずし時など
（スマートエントリー＆スタートシステム装着車）

●バッテリー脱着直後はスマートエントリー＆スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合はワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。

●バッテリー脱着後、最初の始動操作ではエンジンが始動できないことがありますが異常ではありません。再度始動操作を行ってください。

●車両は常にエンジンスイッチの状態を記憶しています。バッテリー脱着時、車両はバッテリーをはずす前の状態に復帰します。バッテリーを脱着する際は、エンジンスイッチを OFF にしてから行ってください。バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、バッテリー接続時は特に注意してください。

⚠警告

■バッテリーの引火または爆発を防ぐために

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

●ブースターケーブルは正しい端子または接続箇所以外に接続しない

●ブースターケーブルは＋側と－側の端子を絶対に接触させない

●バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

■バッテリーの取り扱いについて

バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

●バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする

●必要以上、顔や頭などをバッテリーに近付けない

●誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく

●誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける

●バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う

●お子さまをバッテリーに近付けない

⚠ 注意

■ ブースターケーブルの取り扱いについて

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、ベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- 水温計（→ P. 57）の針がレッドゾーンに入ったり、エンジン出力が低下する（スピードが出ないなど）
- エンジンルームから蒸気が出る

対処方法

1 安全な場所に停車し、エアコンを OFF にしてから、エンジンを停止する

2 蒸気が出ている場合：
蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットとエンジン点検口を開ける

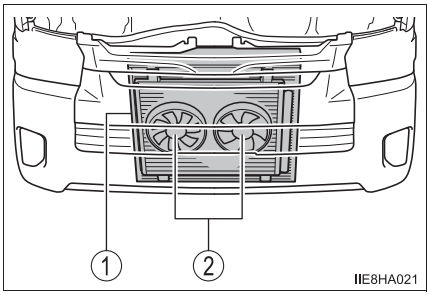
蒸気が出ていない場合：
注意してボンネットとエンジン点検口を開ける

3 エンジンが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

① ラジエーター

② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。

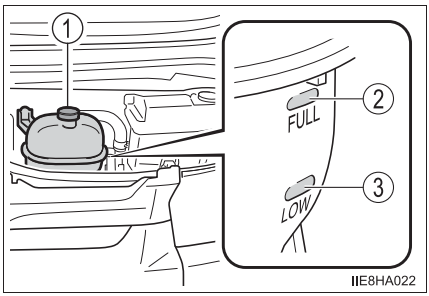


4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する

① リザーバータンク

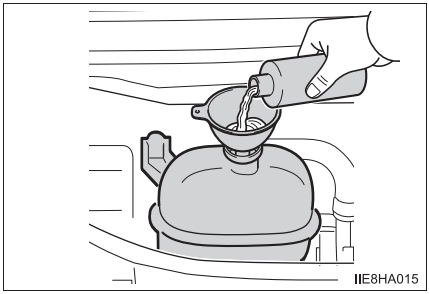
②“FULL”（上限）

③“LOW”（下限）



5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



6 エンジンを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

エンジンが冷えた状態での始動直後は、エアコンを ON にすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンの ON・OFF をくり返してください。
（ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります）

7 ファンが作動していない場合：
すぐにエンジンを停止し、トヨタ販売店に連絡する

ファンが作動している場合：
最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

知識

■冷却水の補給について

冷却水の量が LOW（下限）以下になった場合は、冷却水の補給後にエア抜きが必要となるため、トヨタ販売店で点検を受けてください。

⚠ 警告

■エンジンルームを点検するとき

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ボンネット周辺から蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットやエンジン点検口を開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。
- 手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）をファンやベルトから離してください。手や着衣が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ボンネット（→ P. 261）・エンジン点検口（→ P. 259）の注意事項も併せてお読みください。
- エンジンおよびラジエーターが熱い場合は、冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。
  高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出すおそれがあります。

⚠ 注意

■冷却水を入れるとき

エンジンが十分に冷えてからゆっくり入れてください。
エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。

■冷却系統の故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 市販の冷却水添加剤を使用しない

スタックしたときは

ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったときは、次の方法で脱出してください。

1 パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P にして、エンジンを停止する
2 タイヤ前後の土や雪を取り除く
3 タイヤの下に木や石などをあてがう
4 エンジンを再始動する
5 シフトレバーを D または R に確実に入れ、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む

⚠ 警告

■脱出するときは

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何もないことを確認してください。
スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■シフトレバーを操作するときは

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために

- タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

車両情報 9

9-1. 仕様一覧
メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）.....348
9-2. カスタマイズ機能
ユーザーカスタマイズ機能一覧.....356
9-3. 初期設定
初期設定が必要な項目.....358

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルの品質により、お車の寿命は著しく左右されます。
トヨタ車には最も適したトヨタ純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

燃料

▶ ガソリン車

指定燃料	容量 [L]（参考値）
・無鉛レギュラーガソリン ・バイオ混合ガソリン（レギュラー）※	70

※ エタノールの混合率 10% 以下または、ETBE の混合率 22% 以下のガソリン（酸素含有率 3.7% 以下）を使用することができます。

▶ ディーゼル車

指定燃料	容量 [L]（参考値）
超低硫黄軽油（S10ppm 以下）	70

エンジンオイル

▶ ガソリン車

指定銘柄	容量 [L]（参考値※1）	
	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
トヨタキヤッスルモーターオイル SN 0W-20 ※2 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20 トヨタキヤッスルモーターオイル SN 5W-20 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20 トヨタキヤッスルモーターオイル SN 5W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30 トヨタキヤッスルモーターオイル SN 10W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30	4.9	5.3

※1 エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5 分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

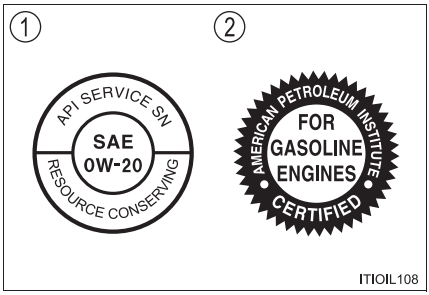
※2 0W-20 は上記表の指定銘柄の中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格に合致したオイルをご使用ください。なお、ILSAC規格合格油の缶にはILSAC CERTIFICATION（イルサックサーティフィケーション）マークが付いています。

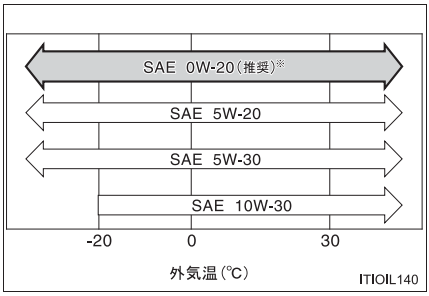
① API マーク

② ILSAC CERTIFICATION マーク



■ **エンジンオイル推奨粘度**

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-20 は新車時に充填されており、上記図に示す中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について（例として 0W-20 で説明します）：

・0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。

・0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。
粘度の高い（数値が大きい）オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

▶ ディーゼル車

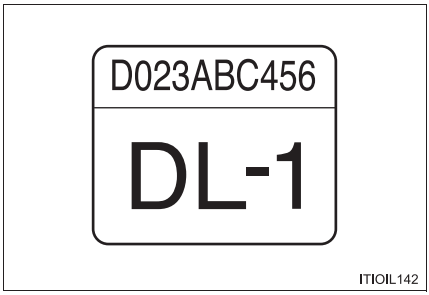
指定銘柄	容量 [L]（参考値※）	
	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
トヨタキヤッスルディーゼルオイル DL-1 0W-30 —JASO DL-1, SAE 0W-30 トヨタキヤッスルディーゼルオイル DL-1 5W-30 —JASO DL-1, SAE 5W-30	6.6	6.8

※ エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5 分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

■ 指定エンジンオイル

JASO 規格 DL-1 に合致したオイルをご使用ください。
なお、JASO 規格合格油の缶には JASO DL-1 マークが付いています。

JASO DL-1 マーク



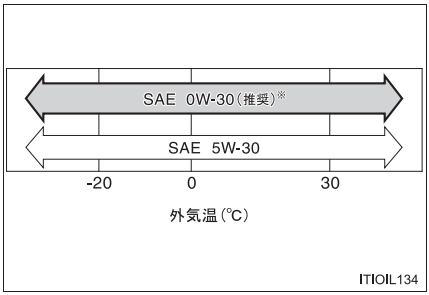
⚠ 注意

■ ディーゼル車のエンジンオイルの交換について

- エンジンオイルは必ず指定の規格に相当する品質のものをご使用ください。異なる品質のオイルを使用すると、排出ガス浄化装置の寿命短縮につながります。
- エンジンオイルは必ず約 20,000km ごと（ただし 12ヶ月をこえないこと）、オイルフィルターは必ず約 20,000km ごとに交換してください。
定められた期間でエンジンオイル・オイルフィルターを交換しないと、排出ガス浄化装置やターボ装置などの故障につながるおそれがあります。

■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 上記図に示す中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について（例として 0W-30 で説明します）：

・0W-30 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
・0W-30 の 30 は、高温時の粘度特性を示しています。
粘度の高い（数値が大きい）オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

ラジエーター

指定銘柄	エンジン	容量 [L]（参考値）
トヨタ純正スーパーロングライフクーラント 凍結保証温度 濃度 30%　－ 12℃ 濃度 50%　－ 35℃	2TR-FE	13.2
	1KD-FTV	16.2

オートマチックトランスミッション

指定銘柄	トランスミッション		容量 [L]（参考値※）
トヨタ純正オートフルード タイプ T-Ⅳ	4 速オートマチック		8.0
トヨタ純正オートフルード WS	6 速オートマチック	FR	7.9
		4WD	7.8

※ 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。

フロントディファレンシャル（4WD 車）

指定銘柄（推奨粘度）	容量 [L]（参考値）
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX（API GL-5 SAE 85W-90）	1.35

リヤディファレンシャル

指定銘柄（推奨粘度）	車種		容量 [L]（参考値）
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX（API GL-5 SAE 85W-90）	LSD 非装着車	FR	3.25
		4WD	3.55
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル LSD（API GL-5 SAE 85W-90）	LSD 装着車		3.55

トランスファー（4WD 車）

指定銘柄（推奨粘度）	容量 [L]（参考値）
トヨタ純正 MG ギヤオイルスペシャルⅡ（API GL-3 SAE 75W-90）	1.3

パワーステアリング

指定銘柄	容量 [L]（参考値）
トヨタ純正パワーステアリングフルード	0.9

ブレーキ

■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ～ 6
踏み込んだときの床板とのすき間※	120

※ エンジン停止時に 500 N（51 kgf）の踏力をかけたときの床板（フロアパネル上面）とのすき間の最小値

■ パーキングブレーキ

項目	基準値 [回数]
引きしろ 操作力 200 N（20 kgf）のときのノッチ※数	12 ～ 18

※ ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度（“カチッ”という音）のことです。

ウォッシャータンク

容量 [L]（参考値）
3.2

タイヤ・ホイール

タイヤサイズ	ホイールサイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa（kg/cm^2）	
		前輪	後輪
195/80R15 107/105L LT	15 × 6J	375（3.75）	400（4.00）

電球（バルブ）※

電球		W（ワット）数
車外	ヘッドランプ ・ハロゲンヘッドランプ装着車 （バルブタイプ：H4） ・LED ヘッドランプ装着車 ハイビーム（バルブタイプ：HB3）	60／55 60
	車幅灯	5
	フロント&サイド方向指示灯／非常点滅灯	21
	リヤ方向指示灯／非常点滅灯	21
	制動灯／尾灯	21／5
	後退灯	16
	番号灯	5
	リヤフォグランプ★	21
車内	フロントルームランプ／パーソナルランプ	8
	リヤルームランプ	8
	スライドドアステップランプ	5
	灰皿照明	1.2

※ 表に記載のないランプは LED を採用しています。

車両仕様

型式	エンジン	駆動方式
TRH223B	2TR-FE（2.7L ガソリン）	FR（後輪駆動）
TRH228B		4WD（4 輪駆動）
KDH223B	1KD-FTV（3.0L ディーゼル）	FR（後輪駆動）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車には、設定を変更することが可能な装備が付いています。
設定変更は、マルチインフォメーションディスプレイのメーターカスタマイズ機能、またはトヨタ販売店で行うことが可能です。

機能によっては、他の機能と連動して設定がかわるものもあります。詳しくは、トヨタ販売店へお問い合わせください。

車両カスタマイズ設定一覧

① メーターカスタマイズ機能による設定

② トヨタ販売店で設定可能

■ ドアロック（→ P. 70）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
車速感応オートドアロック	する	しない	―	○
シフトレバーをＰ以外にしたときの全ドア施錠（シフト操作連動ドアロック）	しない	する	―	○
シフトレバーをＰにしたときの全ドア解錠（シフト操作連動アンロック）	する	しない	―	○
運転席を開けたときの全ドア解錠（運転席ドア開連動アンロック）	しない	する	―	○

■ スマートエントリー&スタートシステム★（→ P. 70, 88, 94）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
スマートエントリー&スタートシステム	する	しない	―	○
作動の合図（ブザー音量調整）	レベル５	OFF	―	○
		レベル１～７		

■ マルチインフォメーションディスプレイ（→ P. 62）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
エコドライブインジケーターランプの作動	ON	OFF	○	○

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

初期設定が必要な項目

次の項目はバッテリーを再接続したり、メンテナンスを行ったあとなどに、システムを正しく作動させるために初期設定が必要です。

項目	初期設定が必要なとき	参照先
パワースライドドア★	バッテリーの充電・交換後の再接続時	P. 82
パワーウインドウ		P. 116

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

さくいん

こんなときは
（症状別さくいん）.....360
車から音が鳴ったときは
（音さくいん）.....364
アルファベット順さくいん.....366
五十音順さくいん.....368

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

施錠／解錠／ドアの開閉ができない

キーをなくした

- キーまたはメカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいキーまたはメカニカルキーを作ることができます。（→ P. 68）
- キーまたは電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。（→ P. 69）

施錠・解錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？ （→ P. 274）
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
  エンジンスイッチが ON モードになっていませんか？
  施錠するときは、エンジンスイッチを OFF にしてください。
  （→ P. 136）
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
  電子キーを車内に置き忘れていませんか？
  施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。
  （→ P. 75, 97）

故障かな？と思ったら

エンジンがかからない（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）

- シフトレバーはPになっていますか？（→P. 132）
- ステアリングロックされていませんか？（→P. 133）
- バッテリーがあがっていませんか？（→P. 338）

エンジンがかからない（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらエンジンスイッチを押していますか？（→P. 135）
- シフトレバーはPになっていますか？（→P. 135）
- キーが車内の検知される場所にありますか？（→P. 95）
- ステアリングロックされていませんか？（→P. 138）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？
  このときは、一時的な方法でエンジンをかけることができます。（→P. 336）
- バッテリーがあがっていませんか？（→P. 338）

ブレーキペダルを踏んでいてもシフトレバーがPから動かない

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車
  エンジンスイッチの位置が“ON”になっていますか？
  エンジンスイッチの位置が“ON”でブレーキを踏んでも解除できないとき（→P. 335）
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
  エンジンスイッチはONモードになっていますか？
  エンジンスイッチがONモードでブレーキを踏んでも解除できないとき（→P. 335）

エンジンを停止したあとにハンドルがまわせなくなった

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車
  盗難防止のため、キーをエンジンスイッチから抜くとロックされます。（→ P. 132）
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
  盗難防止のため、自動的にロックされます。（→ P. 138）

パワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

- ウインドウロックスイッチが押されていませんか？
  ウインドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウインドウは操作できなくなります。（→ P. 115）

エンジンスイッチが自動的に OFF になった（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

- 一定時間アクセサリーモードまたはイグニッションONモード（エンジンがかかっていない状態）にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。（→ P. 137）

警告音が鳴りだした

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 364）をご確認ください。

警告灯が表示されたとき

- 警告灯が表示されたときは、P. 312 をご確認ください。

トラブルが発生した

タイヤがパンクした

- 車を安全な場所に停め、パンクしたタイヤをスペアタイヤに交換してください。（→ P. 318）

立ち往生した

- ぬかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 346）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

車に乗るとき／降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	電子キー★を車内に置き忘れている	P. 315
	エンジンスイッチにキー★が挿してある	P. 133
	シフトポジションが P 以外になっている（スマートエントリー&スタートシステム装着車）	P. 315
	車幅灯・ヘッドランプが点灯している	P. 150
エンジンを停止したとき	電子キー★の電池残量が少なくなっている	P. 315
施錠しようとしたとき（施錠できないとき）	いずれかのドアが確実に閉まっていない（スマートエントリー&スタートシステム装着車）	P. 96
	電子キー★を車内に置き忘れている	P. 96

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 314
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 314
	運転席・助手席のシートベルトを着用していない※	P. 314
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 126

※ 助手席に荷物を置いている場合にもブザー★が鳴ることがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

アルファベット順さくいん

4WD
（フォーホイールドライブ）. 355
A/C
（エアコン）. 220, 225
ABS
（アンチロックブレーキシステム）. 172, 312
AI-SHIFT
（アーティフィカルインテリジェンスシフト）. 145
EDR
（イベントデータレコーダー）. 8
FR
（フロントエンジンリヤドライブ）. 355
ILSAC CERTIFICATION
（イルサックサーティフィケーション）. 349
SRS
（サプリメンタルレストレイントシステム）. 30, 312

五十音順さくいん

あ

アースポイント（バッテリーあがりの処置）..... 338
アウターミラー（ドアミラー）... 111
　操作 111
　格納のしかた 112
　ミラーヒーター 221, 227
アクセサリーコンセント 250
アクセサリーモード..... 132, 136
アッパーグローブボックス 242
アンチロックブレーキシステム（ABS）..... 172
アンダーミラー..... 114
アンテナ
　スマートエントリー&スタートシステム..... 94
　ラジオ..... 196

い

イグニッションスイッチ（エンジンスイッチ）..... 132, 135
　位置の切りかえ 132
　エンジンのかけ方 132, 135
　自動電源 OFF 機能..... 137
　モードの切りかえ 136
位置交換（タイヤローテーション）..... 266
イベントデータレコーダー（EDR）..... 8
イモビライザーシステム 50
イルミネーテッドエントリーシステム 239
インジケーター（表示灯）..... 56
インナーミラー..... 109

う

ウインカー（方向指示灯）..... 146
　電球（バルブ）の交換..... 288, 289
　方向指示レバー..... 146
　ワット数 355
ウインドウ..... 115
　ウォッシャー 152, 155
　パワーウインドウ..... 115
　リヤウインドウデフォッガー..... 221, 227
ウインドウロックスイッチ..... 115
ウォーニングランプ（警告灯）..... 55, 312
ウォッシャー..... 152, 155
　液の補充 265
　スイッチ 152, 155
　タンク容量 354
　冬の前の準備・点検..... 179
動けなくなったときは（スタック）..... 346
運転 120
　雨の日の運転 121
　運転を補助する装置..... 172
　環境に配慮した運転..... 122
　寒冷時の運転 179
　正しい運転姿勢..... 24
　手順..... 120
運転席シートベルト非着用警告灯 313

え

エアコン 220, 225
オートエアコン 225
曇り取り（フロントガラス）..... 221, 227
フィルターの清掃 271
マニュアルエアコン 220
リヤクーラー 231
リヤヒーター 233
エアバッグ 30
SRS エアバッグ警告灯 312
お子さまのための注意 31
改造・廃棄 33
作動条件 34
正しい姿勢 24
配置 30
エコドライブインジケーターランプ 62, 122
エンジン
エンジンイモビライザーシステム 50
エンジンがかからない（エンジンが始動できない）..... 333
エンジン警告灯 312
エンジンスイッチ 132, 135
エンジンの始動方法 132, 135
オーバーヒート 343
エンジンを停止する前に（ディーゼル車）..... 122
緊急時の停止方法 301
点検口 259
フューエルポンプシャットオフシステム 311
ボンネット 261
エンジンイモビライザーシステム（盗難防止システム）..... 50
エンジンオイル 349
冬の前の準備・点検 179
メンテナンスデータ 349
容量 349
エンジンスイッチ 132, 135
位置の切りかえ 132
エンジンのかけ方 132, 135
自動電源 OFF 機能 137
モードの切りかえ 136
エンジンフード（ボンネット）..... 261
開け方 261

お

オーディオ 184
iPod 205
アンテナ 195, 196
AUX 端子／USB 端子 188
MP3 ／ WMA ディスク 197
オーディオの種類 184
音質調整 190
外部入力端子 217
CD プレーヤー 197
ステアリングスイッチ 186
USB メモリー 211
ラジオ 193
オートエアコン 225
オートドアロック・アンロック機能 73
オートマチックトランスミッション 141
シフトレバーがシフトできない 335

オートレベリングシステム（ヘッドランプ）
警告灯 313
作動について 150
オーバーヒート 343
オープナー
給油扉 159
ボンネット 261
オープントレイ 247
オイル（エンジンオイル） 349
応急用タイヤ 318
空気圧 354
交換方法 318
お子さまを乗せるとき 36
ウインドウロックスイッチ 115
エアバッグ 31
エンジンカバー 260
お子さまの安全のために 36
キーの電池 276
子供専用シート 37
シートの取り扱いに関する警告 104
シートベルトの着用 27
スライド式リヤサイドガラスに関する警告 118
スライドドアに関する警告 82
チャイルドシートの取り付け 45
発炎筒の取り扱いに関する警告 299
バックドアに関する警告 91
バッテリーに関する警告 341
パワーウインドウに関する警告 117
オドメーター
機能 57
表示の切りかえ・リセットボタン 60

か

カードホルダー 246, 248
カーペット
洗浄 257
フロアマットの取り付け方 22
外気温度表示 60
外装の電球（バルブ） 281
交換要領 281
ワット数 355
カスタマイズ機能 356
ガソリンスタンドでの情報 384
型式 355
カップホルダー 244
カメラ
バックモニター 161
ガラスの曇り取り（リヤウインドウデフォッガー） 221, 227
ガレージジャッキ 264
冠水路走行 130
寒冷時の運転 179

き

キー 66
エンジンがかからないときは 333
キーナンバープレート 66
キーの構成 66
キーレスエントリー 67
キーをなくした 68
電池が切れた 274, 336
ワイヤレスリモコン 67
キーレスエントリー
スマートエントリー&スタートシステム 94
ワイヤレスドアロック 67

きしみやひっかき音が聞こえる（ブレーキパッドウェアインジケーター）.....126
給油.....157
給油のしかた.....157
メンテナンスデータ.....348
緊急時シートベルト固定機構.....27
緊急時の対処
エンジンが始動できない.....333
オーバーヒートした.....343
キーの電池が切れた....274, 336
キーをなくした.....68
警告灯がついた.....312
けん引.....303
故障したときは.....296
シフトレバーがシフトできない.....335
車両を緊急停止する.....301
スタックした.....346
発炎筒.....298
バッテリーがあがった.....338
パンクした.....318

く

空気圧（タイヤ）.....354
クーラー
オートエアコン.....225
マニュアルエアコン.....220
リヤクーラー.....231
区間距離計（トリップメーター）.....57
機能.....57
切りかえ・リセットボタン.....60
曇り取り
フロントガラス.....221, 227
リヤウインドウデフォッガー.....221, 227
クラクション（ホーン）.....107
クリアランスランプ（車幅灯）....148
スイッチ.....148
電球（バルブ）の交換.....287
ワット数.....355
クリップ
フロアマット.....22
グローブボックス.....242

け

警音器（ホーン）.....107
計器類（メーター）.....57
警告灯／表示灯.....54
マルチインフォメーションディスプレイ.....60
メーター.....57
警告灯.....55, 312
ABS.....312
SRS エアバッグ.....312
LED ヘッドランプ.....313
エンジン.....312
シートベルト非着用.....313
充電.....312
スマートエントリー&スタートシステム.....315
燃料残量.....313
排出ガス浄化装置.....314
半ドア.....313
フューエルフィルター.....314
プリテンショナー.....312
ブレーキ.....312
ブレーキオーバーライドシステム.....313
ヘッドランプレベリング.....313
油圧.....314
油量.....313

警告ブザー
シートベルト非着用 313
パーキングブレーキ未解除走行時 314
半ドア 313
リバース 145
けん引 303
けん引のしかた 303
フック 305, 319

こ

交換
キーの電池 274
タイヤ 318
電球（バルブ） 281
ヒューズ 277
工具（ツール） 319
航続可能距離 61
後退灯（バックアップランプ）
電球（バルブ）の交換 289
ワット数 355
子供専用シート 37
選択方法 37
取り付け方 45
コンセント 250
コンソールボックス 242

さ

サイド方向指示灯 146
電球（バルブ）の交換 288
方向指示レバー 146
ワット数 355
サイドミラー（ドアミラー） 111
操作 111
サンバイザー 248

し

シート 101
子供専用シート 37
スペースアップシート 102
正しい運転姿勢 24
調整 101
手入れ 257
ヘッドレスト 105
シートベルト 26
お子さまの着用 27
緊急時シートベルト固定機構 27
シートベルト非着用警告灯 313
正しく着用するには 26
着け方・はずし方 26
手入れ 257
妊娠中の方の着用 28
シートベルト非着用警告灯 313
シートベルトプリテンショナー 26
機能 26
プリテンショナー警告灯 312
シガレットライター 249
室内灯（ルームランプ） 236
始動のしかた 132, 135

シフトポジション..... 143
シフトレバー 141
　シフトロックシステム
　（解除ボタン）..... 335
　操作 141
　リバース警告ブザー 145
シフトレバーがシフト
　できないときは..... 335
シフトロックシステム..... 335
締め付けトルク（ホイール）..... 329
ジャッキ
　ガレージジャッキ 264
　車載ジャッキ..... 319
ジャッキハンドル..... 319
車幅灯 148
　電球（バルブ）の交換..... 287
　ランプスイッチ 148
　ワット数..... 355
車両型式 355
車両仕様（スペック）..... 348
車両データの記録..... 7
車両を緊急停止するには 301
手動光軸調整ダイヤル..... 149
ジュニアシート..... 38
瞬間燃費 61
仕様（車両仕様）..... 355
衝撃感知ドアロック解除
　システム 75
助手席シートベルト
　非着用警告灯..... 313

す

水温計..... 57
スイッチ
　イグニッション..... 132, 135
　ウインドウロック..... 115
　ウォッシャー 152, 155
　エンジンスイッチ..... 132, 135
　オーディオ 186
　ドアミラー 111
　ドアロック 72
　ハザードランプ..... 297
　パワーウインドウ..... 115
　パワースライドドア..... 79
　パワースライドドアメイン 80
　パワーヒーター..... 234
　非常点滅灯
　（ハザードランプ）..... 297
　フォグランプ 151
　方向指示レバー..... 146
　ホーン（警音器）..... 107
　メーター表示切りかえ 60
　ランプ..... 148
　リヤクーラー 231
　リヤウインドウ
　デフォッガー..... 221, 227
　リヤヒーター 233
　ルームランプ 236
　ワイパー..... 152, 155
スターター
　エンジンの始動..... 132, 135
　スターターがまわらない..... 333
スタック..... 346
ステアリングホイール（ハンドル）
　位置調整 107

ステアリングロック
解除できないとき 133, 138
ストップランプ（制動灯）
電球（バルブ）の交換 289
ワット数 355
スノータイヤ（冬用タイヤ） 179
スピードメーター 57
スペアタイヤ 318
スペック（車両仕様） 355
スマートエントリー&
スタートシステム 94
アンテナの位置 94
エンジンの始動 135
カスタマイズ設定 356
緊急始動機能 334
警告ブザー 96
作動範囲 95
正常に働かないとき 336
電波がおよぼす影響に
ついて 100
ドアの解錠・施錠 70, 88
スモールランプ（車幅灯） 148
電球（バルブ）の交換 287
ランプスイッチ 148
ワット数 355
スライド式リヤサイドガラス 118
スライドドア
イージークローザー 78
操作 77
パワースライドドア 79
半ドア警告灯 313
スライドドアステップランプ
スイッチ 78
ワット数 355

せ

清掃 254, 257
アルミホイール 255
外装 254
シートベルト 257
内装 257
制動灯
電球（バルブ）の交換 289
ワット数 355
積算距離計（オドメーター）
機能 57
表示の切りかえ・リセット
ボタン 60
セキュリティインジケーター 50
センターコンソール 242
センターコンソールボックス 242
洗車 254
前照灯（ヘッドランプ） 148
手動光軸調整ダイヤル 149
電球（バルブ）の
交換 283, 286, 290
ランプ消し忘れ防止機能 150
ランプスイッチ 148

そ

速度計
（スピードメーター） 57

た

ターンシグナルランプ（方向指示灯）..... 146
電球（バルブ）の交換..... 288, 289
方向指示レバー..... 146
ワット数..... 355
タイヤ..... 266
空気圧..... 269, 354
交換..... 318
締め付けトルク..... 329
チェーン..... 179
点検..... 266
パンクしたときは..... 318
冬用タイヤ..... 179
ホイールサイズ..... 354
ローテーション（位置交換）..... 266
タイヤが空まわりする（スタックした）..... 346
タイヤチェーン..... 179

ち

チェーン（タイヤチェーン）..... 179
チャイルドシート..... 37
シートベルトでの固定..... 45
選択方法..... 37
駐車ブレーキ（パーキングブレーキ）..... 147
操作..... 147
未解除走行時警告ブザー..... 314
メンテナンスデータ..... 354

つ

ツール（工具）..... 319

て

ディファレンシャル..... 353
手入れ..... 254, 257
アルミホイール..... 255
外装..... 254
シートベルト..... 257
テールランプ（尾灯）..... 148
電球（バルブ）の交換..... 289
ランプスイッチ..... 148
ワット数..... 355
デフォッガー（リヤウインドウデフォッガー）..... 221, 227
電球（バルブ）
交換要領（外装バルブ）..... 281
ワット数..... 355
点検基準値（メンテナンスデータ）..... 348
電子キー..... 66
作動範囲..... 95
正常に働かないとき..... 336
電池が切れた..... 336
電池交換..... 274
電池交換（キー）..... 274

と

ドア 70
オートドアロック・アンロック機能 73
衝撃感知ドアロック解除システム 75
スマートエントリー&スタートシステム 94
スライドドア 76
ドアガラス 115
ドアロックスイッチ 72
バックドア 88
半ドア警告灯 313
フロントドア 70
ロックレバー 72
ワイヤレスリモコン 67
ドアポケット 247
ドアミラー
操作 111
格納のしかた 112
ミラーヒーター 221, 227
盗難防止装置
エンジンイモビライザーシステム 50
時計
時刻を設定する 58
表示 57
トランスミッション
オートマチックトランスミッション 141
メンテナンスデータ 353
トリップメーター
機能 57
切りかえ・リセットボタン 60

な

内装
収納装備 240
手入れ 257

に

荷物
スペースアップシート 102
積むときの注意 131

ぬ

ぬかるみにはまった（スタック） 346

ね

燃料 348
ガソリンスタンドでの情報 384
給油 157
種類 348
燃料残量警告灯 313
フューエルポンプシャットオフシステム 311
容量 348
燃料計 57

は

パーキングブレーキ..... 147
操作 147
冬季の注意..... 180
ブレーキ警告灯 312
未解除走行時警告ブザー..... 314
メンテナンスデータ 354
パーソナルランプ..... 237
排気ガス 49
灰皿..... 248
灰皿照明
装備について 248
ワット数..... 355
排出ガス浄化装置..... 174
排出ガス浄化装置堆積
モニター 175
ハイビーム（ヘッドランプ）..... 148
電球（バルブ）の
交換..... 283, 286
ランプスイッチ 148
ワット数..... 355
ハイマウントストップランプ
電球（バルブ）の交換..... 290
ハザードランプ（非常点滅灯）... 297
スイッチ..... 297
電球（バルブ）の
交換..... 288, 289
ワット数..... 355
挟み込み防止機能
パワーウインドウ 116
パワースライドドア 82
発炎筒 298
バックアップランプ（後退灯）
電球（バルブ）の交換..... 289
ワット数..... 355
バックドア..... 88
バックドアストラップ..... 90
バックドアハンドル..... 90
半ドア警告灯 313
バックモニター..... 161
バッテリー
搭載位置 259
バッテリーがあがった..... 338
バルブ（電球）
交換要領（外装のバルブ）..... 281
ワット数..... 355
パワーウインドウ 115
ウインドウロックスイッチ 115
初期化..... 116
操作..... 115
挟み込み防止機能..... 116
パワーステアリング
パワーステアリング
フルード 353
パワースライドドア
開け方 79
メインスイッチ..... 80
パンクした..... 318
番号灯（ライセンスプレート
ランプ）..... 148
電球（バルブ）の交換..... 290
ランプスイッチ..... 148
ワット数..... 355
ハンドル
（ステアリングホイール）..... 107
位置調整..... 107

ひ

ヒーター
オートエアコン 225
パワーヒーター 234
マニュアルエアコン 220
ミラーヒーター 221, 227
リヤヒーター 233
非常点滅灯（ハザードランプ）... 297
スイッチ 297
電球（バルブ）の交換 288, 289
ワット数 355
尾灯（テールランプ） 148
電球（バルブ）の交換 289
ランプスイッチ 148
ワット数 355
ヒューズ 277
表示灯 56

ふ

ブースターケーブルの
つなぎ方 338
フォグランプ 151
スイッチ 151
電球（バルブ）の交換 289
ワット数 355
ブザー
シートベルト非着用警告 313
パーキングブレーキ未解除
走行時警告 314
半ドア警告 313
ブレーキ警告 312
リバース警告 145
フック
フロアマット固定フック 22
フューエルポンプシャットオフ
システム 311
フューエルメーター
（燃料計） 57
フューエルリッド（給油口） 157
給油のしかた 157
冬の前の準備（寒冷時の運転） 179
冬用タイヤ 179
ブレーキ
パーキングブレーキ 147
ブレーキ警告灯 312
メンテナンスデータ 354
ブレーキアシスト 172
ブレーキ付近から
キーキー音が聞こえる 126
ブレーキフルード 354
フロアマット 22
フロントアンダーミラー 114
フロントルームランプ 237
フロントシート 101
正しい運転姿勢 24
調整 101
手入れ 257
ヘッドレスト 105
フロント方向指示灯 146
電球（バルブ）の交換 288
方向指示レバー 146
ワット数 355

へ

平均燃費 61
ヘッドランプ 148
手動光軸調整ダイヤル..... 149
電球（バルブ）の
交換..... 283, 286, 290
ランプ消し忘れ防止機能..... 150
ランプスイッチ 148
ヘッドランプオートレベリング
システム 150
ヘッドレスト 105
ベビーシート 38

ほ

ホイール
交換（タイヤ）..... 318
メンテナンスデータ 354
ホイールナットレンチ..... 319
方向指示灯 146
電球（バルブ）の
交換..... 288, 289
方向指示レバー 146
ワット数..... 355
ホーン（警音器）..... 107
保証..... 9
補助ミラー 114
ボトルホルダー..... 245
ボンネット 261

ま

マニュアルエアコン..... 220
マルチインフォメーション
ディスプレイ..... 60
トリップ
インフォメーション..... 61

み

ミラー
アウターミラー..... 111
インナーミラー..... 109
ドアミラー 111
補助ミラー 114
ミラーヒーター..... 221, 227

め

メーター（計器類）..... 57
警告灯 55, 312
照度調整 61
表示切りかえボタン..... 60
表示灯 56
マルチインフォメーション
ディスプレイ..... 60
メーター 57
メーター照度調整 61
メカニカルキー 67
メンテナンスデータ 348

ゆ

ユーザーカスタマイズ機能..... 356
雪道ですべって動けない
（スタックした）..... 346
油脂類..... 348

ら

ライセンスプレートランプ（番号灯）
- 電球（バルブ）の交換 290
- ランプスイッチ 148
- ワット数 355

ラジエーター
- オーバーヒート 343
- メンテナンスデータ 352

ランプ
- 室内灯 236
- スライドドアステップランプ 78
- 電球（バルブ）の交換 281
- パーソナルランプ 237
- 非常点滅灯（ハザードランプ） 297
- ヘッドランプ（前照灯） 148
- 方向指示灯（ターンシグナルランプ／ウインカー） 146
- ランプ消し忘れ防止機能 150
- リヤフォグランプ 151
- ルームランプ 237
- ワット数 355

ランプ消し忘れ防止機能 150

り

リヤアンダーミラー 114

リヤウインドウデフォッガースイッチ 221, 227

リヤクーラー 231

リヤシート 102

リヤヒーター 233

リヤフォグランプ 151
- スイッチ 151
- 電球（バルブ）の交換 289
- ワット数 355

リヤ方向指示灯 146
- 電球（バルブ）の交換 289
- 方向指示レバー 146
- ワット数 355

る

ルームミラー（インナーミラー） 109

ルームランプ 237

れ

冷却水 352
- 水温計 57
- 冬の前の準備 179
- メンテナンスデータ 352

冷却装置（ラジエーター） 352
- オーバーヒート 343
- メンテナンスデータ 352

レバー
- シフト 141
- 方向指示 146
- ボンネット解除 261
- ロック（ドア） 72

ろ

ロアグローブボックス 242
ロック
ウインドウロック 115
シフトロック 335
スマートエントリー&
スタートシステム 94
スライドドア 76
バックドア 88
フロントドア 70
ワイヤレスリモコン 67

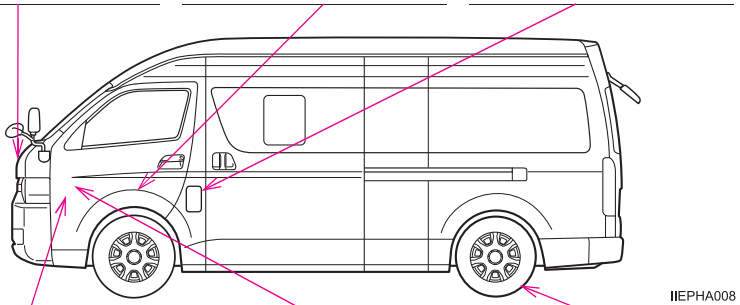
わ

ワイパー & ウォッシャー
ウォッシャー液の補充 265
フロント 152
リヤ 155
ワイヤレスリモコン 67
作動の合図 71
操作 67
電池の交換 274
半ドア警告ブザー 71
ワックス 254
ワット数 355
輪止め 319

ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要になる項目をまとめてあります。

ボンネットフック	エンジン点検口	給油口
P. 261	P. 259	P. 159



ボンネット解除レバー	給油扉オープナー	タイヤ空気圧
P. 261	P. 159	P. 354

燃料の容量（参考値）	70L
燃料の種類	▶ ガソリン車 ・無鉛レギュラーガソリン　P. 157, 348 ・バイオ混合ガソリン（レギュラー）※ ※ エタノールの混合率 10% 以下または、ETBE の混合率 22% 以下のガソリン（酸素含有率 3.7% 以下）を使用することができます。 ▶ ディーゼル車 超低硫黄軽油（S10ppm 以下）　P. 157, 348
タイヤが冷えているときの空気圧	P. 354
エンジンオイル容量（参考値）	▶ オイルのみ交換時 ・ガソリン車：4.9L　・ディーゼル車：6.6L ▶ オイルとフィルター交換時 ・ガソリン車：5.3L　・ディーゼル車：6.8L
エンジンオイルの種類	▶ ガソリン車 トヨタキヤッスルモーターオイル ・ SN 0W-20（API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20） ・ SN 5W-20（API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20） ・ SN 5W-30（API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30） ・ SN 10W-30(API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30) ▶ ディーゼル車 トヨタキヤッスルディーゼルオイル ・ DL-1 0W-30（JASO DL-1, SAE 0W-30） ・ DL-1 5W-30（JASO DL-1, SAE 5W-30）

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター

全国共通・フリーコール

0800-700-7700

フリーコール

オープン時間　365日　9:00～18:00

所在地　〒450－8711　名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）をご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
http://www.toyota.co.jp にて掲載しております。

「リコール等情報」については、
http://toyota.jp/recall/index.html にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
http://toyota.jp

ハ-30

TOYOTA

M 26851
01999－26851
NAI-2016年２月17日
2014年12月16日 初版
2016年２月24日 ４版
ハイエースコミューター／レジアスエース